

令和3年度国庫補助事業：
中央アジア地域等貿易投資促進事業
中央アジア投資環境整備・ビジネス振興事業
産業育成ビジネスマッチング事業

第2回
中央アジア・バーチャルEXPO (CAVEXII)
国別オンラインイベント報告書：
ウズベキスタン

2022年3月

一般社団法人ロシアNIS貿易会
ロシアNIS経済研究所

はじめに

産業育成ビジネスマッチング事業は、日本と中央アジア等地域との間の貿易・投資関係の発展と、対象国の産業多角化ならびに市場経済化促進に資することを目的とする「中央アジア地域等貿易投資促進事業」の一環である。原燃料・一次产品生产に特化した単純な産業構造を擁する中央アジア諸国にとって、産業多角化が長期的経済発展を図る上で不可欠の要件であるとの認識に立ち、これを日本企業とのビジネスマッチングを通じて支援することを目的とする。日本における事業パートナーの発掘を望む現地の業界団体・企業グループの訪日、あるいは同様に現地における事業パートナーとの出会いを望む日本の企業団体等の現地渡航を、情報提供や然るべき企業の紹介等によってサポートし、双方の交流活発化による貿易・投資促進を図る。

例年、産業育成ビジネスマッチング事業の対象となる案件は、基本的に中央アジア等諸国の企業グループを対象とする公募を通じて選定する。しかし、2020年初めから始まった新型コロナウイルスの世界的流行の影響で、感染防止を目的とした日本を含む各国政府の制限措置が行われ、日本人の現地への渡航、外国人の日本への招聘共に極めて困難な状況が続いている。かかる状況を受け、事業方針の抜本の変更のもと2021年2月に実施したのが、オンラインによるバーチャル・イベントを通じてビジネスマッチングを行う「中央アジア・バーチャルEXPO (CAVEX)」である。中央アジア5カ国の企業と日本企業との交流のためのオンライン・プラットフォームを設置し、投資プロジェクトPRのためのウェビナー、現地企業によるバーチャル展示会、双方企業によるB2B等を実施するもので、日本のみならず現地側からも多数の参加を得た。2022年に至るも依然として新型コロナウイルス感染症は終息を見せず、通常の直接的人的往来を基盤としたビジネスマッチング事業実施の目途が立たないことから、令和3年度は前年度事業の拡大版となる「第2回中央アジア・バーチャルEXPO (CAVEX II)」を実施し、オンラインによるバーチャル・イベントを通じたビジネスマッチングを行うものとした。

2022年1月17日（月）～3月4日（金）に開催した「第2回中央アジア・バーチャルEXPO (CAVEX II)」では、1月17日（月）にオンライン・プラットフォームとなる特設ウェブサイト

トを開設、1週間のプレオープン期間中に特設ウェブサイトを通じて参加各国の基礎情報や企業・組織を紹介し、B2B（商談会）の受付をスタートした。1月24日（月）からはバーチャル展示会を開催、2月25日（金）までの本開催期間中は1カ国当たり1週間をナショナルウィークとして設定し、投資ウェビナーや企業プレゼンテーション等のビジネスプロモーション・イベントを集中的に開催した。本開催期間後はフォローアップ期間とし、会期終了の3月4日（金）まで特設ウェブサイト、バーチャル展示会の運営やB2B（商談会）を継続した。

本報告書は、令和3年度中央アジア地域等貿易投資促進事業における中央アジア投資環境整備・ビジネス振興事業の一環として、経済産業省の助成を得て刊行されたものである。CAVEX IIのウズベキスタン・ナショナルウィーク中、1月24日（月）～26日（水）の3日間にわたって行われたオンラインイベント（ウェビナーおよびバーチャルツアー）の概要を中心に、特設ウェブサイトのウズベキスタンページやバーチャル展示会のウズベキスタンブースの概要を記した。

本事業の開催にあたっては中央アジア各国の投資誘致機関、商工会議所、また在日大使館等が現地側カウンターパートとなり、参加企業・団体・組織の選定や企業情報の収集、オンラインイベントの実施にご協力いただいた。ウズベキスタンについては、ウズベキスタン商工会議所および在日ウズベキスタン共和国大使館に多大なご尽力をいただいたことに改めて謝意を表す。

2022年3月

（一社）ロシアNIS貿易会

ロシアNIS経済研究所

目 次

I. オンラインイベント記録

1. ウェビナープログラム	1
2. バーチャルツアープログラム	4
3. 報告・コメント・質疑応答	5
◆第1日目：ウェビナー「ウズベキスタンの経済・投資ポテンシャルと日本との協力展望」	
(1) シャフカト・サマドフ ウズベキスタン経済発展・貧困削減省 マクロ経済分析局 局長代理	5
報告「過去5年間におけるウズベキスタン共和国の経済発展」	
(2) オイベク・エルムラトフ ウズベキスタン投資促進庁 副長官	10
報告「Invest in Uzbekistan」	
(3) トイマス・ヤクボフ ウズベキスタン輸出促進庁 副長官	20
報告「ウズベキスタン輸出促進庁」	
(4) ウルグベク・アザモフ ウズベキスタン観光・スポーツ省 第一次官	22
報告「The Land of a Thousand Shrines」	
(5) ファルフ・ソイボフ 自由経済特区「ジザフ」 投資関係部部長	33
報告「自由経済特区『ジザフ』の投資可能性」	
(6) 下社学 独立行政法人 日本貿易振興機構 海外調査部主幹（ロシア・ユーラシア）コメント	51
◆第2日目：ウェビナー「ウズベキスタン民間セクターと日本企業との協力可能性」	
セッション1：ウズベキスタンにおける医療・製薬分野の最新発展動向	
(1) サンジャル・ババジャノフ タシケント・ファルマパーク 所長	53
報告「イノベーション研究開発製薬クラスタータシケント・ファルマパークについて」	
(2) サイドムロド・マフムドフジャエフ 有限責任会社「Dental Pharma」社長	58
報告「歯科用充填剤メーカー Dental Pharmaのご紹介」	
(3) アリシエル・テミルロフ 製薬産業発展庁 副長官	60
報告「ウズベキスタン共和国保健省付属製薬産業発展庁のご紹介」	
質疑応答	64

セッション2：ウズベキスタン民間企業によるビジネス提案	
(1)バティル・カディオフ 合併有限責任会社「Baxodir Log'on Tekstil」 マーケティング担当	65
報告「未来を創造するBaxodir Log'on Tekstil」	
(2)青木照護 株式会社ノーリツイス 代表取締役社長	70
報告「ノーリツイスについて」	
(3)ファルホド・ヌルムハメドフ ウズベキスタン皮革産業協会 副理事	72
報告「ウズベキスタンの皮革・製靴産業発展の展望」	
(4)齋藤裕和 三菱商事株式会社 地域総括部 欧阿中東チーム シニアアドバイザーコメント	80
◆第3日目：バーチャルツアー in ウズベキスタン	
第1部：Hotel Inspira-S Tashkent	81
第2部：「ブハラ・シティ」プロジェクトの紹介	87
4. オンラインイベント参加者アンケート結果	105
II. 特設ウェブサイト・バーチャル展示会	
1. 特設ウェブサイト	117
2. バーチャル展示会	121
III. 付属資料	
ウズベキスタン概要	125

I. オンラインイベント記録

1. ウェビナープログラム

第1日目：ウェビナー「ウズベキスタンの経済・投資ポテンシャルと日本との協力展望」

- ◆ 日 付：2022年1月24日（月）
- ◆ 時 間：14:00-15:35（日本時間）／10:00-11:35（ウズベキスタン時間）
- ◆ 主 催：（一社）ロシア NIS 貿易会、ウズベキスタン共和国商工会議所
- ◆ 協 力：経済産業省、日本ウズベキスタン経済委員会、在日ウズベキスタン共和国大使館
- ◆ 言 語：日露同時通訳
- ◆ 会議システム：ZOOM

日本時間 (ウズベキスタン時間)	プログラム
14:00-14:05 (10:00-10:05)	◆開会・議事説明 輪島 実樹（一社）ロシア NIS 貿易会 ロシア NIS 経済研究所 部長
14:05-14:10 (10:05-10:10)	◆日本側来賓挨拶 佐々木 幹夫 日本ウズベキスタン経済委員会 会長／三菱商事(株) 元会長
14:10-14:20 (10:10-10:20)	◆ウズベキスタン側代表挨拶 アドハム・イクラムフ ウズベキスタン共和国商工会議所 会頭
14:20-14:30 (10:20-10:30)	◆ウズベキスタン側報告「ウズベキスタンのマクロ経済状況」 シャフカト・サマドフ ウズベキスタン経済発展・貧困削減省 マクロ経済分析局 局長代理
14:30-14:50 (10:30-10:50)	◆ウズベキスタン側報告「Invest in Uzbekistan」 オイバク・エルムラトフ ウズベキスタン投資促進庁 副長官
14:50-14:55 (10:50-10:55)	◆ウズベキスタン側報告「ウズベキスタン輸出促進庁について」 トイマス・ヤクポフ ウズベキスタン輸出促進庁 副長官
14:55-15:10 (10:55-11:10)	◆ウズベキスタン側報告「The Land of a Thousand Shines」 ウルグバク・アザモフ ウズベキスタン観光・スポーツ省 第一次官
15:10-15:25 (11:10-11:25)	◆ウズベキスタン側報告「自由経済特区「ジザフ」の投資可能性」 ファルフ・ソイボフ 自由経済特区「ジザフ」 投資関係部 部長
15:25-15:30 (11:25-11:30)	◆日本側コメント 下社 学（独）日本貿易振興機構（ジェトロ） 海外調査部 主幹（ロシア・ユーラシア）
15:30-15:35 (11:30-11:35)	◆閉会

**第2日目セッション1：
ウェビナー「ウズベキスタンにおける医療・製薬分野の最新発展動向」**

- ◆ 日 付：2022年1月25日（火）
- ◆ 時 間：14:00-15:00（日本時間）／10:00-11:00（ウズベキスタン時間）
- ◆ 主 催：（一社）ロシア NIS 貿易会、ウズベキスタン共和国商工会議所
- ◆ 協 力：経済産業省、日本ウズベキスタン経済委員会、在日ウズベキスタン共和国大使館
- ◆ 言 語：日露同時通訳
- ◆ 会議システム: ZOOM

日本時間 (ウズベキスタン時間)	プログラム
14:00-14:05 (10:00-10:05)	◆開会・議事説明 輪島 実樹 （一社）ロシア NIS 貿易会 ロシア NIS 経済研究所 部長
14:05-14:10 (10:05-10:10)	◆ウズベキスタン側代表挨拶 ウルグベク・サビロフ ウズベキスタン保健省 次官
14:10-14:20 (10:10-10:20)	◆ウズベキスタン側代表報告「ウズベキスタン共和国保健省付属製薬産業発展庁のご紹介」 アリシエル・テミルロフ 製薬産業発展庁 副長官
14:20-14:30 (10:20-10:30)	◆ウズベキスタン側報告「イノベーション研究生産用製薬クラスター タシケント・ファルマパークについて」 サンジャル・ババジャノフ タシケント・ファルマパーク 所長
14:30-14:40 (10:30-10:40)	◆ウズベキスタン側報告「歯科用充填材メーカー Dental Pharma のご紹介」 サイドムロド・マフムドフジャエフ 有限責任会社「Dental Pharma」 社長
14:40-15:00 (10:40-11:00)	◆質疑応答／閉会

第2日目セッション2：
ウェビナー「日本とウズベキスタンの民間セクター協力の可能性
～CAVEX IIウズベキスタン出展企業プレゼンテーション」

- ◆ 日 付：2022年1月25日（火）
- ◆ 時 間：15:40-16:30（日本時間）／11:40-12:30（ウズベキスタン時間）
- ◆ 主 催：（一社）ロシア NIS 貿易会、ウズベキスタン共和国商工会議所
- ◆ 協 力：経済産業省、日本ウズベキスタン経済委員会、在日ウズベキスタン共和国大使館
- ◆ 言 語：日露同時通訳 / ◆ 会議システム: ZOOM

日本時間 (ウズベキスタン時間)	プログラム
15:40-15:45 (11:40-11:45)	◆開会・議事説明 輪島 実樹 （一社）ロシア NIS 貿易会 ロシア NIS 経済研究所 部長
15:45-15:55 (11:45-11:55)	◆ウズベキスタン企業報告⑩「未来を創造する合併有限責任会社『Baxodir Log'on Tekstil』」 バティル・カディロフ 合併有限責任会社「Baxodir Log'on Tekstil」マーケティング担当
15:55 -16:05 (11:55-12:05)	◆日本企業報告 「ノーリツイスについて」 青木 照護（株）ノーリツイス 代表取締役社長
16:05 -16:15 (12:05-12:15)	◆ウズベキスタン企業報告②「ウズベキスタンの皮革・製靴産業発展の展望」 ファルホド・ヌルムハメドフ ウズベキスタン皮革産業協会（ウズチャルムサノアト）副理事
16:15 -16:25 (12:15-12:25)	◆日本側コメント 齋藤 裕和 三菱商事株式会社 地域総括部 欧阿中東チーム シニアアドバイザー
16:25-16:30 (12:25-12:30)	◆閉会

2. バーチャルツアープログラム

バーチャルツアー in ウズベキスタン
 第1部：Hotel Inspira-S Tashkent /
 第2部：「ブハラ・シティ」プロジェクトの紹介

- ◆ 日 付：2022年1月26日（水）
- ◆ 時 間：第1部：15:00-16:00（日本時間） / 11:00-12:00（ウズベキスタン時間）
 第2部：16:15-17:15（日本時間） / 12:15-13:15（ウズベキスタン時間）
- ◆ 主 催：（一社）ロシアNIS貿易会、（株）HIS（第一部）
- ◆ 協 力： 経済産業省、在日ウズベキスタン共和国大使館
- ◆ 催行協力：（株）HIS（第2部）
- ◆ 言 語：日本語（第二部は日露逐語通訳）
- ◆ 会議システム：ZOOM

日本時間 (ウズベキスタン時間)	プログラム
15:00-16:00 (11:00-12:00)	第1部：Hotel Inspira-S Tashkent
15:00-15:05 (11:00-11:05)	◆主催者より開会および技術事項伝達
15:05-15:25 (11:05-11:25)	◆Hotel Inspira-S Tashkent プレゼンテーション マルフ・ウマロフ HHH CENTRALASIA FE LLC 代表取締役
15:25-15:45 (11:25-11:45)	◆ホテル内オンラインツアー
15:45-16:00 (11:45-12:00)	◆質疑応答 / 閉会
16:00-16:15 (12:00-12:15)	◆休憩
16:15-17:15 (12:15-13:15)	第2部：「ブハラ・シティ」プロジェクトの紹介
16:15-16:20 (12:15-12:20)	◆主催者より開会および技術事項伝達
16:20-16:25 (12:20-12:25)	◆「ブハラ・シティ」プロジェクト ビデオ上映
16:25-16:50 (12:25-12:50)	◆「ブハラ・シティ」プロジェクトプレゼンテーション アジムジョン・プラトフ 国家単一企業「ブハラ・シティ」代表取締役 ※日露逐語通訳
16:50-17:00 (12:50-13:00)	◆プロジェクトサイト内オンラインツアー
17:00-17:15 (13:00-13:15)	◆質疑応答 / 閉会

3. 報告・コメント・質疑応答

◆第1日目：ウェビナー「ウズベキスタンの経済・投資ポテンシャルと日本との協力展望」

(1)ウズベキスタン経済発展・貧困削減省

報告者：シャフカト・サマドフ マクロ経済分析局 局長代理

報告タイトル：「過去5年間におけるウズベキスタン共和国の経済発展」

優先分野発展に係る行動戦略が2017年に採択されて以降、政府は通貨市場の自由化、国際経済との統合、国家による経済介入度の削減に取り組んできた。また農業分野の抜本的改革と農産物輸出品の高付加価値化、中小含む民間企業活動の活性化、そして競争環境の確立なども主要アジェンダとして大きな注意が払われている。2017年から今日に至るまでに、ウズベキスタンは経済・社会分野全体においてポジティブな進歩を達成した。2020年や2021年は新型コロナウイルスの災禍に見舞われたとはいえ、司法・行政両分野における改革や市場開放、対外貿易および通貨交換の自由化など一連の政策が奏功し、大幅な経済成長と生活水準の向上を遂げることができた。

2017年から2021年までのマクロ経済動向を次に示す。同期間のGDP成長率は平均4.9%で、コロナ禍による損失がなければ平均5.7%となる見込みであった。インフレ率は当初の18.8%から9.98%まで低下するなど、抑制の傾向にある。また国内産業の工業化が加速し、GDPに占める鉱工業の割合は21.1%から27.8%に拡大した。優秀な労働力を豊富に抱える点も、堅調な経済成長を達成できた要因として挙げられる。

ウズベキスタンは巨大な消費市場を有するのみならず、製造拠点としての高いポテンシャルをも秘めている。このポテンシャルを有効に活用するために、我が国政府は投資誘致や輸出支援、輸入手続きの簡素化など実際的な措置を講じた。その結果、貿易高は年毎に増加し、大規模投資プロジェクト実施のための諸条件が整いつつある。具体的な数値を挙げれば、過去5年における投資額の年間増加率は平均16.6%で、2021年の投資総額は2016年の2.2倍を記録した。GDPにおける投資の割合は2017年の22.7%から2021年には33.3%まで拡大した。中央集権化投資と非中央集権化投資¹に分類した場合、ここ5年間で前者は1.9倍、後者は2.2倍に増えた。受け入れる外国直接投資（FDI）および融資額は実に5.2倍も増大した。貿易に目を転じると、貿易高は年間で平均11.7%ほど増加しており、2021年の総額は16年比で2.2倍の規模となった。輸出は1.4倍（GDP比24%）、輸入は2.1倍（同36.8%）に拡大した。

¹ 中央集権化投資とは国庫や国家基金など公的資金を原資とする投資を指す。一方非中央集権化投資は企業や個人など民間資金を原資としたもの。

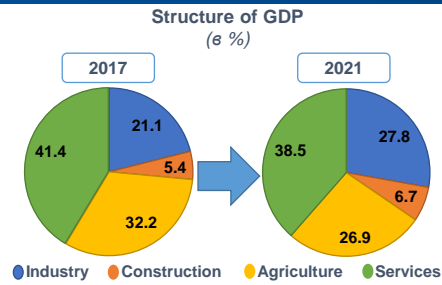
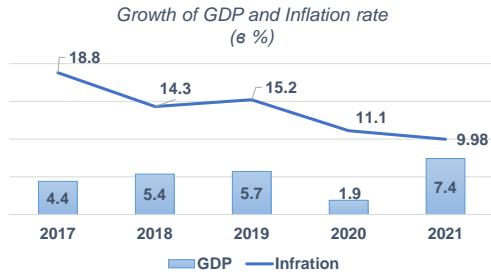
2017年から2021年までの間、国内産業の多角化、また国内産原料を活用した高付加価値製品の生産体制構築が重点的に実行されてきた。さらには自由経済特区や小規模工業特区、テクノロジーパーク、産業クラスターなどが全国各地に開設され、地域の産業振興の基盤となっている。過去5年間の製造業の動向をみると、成長率は年平均6.1%で、2021年の生産高は2016年比で1.3倍増加した。鉱工業における製造業の割合は2021年時点で83%と同期間で2%増えた。

農業分野の改革に関しては、2019年に大統領令『2020年～2030年のウズベキスタン共和国の農業発展戦略』が承認された。また綿花・小麦栽培向け農地の縮小、ならびに高付加価値農作物栽培向け農地の拡大に係る施策が決定された。2020年からは綿花・小麦の価格自由化が実現している。過去5年の農業生産の成長率は年平均2.3%、2021年の生産高は2016年比で1.1倍増となっている。

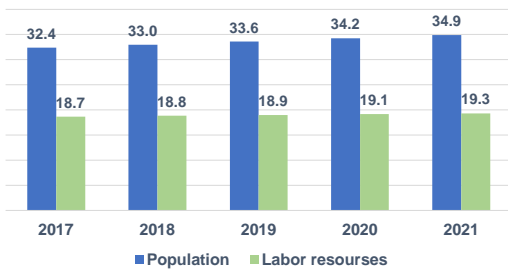
サービス産業においては収益の大幅増、そしてイノベーション分野をはじめとした非伝統的分野での新規参入者拡大が観察される。また近年では観光インフラの発展と観光関連の人材育成に多大な注意が払われている。過去5年間のサービス産業の成長率は年平均10.8%を記録し、2021年の売上高は2016年比1.7倍であった。

商品・金融市場における国営企業の独占状態を段階的に削減し効率的な競争環境を構築すべく、国内経済に対する国家関与度合いの縮小や過度な価格統制の廃止に係る施策が採択された。その結果5年間で約2,000の企業活動自由化に係る法令や大統領令、政府決定が打ち出され、114種の企業活動実施に関わるライセンスの廃止、ライセンス供与までの期間の平均2倍短縮、3,635の国家資産民営化などが実現した。E-IJRO AUKSIONという電子オークションプラットフォームを経由して約1万5,000以上の遊休地が売却され、また約6,000が民間セクターに売却された。今後5年間の主要目標は、金融・財政政策における段階的・構造的改革によるマクロ経済安定の実現である。また経済効率性の向上と貧困率の削減を達成するために、然るべき経済条件を構築し社会的支援を講じる。2022年は、インフレ率9%（2023年～2026年のインフレターゲットは5%）、連結財政赤字は対GDP比-3%と想定されている。今後5年間、経済に占める与信額は名目GDPの伸びと一致し、対GDP比43～47%に推移、経常赤字は-5%の水準を維持すると想定される。また2026年までに国民一人あたりGDPは2,800ドルに達し、輸出額は2021年の1.7倍増加すると見込まれている。経済効率性向上に係る各種目標数値を例示すると、電源構成に占める代替エネルギー源比率25%、年間発電量1,000億kWh、国内経済のエネルギー効率20%増、有害物質排出量10%減、経済成長における全要素生産性（TFP）の寄与度約2.5ポイントなどと掲げている。貧困率削減のための具体的取り組みに関しては、先端技能の習熟支援のほか、職業訓練支援、女性の権利拡大と企業活動支援などが挙げられる。

Main macroeconomic indicators of the Republic of Uzbekistan in 2017-2021

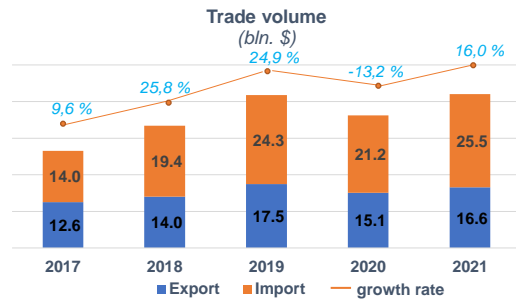
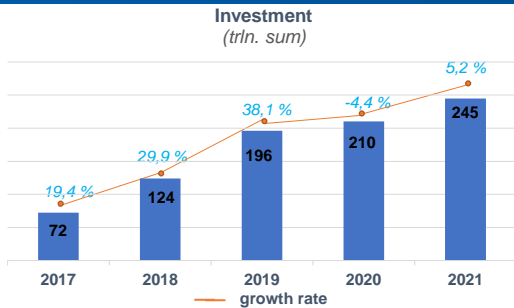


Population and labor resources (mln. person)



- ❖ The average annual GDP growth rate is **4.9%** (**5.7%** without the negative consequences of the pandemic)
- ❖ Over the past 5 years, the inflation rate has downward trend. (from **18.8%** to **9.98%**)
- ❖ In the last 5 years, the process of industrialization in the country has accelerated. As a result, the share of industry in GDP increased from **21.1%** to **27.8%**.
- ❖ The country has a competitive workforce corresponding to a high growth economic trend

Main macroeconomic indicators of the Republic of Uzbekistan in 2017-2021

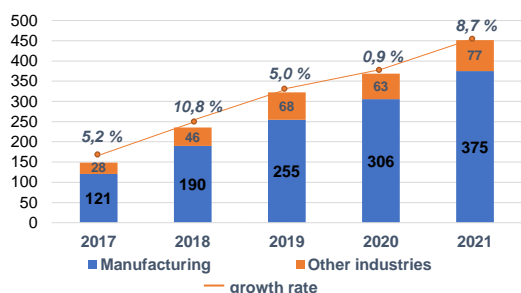


- ❖ Over the past 5 years, the volume of total investment has increased by an average of **16.6%** and increased by **2.2 times** compared to 2016
- ❖ The share of total investment in GDP increased from **22.7%** to **33.3%**, between 2017 and 2021
- ❖ In the last 5 years, the volume of **centralized** and **decentralized investment** increased by **1.9** and **2.2 times**, respectively.
- ❖ Over the past 5 years total amount of FDI and Credits to the economy increased by **5.2 times**

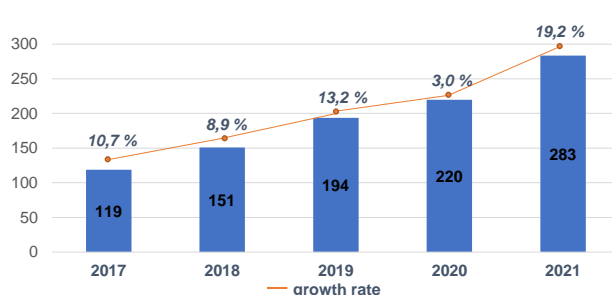
- ❖ Over the past 5 years, the volume of foreign trade has increased by an average of **11.7%** and increased by **1.7 times** compared to 2016
- ❖ In last 5 years the total export volume increased by **1.4 times** and its share in GDP increased from **20.3%** to **24%**
- ❖ The total volume of imports increased by **2.1 times** in last 5 years and the share of import in GDP increased from **22.6%** to **36.8%**

Analysis of economic sectors in 2017-2021

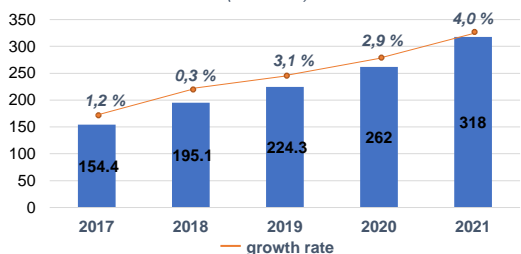
Industrial production
(trln. sum)



Market services
(trln. sum)



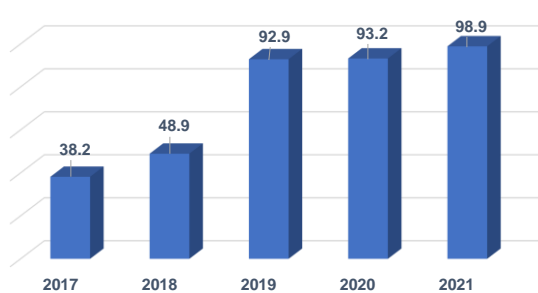
Agriculture, forestry and fishing
(trln. sum)



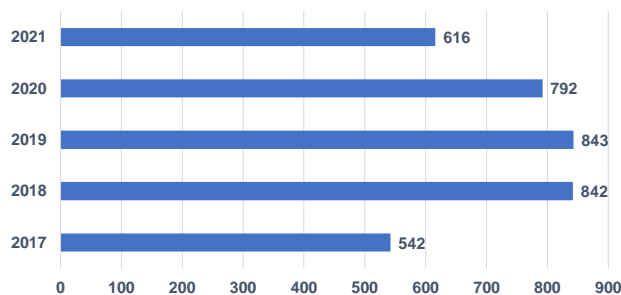
- ❖ Over the past 5 years, the volume of **manufacturing** has increased by an average of **6.1%** per year and it increased by **1.3 times** compared to 2016. The share of the manufacturing reached from **81% to 83%** in industry
- ❖ The volume of **Agriculture, forestry and fishing** increased by an average of **2,3%** annually and it increased by **1,1 times** compared to 2016 year
- ❖ The volume of **market services** increased by an average of **10.8%** last 5 years and it increased by **1.7 times** compared to 2016

Reduction of state participation in the economy

Number of newly established small business entities
(in thousands)



Number of privatized state assets
(in units)

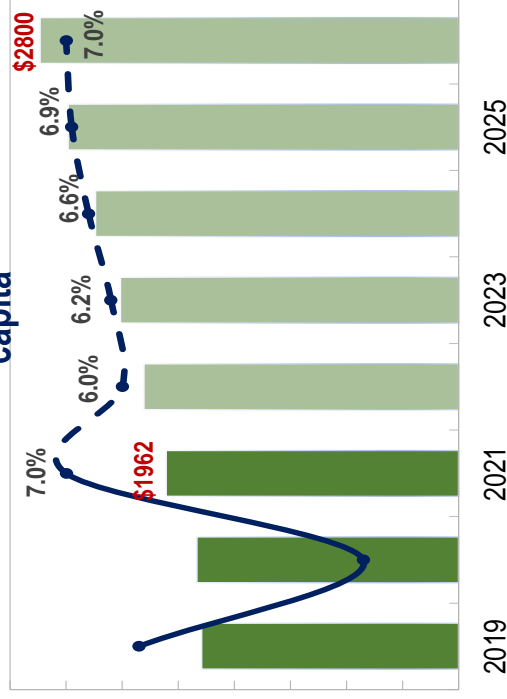


- ❖ In the last 5 years, **about 2 thousand** legislations, decrees and decisions on the liberalization of entrepreneurship were adopted
- ❖ **114 types of licenses and permits** related with the process of the implementation of entrepreneurial activities have been canceled
- ❖ The **procedures for issuing permits** have been simplified, and their terms have been reduced by an average of **2 times**

- ❖ Over the past 5 years, a total of **3,635 state assets** have been privatized
- ❖ Through the "E-IJRO AUKSION" more than **15 thousand** of empty lands were sold and about **6 thousand** were sold to the private sector

Main targets for the next 5 years

Main target: to achieve \$2 800 of GDP per capita



Macroeconomic Stability

- ❖ **Inflation rate** in 2022 is expected to be **9%** (targeted 5% for 2023 -2026)
- ❖ Increasing the per capita income to **4 thousand US dollars** in 2030
- ❖ Growth dynamics of **credit to the economy** is expected to be in line with nominal growth rate of GDP (around **43-47% of GDP**)
- ❖ **Consolidated budget deficit** in 2022 is expected to be **-3%** of GDP (less than **-3% of GDP in the next years**)
- ❖ **CA deficit** is projected to stay at around **5%** of GDP
- ❖ **Export** is expected to increase by **1,7 times** in 2021-2026

Reduction of poverty by 2 times

- ❖ Educate and train people to **modern skills**
- ❖ To create opportunities for training citizens in a particular profession **at the expense of the state**
- ❖ **Entrepreneurship** and **social support**
- ❖ Consistently pursue policies to empowerment of women

Targets for increasing efficiency level

- ❖ **Doubling** labor productivity: at least **600,000** young people enter the labor market every year
- ❖ Increasing the share of **alternative energy sources** up to **25%**, network capacity up to **100 billion kWh**.
- ❖ Increasing the **energy efficiency** of the economy by **20%**
- ❖ **Reduction** of harmful **emissions** by **10%**
- ❖ Average contribution of **TFP** to growth is **2,5 pp**

(2)ウズベキスタン投資促進庁
報告者:オイベク・エルムラトフ 副長官
報告タイトル:「Invest in Uzbekistan」

ウズベキスタンの人口は3,500万人と中央アジア最大であり、国民はウズベク語とロシア語を使用するとともに、近年では英語の習熟も進んでいる。2021年の名目GDPは600億ドルにまで達した。ウズベキスタンは中央アジアの中心に位置し、アジアと欧州を結ぶ戦略的要衝として見なされている。国内鉄道網の総延長は4,700km、自動車道路網は18万4,000kmで、国際空港は11カ所に存在する。また国内には8つの国際輸送回廊が通っており、鉄道や幹線道路で東西南北を繋いでいる。体系的かつ効果な教育システムが構築済みであることから国民の識字率は極めて高い。また今日国内では130の高等教育機関が存在し、うち25がイタリア、ロシア、米国、英国、韓国など国外の大学の支部である。

ウズベキスタンで活動する外資参加企業の数に過去5年間で2.5倍以上増加した。2017年時点では約5,000社だったが、今日では1万3,000社以上となった。50カ国以上の国がウズベキスタンへ投資を行っている。国別で見ると、中国やロシア、トルコなどの企業の進出が目立つ。日本も我が国の主要な貿易・投資パートナーであり、コロナ禍の逆風下にあってもなお二国間関係は様々な面で強化された。ウズベキスタン国内では日系資本が絡む企業が計39社あり、うち8社は100%日本出資企業である。二国間関係において重要な役割を担っているのが双方で署名された177の合意文書であり、これまでに投資協定(2009年発効)や租税条約(2020年発効)などが結ばれた。

外国直接投資は2016年の約20億ドルから2021年は75億ドルにまで増加した。主な投資先はエネルギー、化学、自動車などの分野である。外資参加のプロジェクト数は2016年に95件だったのが2021年には812件にまで増大した。近年の観光分野における改革も特筆に値する。2016年の査証制度の大幅緩和を皮切りに、今日まで60以上の観光分野発展に係る法的文書が採択された。2017年まではウズベキスタンに査証なしで入国できる国は9カ国のみだったが、現時点では日本を含む93カ国が査証免除対象となっている。

ウズベキスタンには金、銅、ウラン、石炭、銀、タングステン、亜鉛などの鉱物資源や天然ガスをはじめとするエネルギー資源が豊富に賦存する。これらの埋蔵量は、例えば金が6,000 t、銅1,640万 t、ウラン9万6,700 t、銀2万1,600 t、天然ガス2兆2,400億m³である。またウズベキスタンの公共サービス料金(電気・ガス代)は近隣国に比して非常に安価であり、資源開発セクターでの投資プロジェクト実施に際するインセンティブとなっている。

ウズベキスタンに対する国際的な評価はここ5～6年間で格段に上昇した。数年前に独立以降初めてS&PやMoody's、フィッチ・レーティングスなどの格付け会社から信用格付けを獲得

し、いずれからも概してポジティブな格付け認定を受けている。また2019年にはウズベキスタンが英経済誌「エコノミスト」によって「カントリーオブザイヤー」に選出された点も我が国のレピュテーション向上の証左と言える。

電力分野の動向について言及したい。近年我が国は電力分野、特にグリーンエネルギーの発展に注力している。中でも太陽光発電に関しては、ウズベキスタンの年間晴天日数が平均310日以上であるため有望なグリーン電源と見込んでいる。2021年の総発電量は約650億kWhであったが、向こう5年間で1,000億kWhを達成できるよう取り組む。

国営企業改革は国家の優先課題であることは先の報告者も述べた通りだが、補足すると2021年10月に国営企業民営化に係る大規模プログラムが採択され、5年以内に620以上の国営企業ないし国家資産を民間セクターに売却することが定められた。売却に際しては公開型の入札方式で買い手を募るため、ぜひ日本の投資家にも参画してほしい。

ウズベキスタンに投資を行う際、投資額の規模に応じた税優遇が認められている。30万～300万ドルの場合は3年間、300万～1,000万ドルの場合は5年間、1,000万ドル以上であれば7年間にわたって各種税（土地税、資産税、水利税）が免除される。また国内には21の自由経済特区（FEZ）が設置されており、入居企業は種々の優遇税制を享受できる。

コロナ禍における政府の社会・経済支援策についてだが、まずコロナ拡大ピーク時には危機対策基金（12億9,000万ドル規模）が創設され、企業50万社や一般国民800万人に給付金ないし税免除を与えた。また国民経済下支えのために国際機関に緊急融資を打診し、13億ドル以上が供与された。一方、ポスト・コロナを見据えた政府の取り組みも本格化しており、『2030年までのデジタル・ウズベキスタン戦略』、『2021～2023年のウズベキスタン投資プログラム』、『2030年までのグリーン経済戦略』などがすでに採択された。

ウズベキスタンに投資を行う利点は何か。第一に、識字率97%、労働人口2,000万人、平均年齢29歳前後といった数値から明らかな通り、優秀かつ豊富な人口を擁する点が挙げられる。第二に、政治・経済改革が今なお継続中で投資環境が劇的に改善されている。第三に豊富な地下資源も見逃せない点で、国内には2,000か所以上の確認済み鉱床が存在する。またウズベキスタンと周辺国をつなぐ物流インフラも整備されており、ビジネスの「横展開」も射程に入れることが可能だ。

ウズベキスタン投資促進庁は投資・対外貿易省付属機関であり、外国投資誘致や外国投資家の事業支援をミッションに掲げている。当庁のホームページには1,500件以上の投資案件が掲載されているほか、現地パートナーとのマッチング支援も行っているため、ご関心の向きは参照されたい。 <https://invest.gov.uz/>


Key Data

 **Area**
448,9K km²

 **Urbanization rate**
~50%

 **Population**
35M

 **GDP**
\$ 60 Bln {nominal}
\$ 250 Bln {PPP}

 **Languages**
Uzbek {official language},
Russian {widely used},
English {increasingly popular}

 **Political system**
Presidential Multi-Party
Democratic Republic



Strategic location and developed infrastructure. In the heart of the Silk Road

Uzbekistan has a **strategic position in the middle of Central Asia**

DEVELOPED INFRASTRUCTURE

11 International Airports

Dry port "Navoi"

trans-shipment point, connected to the seaport by rail or road



East Asia + Southern Europe

will be connected through China, Kyrgyzstan and Uzbekistan



13,7K km
total length of gas pipelines



237K km
total length of power lines



4,7K km
total length of well-developed system of railways



184K km
total length of roads in Uzbekistan

International transport corridors



- 1) Uzbekistan – Kazakhstan – Russia – Lithuania – Latvia – Estonia (*Baltic ports*);
- 2) Uzbekistan – Belarus – Ukraine – EU (*in transit through Kazakhstan and Russia*);
- 3) Uzbekistan – Ukraine – Black Sea (*in transit through Kazakhstan and Russia*);
- 4) Uzbekistan – Turkmenistan – Caspian Sea – Azerbaijan – Black Sea;
- 5) Uzbekistan – Turkmenistan – Iran – Persian Gulf;
- 6) Uzbekistan – Kazakhstan – China / Russian far eastern ports;
- 7) Uzbekistan – Kyrgyzstan – China (*East China and South China Seas*);
- 8) Uzbekistan – Afghanistan

Qualified workforce



Largest workforce in the region



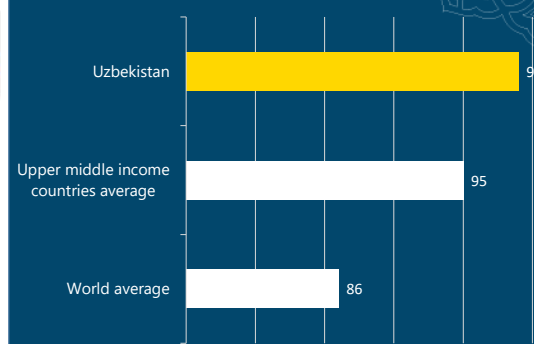
105 local and 25 foreign higher educational institutions



Literacy rate is 99%

International universities

Literacy rate by countries (in %)

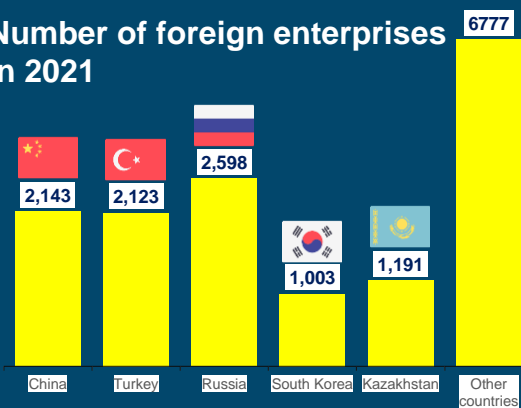


Foreign Direct Investment (FDI)

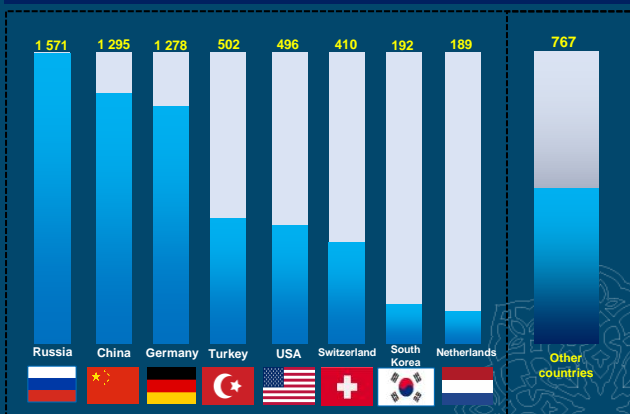
The number of enterprises attracting foreign investment has increased from



Number of foreign enterprises in 2021



FDI by countries, 2020 (in mln. US dollars)



Uzbekistan and Japan relations



\$9,2 mln.

EXPORT

\$132,7 mln.

TRADE TURNOVER

\$142,6 mln.

(for Oct.2021)



Number of Japanese enterprises in Uzbekistan:

39 enterprises operate on the territory of Uzbekistan with the participation of Japanese investments incl. **8** - with **100%** Japanese capital. Representative offices of **15** Japanese companies were accredited.



Agreements

177 bilateral documents, including:

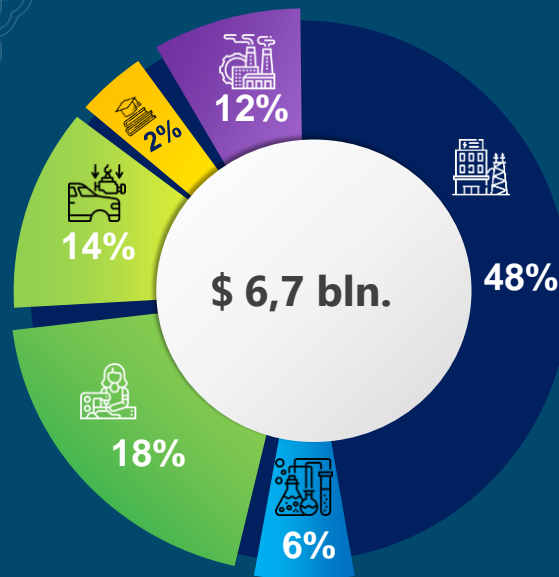
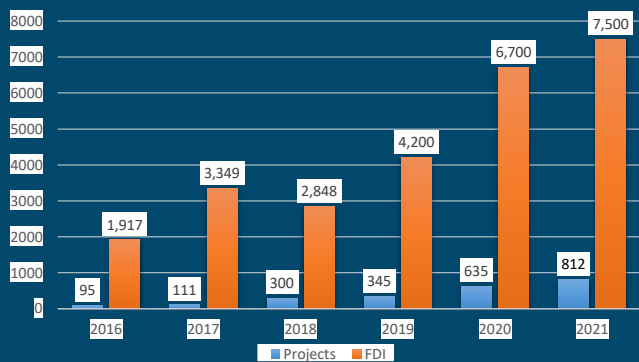
Agreement between the Republic of Uzbekistan and Japan on the liberalization, promotion and protection of investments (15.08.2008);

Convention between Japan and the Republic of Uzbekistan for the Elimination of Double Taxation with Respect to Taxes on Income and the Prevention of Tax Evasion and Avoidance. From 2020.9.25;

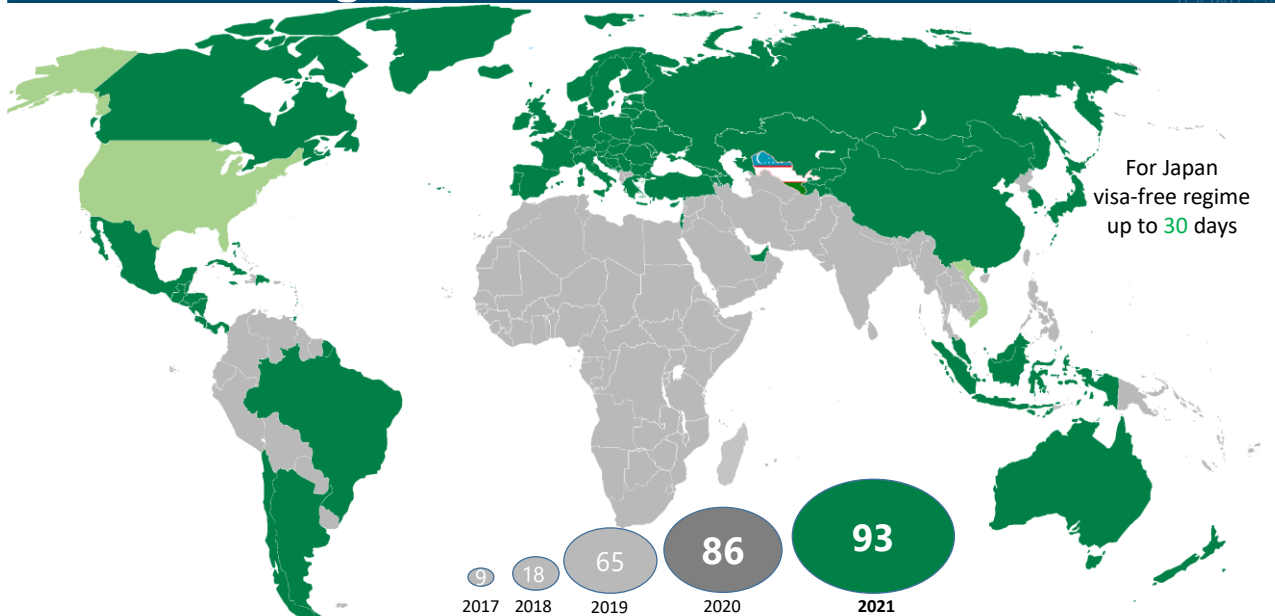
FDI by industries



FDI inflows in mln. \$



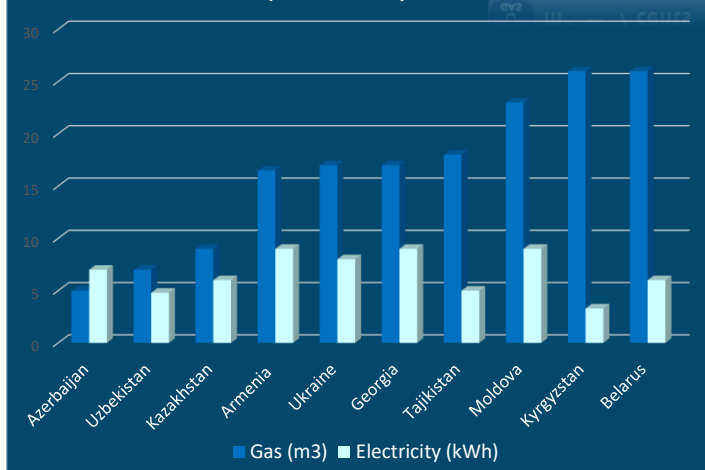
The most open country for tourists in the CIS region



Abundant and diverse natural resources

	Reserves	Production
Gold	6K tons	90 tons
Natural Gas	2,24 trln m3	56,6 bln m3
Copper	16,4 mln tons	137K tons
Uranium	96,7K tons	3,6K tons
Silver	21,6K tons	232 tons
Coal	1,95 bln tons	3,5 mln tons
Tungsten	123,6K tons	

Cost of energy in comparison with neighbor countries {in US cents}



Uzbekistan is standing out

The Economist named Uzbekistan **"Country of the Year"** for making the greatest progress in the affairs of democracy.

Gallup's global Law and Order Index

Uzbekistan entered the top **10** countries in the world in terms of security scoring **92** out of **100**.

STANDARD & POOR'S **BB- stable**

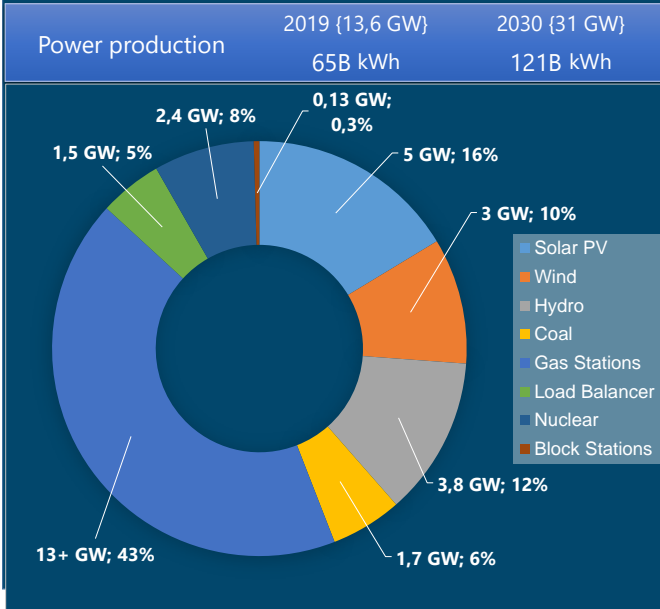
MOODY'S **B1- positive**

FitchRatings **BB- stable**

OECD **5th group**

For the last several years, Uzbekistan has significantly improved its positions in international rankings

Energy potential. 310+ sunny days per year



DIVERSIFICATION OF ENERGY SOURCES

HYDROPOWER
Installed Capacity: **1,95 GW**
Output: **6.5B KWh**
Potential Output: **27.5B KWh**

SOLAR
Potential Capacity: **241 GW**
Potential Output: **2,1 Trln KWh**

WIND
Potential Capacity: **520 GW**
Potential Output: **1 Trln KWh**

Reforming state-owned enterprises



PRIVATIZATION

Presidential Decree of the Republic of Uzbekistan No.6096 dated October 27, 2020
"On measures for Accelerated Reform of Enterprises with State Participation and Privatization of State Assets"



UZBEKNEFTEGAZ



620+

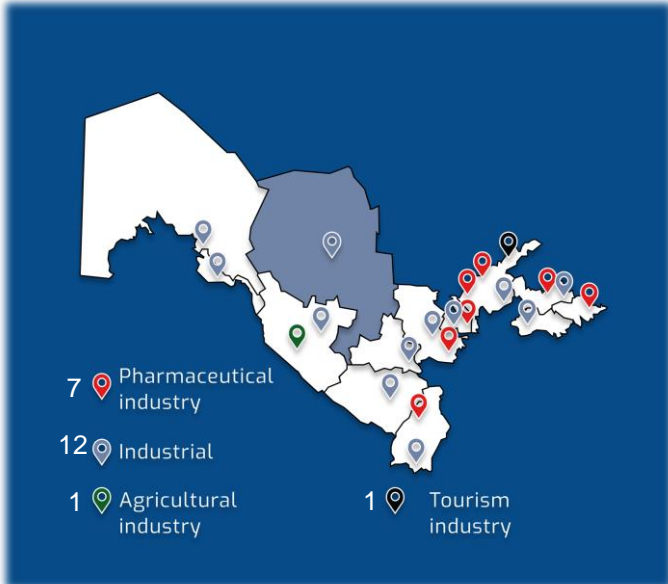
state assets will be transformed, put up for public auctions, sold to private investors with "zero" redemption value

- 32** state-owned enterprises and business associations to be transformed
- 39** state-owned enterprises that are to implement corporate governance and financial audit and improve operational efficiency
- 62** state assets put up for public auctions within target programs on privatization readiness and increasing investment attractiveness
- 479** enterprises where state-owned shares to be sold out to private sector investors through public auctions
- 15** real estate property to be sold to private investors

Tax exemption for investors

ENTERPRISES WITH FDI	Investment amount	Exemption period	<p>NOT LESS THAN 15% should be the share of foreign investors in JSC and at least 33% in other cases</p> <p>tax exemption from:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Land tax • Property tax • Water tax <p>2 YEARS CUSTOMS DUTY EXEMPTION of own use property import for enterprises with at least 33% of foreign investments</p>
	0,3M – 3M	3 years	
	3M – 10M	5 years	
	10M+	7 years	

Special economic zones

21 FREE ECONOMIC ZONES	 <p>7 Pharmaceutical industry 12 Industrial 1 Agricultural industry 1 Tourism industry</p>	Investment amount	Exemption period	<p>tax exemption from:</p> <ul style="list-style-type: none"> • land tax • income tax • property tax • single tax payment for small enterprises
		0,3M – 3M	3 years	
		3M – 5M	5 years	
		5-10M	7 years	
		10M+	10 years	

Weathering the COVID-19 pandemic

Pandemic period



Established an **Anti-Crisis Fund** in the amount of **\$1,29 bln.**



500K companies and **8 mln** people enjoyed direct support; **\$230 mln.** worth tax incentives campaigns



Over **\$1,3 bln.** mobilized from the international institutions to **support the economy** of population

Post Pandemic period



Digital Uzbekistan – 2030 Strategy:

- High speed Internet covering of regions – from 67% to 100% by 2030
- Index of E-Government - from 0,66 to 0,86 by 2030
- One million Uzbek coders program - software programming training for 587 thous. people(2020-2022y).



Green Economy – 2030 Strategy:

- Increasing of energy efficiency – 2 times;
- Increasing of share of renewable energy in total generation more than 25%;
- Drip irrigation system – 1 mln. ha.



Investment Program of Uzbekistan for 2021-2023:

- Total amount of investment – \$ 88,5 bln including \$37,5 bln. of FDI;
- Large production facilities in 2021 – creation of 226 new production and more than 34 thous. jobs;



So why invest in Uzbekistan?

Resources

2000+ deposits of natural resources
310+ sunny days

Central location

Developed infrastructure
Access to 2B+ market

Booming market

Increasing population
High GDP growth
Untapped potential of the industries

Human capital

20M labor force
Median age 29 years
97% literacy rate

Ongoing reforms

Investment climate improvement
Institutional reforms
Licensing procedures reduced

High returns

Tax exemptions
Low competition
Free economic zones
Tax burden reduction

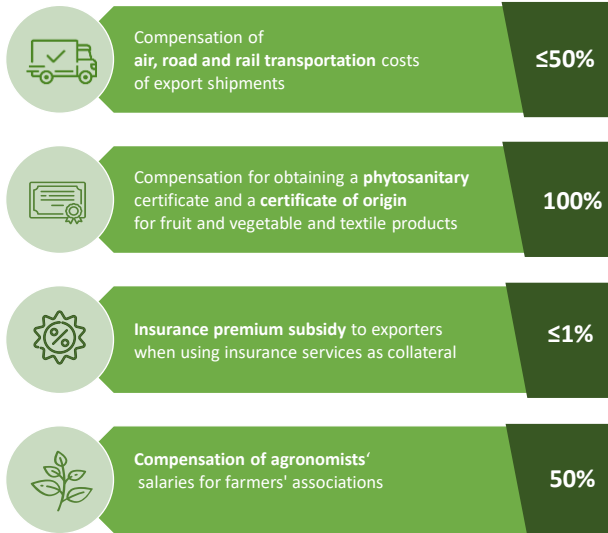
(3)ウズベキスタン輸出促進庁
報告者:トイマス・ヤクボフ 副長官
報告タイトル:「ウズベキスタン輸出促進庁」

経済の安定的成長を確保するための政策のひとつとして、輸出支援策は各国政府によって優先課題として位置付けられている。ウズベキスタンでは2019年にミルジヨエフ大統領主導のもと、投資・対外貿易省の附属機関として輸出促進庁が創設された。当庁は国内の輸出企業に財政・非財政支援を提供し、外国市場における国産製品の競争力拡大や輸出障壁の撤廃などに務めている。財政支援については、国際規格ないし認証の取得、海外進出を目的とした広報・プレゼンテーションの実施、ビジネスフォーラムや研修の参加、国際見本市への参加、国外での商標出願、国際競争入札への参加などに際して企業に補助金を供与する。加えて、製品輸出の輸送（50%以下）、保険手配（1%以下）、植物検疫証明ないし原産地証明取得（100%）などに係るコストの補填を行っているほか、商業銀行に対しては輸出前貸金融（pre-export financing）向けの原資も供与している。ウズベキスタンの企業が外国に事務所や倉庫を設立する際の資金援助も当庁の管轄である。ウズベキスタン製品の対日輸出増加を目的に、当庁は日本貿易振興機構（ジェトロ）と種々の問題を協議し長期的な協力関係を確立することを希望する。





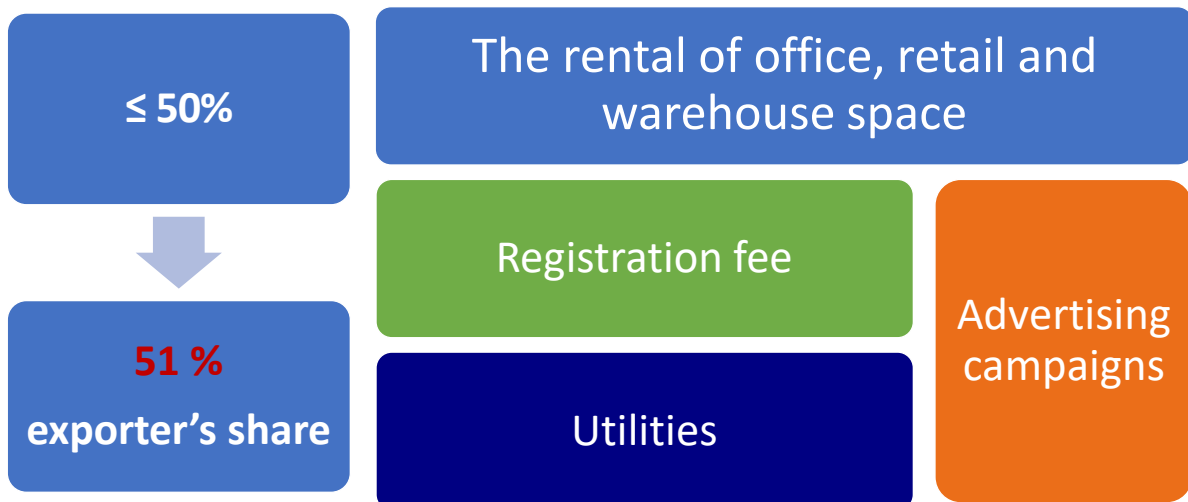
The directions of financial assistance of the Export Promotion Agency (Cont.)



PRE-EXPORT FINANCING



Financial assistance from the Export Promotion Agency to open a trading house



(4)ウズベキスタン観光・スポーツ省
報告者:ウルグベク・アザモフ 第一次官
報告タイトル:「The Land of a Thousand Shrines」

元来ウズベキスタンは文明の十字路シルクロードの中心に位置し、歴史的・考古学的・文化的遺産を多く抱えることから、巨大な観光ポテンシャルを秘めている。国内には8,000か所もの史跡が所在し、うち200か所がユネスコの世界遺産に登録されている。ミルジヨエフ大統領は観光産業を国民経済の戦略分野のひとつとして定め、就任後すぐに「オープンドア・ポリシー」を実施、査証免除対象国を格段に増加させた。査証免除対象国は2017年に9カ国だったのが今や90カ国以上にまで広がり、うち57カ国に関しては電子査証が認められている。査証制度改革、また並行して進められた観光インフラ増強策が功を奏し、ウズベキスタンを訪問する外国人旅行者数は2017年の270万人から2019年には670万人に増えた。旅行者数の増加を受け、観光インフラの一層の拡大や然るべき受け入れ態勢の整備が急務となっている。我々は宿泊施設の増加に継続的に取り組んでいるが、2021年時点では客室数が2万9,000部屋、ベッド数が6万1,500台と旅行者を十分に受け入れるに足る数字ではない。我々は2025年までにホテル数3,050棟、ベッド数13万台を達成することを目標に据えている。

遺憾ながらコロナ禍は観光産業に甚大な損害をもたらした。ウズベキスタン政府はコロナ禍当初より観光産業へのマイナス影響緩和のための特別プログラムを承認し、幅広い優遇策を実施した。特筆すべきはホテル建設に際する補助金制度であり、3つ星ホテルであれば1部屋あたり3,800ドル、4つ星ホテルであれば1部屋あたり6,200ドルの補助が供与される（但し2023年12月31日までに開業することが条件）。また政府はヒルトンやフォーシーズンズ、インターコンチネンタル、マリオネット、ウィンダムなどのグローバルホテルチェーンの誘致に関心を持っており、これらの国内でのフランチャイズ開業を目指している。そのため我々は高級ホテルを対象とした補助制度を別途用意しており、3つ星ホテルであれば1部屋あたり年間200ドル、4つ星ホテルであれば1部屋あたり年間400ドルの補助金（いずれも最大3年間）を供与できる。さらに政府は一連の観光地開発プロジェクトを計画しており、このほどマスタープランを作成した。ジザク州、ナマンガン州、スルハンダリヤ州、タシケント州、ブハラ州などで観光地開発を行う予定で、いずれも大規模プロジェクトのため投資家の関心を惹くはずだ。

日本は我が国にとって優先パートナー国のひとつである。日本旅行協会（JATA）との素晴らしい協業やチャーター便の就航が奏功し、いまや中央アジアの中でウズベキスタンは日本人旅行者に最も人気のある国となっている。2019年に我が国を訪問した日本人旅行者数は約2万5,000人を記録し、コロナ禍以前は年間18～19本のチャーター便が運航していた。まもなくコロナ禍が収束し観光客の往来が再開することを期待している。



5th THE SAFEST COUNTRIES OF THE WORLD

Law and Order Index 2017, Gallup Rating



No.1 IN TOP 10 TOURIST DESTINATIONS IN 2019

The Telegraph (Great Britain)



TOP TEN OIC INBOUND TRAVEL MARKETS

Global Muslim Travel Index 2019, Crescent Rating



No.1 IN GASTRONOMIC TOURISM IN 2018

National Geographic Traveler's Awards (USA)



02

03

UZBEKISTAN EASY TO TRAVEL

90

VISA FREE TRAVEL from March 1, 2021

53

5 DAYS VISA FREE TRANSIT for 53 countries

57

ELECTRONIC VISAS from January 1, 2020

NUMBER OF TOURISTS IS INCREASING

2.1

million visitors
in 2016

2.7

million visitors
in 2017

5.4

million visitors
in 2018

6.7

million
visitors
in 2019

11.80

million visitors
Expected in 2025

04

Cynthia Bel

TAX BENEFITS FOR FOREIGN INVESTORS

1. INCOME TAX FOR LEGAL ENTITIES
2. PROPERTY TAX
3. SINGLE TAX PAYMENT
4. MANDATORY CONTRIBUTIONS TO THE REPUBLICAN ROAD FUND

Enterprises attracting foreign direct investment and specializing in the provision of services (Tourism: hotel and tourism services) in sectors of the economy are exempted from taxes at the following volumes of direct private foreign investment.

3
YEARS

From 300 thnd.
USD to 3 mln.
USD

5
YEARS

Over 3 mln.
USD to 10
mln. USD

7
YEARS

Over 10 mln.
USD

05

WE PROVIDE INCENTIVES



Tax exemptions for investors

3 - 5 years of income tax, land tax, property tax exemption for 4+ star hotels and thematic parks



Tax exemptions for investors

3 - 5 years of income tax, land tax, property tax exemption for 4+ star hotels and thematic parks



Tax exemptions for investors

3 - 5 years of income tax, land tax, property tax exemption for 4+ star hotels and thematic parks



06

HOTEL CONSTRUCTION

9 14

hotels in 2018
with 41,000 beds capacity

1292

hotels in 2020
with 61,500 beds
capacity

3050

hotels in 2025
with 130,000
beds capacity

07

Cynthia Bil

AND MORE BENEFITS

Investors' expenses on new hotel construction are partly offset by government

☆☆☆
3800 USD

For each room

☆☆☆☆
6200 USD

For each room

Franchise fee for top 50 hotel brands are partly financed by government

200 USD

room/year

400 USD

room/year

ZAMIN MASTER PLAN



ZAMIN MASTER PLAN

PROJECT SPECIFICATIONS

The project will be implemented in 4 stages and including active touristic zones and sport complexes.

Total required investment: 200 mln. USD

Total area: 317,5 ha

Distance from Tashkent: 170 km

Medical tourism zone: in 30.1 ha including 8 clinics

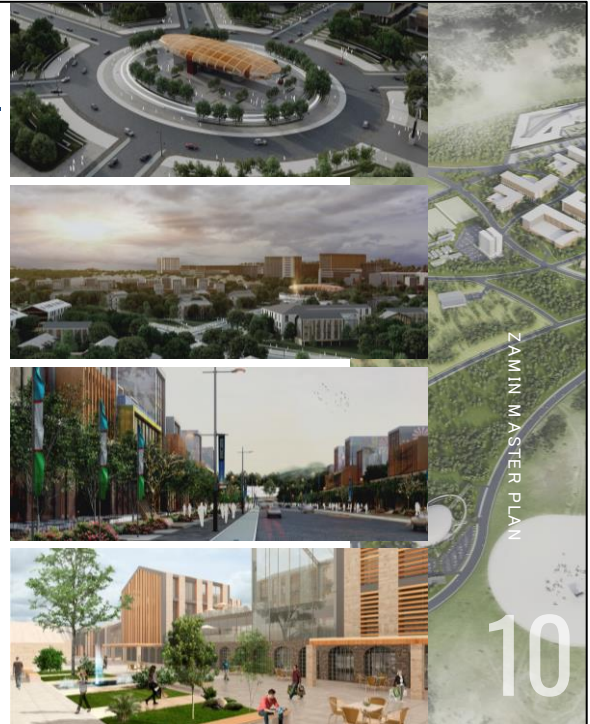
Sport complex area: 175 ha including 25 000 m² Hotel complex

Winter sport complex area: 1760 000 m²

winter sport complex with ski lines

Eco village area: 60.4 ha including shopping complex, restaurants.

Address: Zomin district, Jizzakh region, Uzbekistan



NANAY MASTER PLAN



NANAY MASTER PLAN

PROJECT SPECIFICATIONS

The project will be implemented in 4 stages and including 4 touristic zones.

Total required investment: 200 mln. USD

Total area: 67.5 ha

Distance from Tashkent: 206 km

Nanay touristic zone:

Area: 14,5 Ha including 2 five star hotels with 920 beds 78 villa suits with 1174 beds, 9000 m2 shopping center and restaurants.

Nanay small touristic zone: Area: 27.9 Ha including 4 star hotel with 251 beds, five star hotel with 549 beds, Concert hall, center of handcrafts.

Zarkent: Area: 5.8 Ha including 54 000 m2 class room, hostel, Conference hall, food court.

Paramon logistic zone: Area: 19.3 ha including 4 star hotel with 571 beds, gas station, exhibition center.

Address: Nanay district, Namangan region, Uzbekistan



BOYSUN MASTER PLAN



BOYSUN MASTER PLAN

PROJECT SPECIFICATIONS

The project will be implemented in 4 stages and including 3 touristic zones.

Total required investment: 200 mln. USD

Total required investment:

Total area: 138.8 Ha

Distance from Tashkent: 390 km

Area: 57.6 Ha including 23 550 m² building area (Cultural hotel complex, workshop, multi-use Conference Hall, restaurants and café, Stabling complex)

Stage 2: Area: 68.2 Ha including 27 480 m² building area (Villas, administrative buildings, shopping malls and mosque)

Stage 3: Area: 13 Ha including 9 200 m² building area (Restaurant and Cable car 1200 people /hour)

Stage 4: (Cable car 1200 people /hour)

Address: Boysun district, Surkhandarya region, Uzbekistan



CHIMGAN MASTER PLAN



15

BOYSUN MASTER PLAN

CHIMGAN project by French consortium

Charvak free touristic zone includes 3 areas.
 Total required investment: 480 mln. USD
 Total area: 426 Ha
 Distance from Tashkent: 84 km
 *Chimgan
 *Beldersay
 *Nanay
 40 kilometers of ski passes to become the largest ski in Central Asia
 20 activities proposed in the leisure park
 7 200 m Coastline
 Luxury hotels
 Valley for active sport
 Resort and yacht club
 Village center
 Address: Bostanlik district, Tashkent region, Uzbekistan

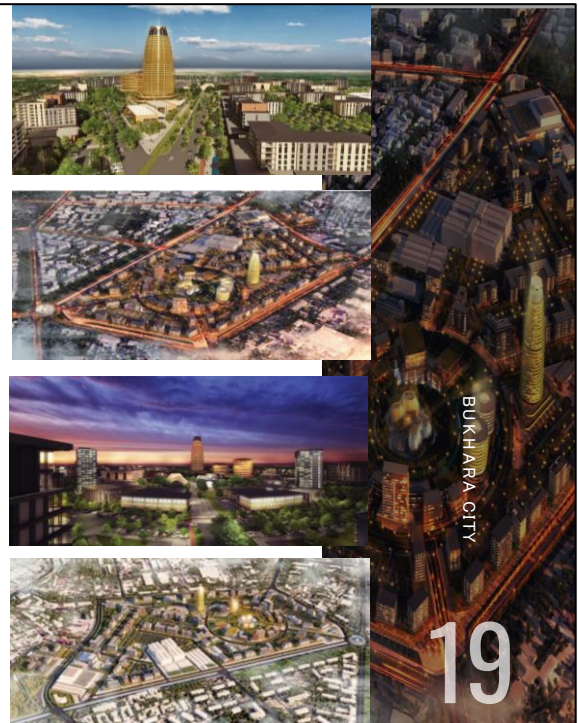


BUKHARA CITY

Modern Business and Residential Complex "Bukhara city" is located in the city of Bukhara on the crossroads Hofiz and Tanish Bukhariy, Zulfia, Kayum Murtozoev, Ibrahim Muminov and Sanoatchilar streets previously occupied by production and industrial facilities and buildings.

The project consists of 73 lots on 83 hectares of area. The designated area has several geographical and infrastructural advantages as it takes

- 4 minutes from government buildings (2,4km)
- 12 minutes from Airport (4,5 km)
- 10 minutes from the Old City (3,3 km)












PROJECT SPECIFICATIONS



LOT 19

Project name:

Hotel

-  Lot area: 5 021 m²
-  Building basement area: 1 700 m²
-  Total building area: 10 172 m²
-  Lot cost: \$100 420 (5 021 m² * \$ 20)
-  Project cost:
\$ 91 548 (10 172 m² * \$ 9. Studio Vertebra)
\$ 15 258 (10 172 m² * \$ 1.5. if by outside company)
-  Approximate construction cost: \$ 8.2 - 10.2 mln
-  Floors: 7
-  Number of blocks: 1
-  Realization period: 2023

PROJECT SPECIFICATIONS



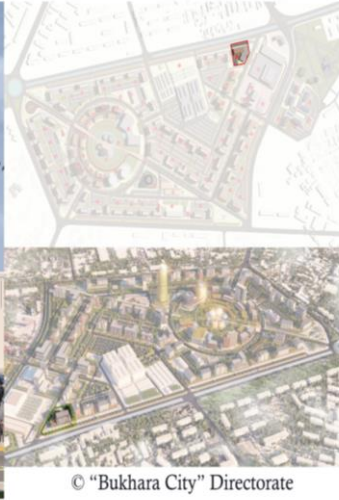
LOT 20

Project name:

Hotel

-  Lot area: 6 318 m²
-  Building basement area: 2 050 m²
-  Total building area: 12 529 m²
-  Lot cost: \$126 360 (6 318 m² * \$ 20)
-  Project cost:
\$ 112 561 (12 529 m² * \$ 9. Studio Vertebra)
\$ 18 793 (12 529 m² * \$ 1.5. if by outside company)
-  Approximate construction cost: \$ 10.0 - 12.5 mln
-  Floors: 7
-  Number of blocks: 1
-  Realization period: 2022

PROJECT SPECIFICATIONS



LOT 43

Project name:

Hotel

-  Lot area: 6 669 m²
-  Building basement area: 1 870 m²
-  Total building area: 9 725 m²
-  Lot cost: \$ 133 380 (6 669 m² * \$ 20)
-  Project cost:
\$ 87 525 (9 725 m² * \$ 9, Studio Vertebra)
\$ 14 587 (9 725 m² * \$ 1.5, if by outside company)
-  Approximate construction cost: \$ 6.8 mln
-  Floors: 8
-  Number of blocks: 1
-  Realization period: 2022

© "Bukhara City" Directorate

PROJECT SPECIFICATIONS



LOT 78

Project name:

**Hotel / Office
"Bukhara Tower"**

-  Lot area: 11 310 m²
-  Building basement area: 6 000 m²
-  Total building area: 49 225 m²
-  Lot cost: \$ 226 200 (11 310 m² * \$ 20)
-  Project cost:
\$ 443 025 (49 225 m² * \$ 9, Studio Vertebra)
\$ 73 837 (49 225 m² * \$ 1.5, if by outside company)
-  Approximate construction cost: \$ 30.0 - 34.5 mln
-  Floors: 32
-  Number of blocks: 1
-  Realization period: 2022

© "Bukhara City" Directorate

(5) 自由経済特区「ジザフ」
報告者：ファルフ・ソイボフ 投資関係部部長
報告タイトル：「自由経済特区『ジザフ』の投資可能性」

自由経済特区「ジザフ」(以下、FEZジザフ)は2013年3月の大統領令により設立され、ジザフ州の中心に立地する。発足当初の敷地面積は363.7haであったが、2019年8月の閣僚会議決定により182.1haが追加された。ジザフ州はウズベキスタンの中央部に位置し、タシケントやサマルカンド、ナヴォイなど国内主要都市にアクセスしやすい。州内には鉱物資源が豊富に賦存し、大理石、石灰岩、亜鉛・鉛、石材、珪灰石、重晶石、石膏、玄武岩、ケイ酸塩鉱物などが産出される。また域内には工科大学および教育大学が存在するほか、2019年にはウズベキスタン国立測量大学の支部が、2021年にはインド工科大学の支部が開設された。年間の大学卒業生数は2,700人を数え、ジザフ州は優秀な人材を豊富に抱えている。

FEZジザフの入居企業には税の優遇措置が認められている。土地税、資産税、水利税のほか、国内で製造されていない機械設備の輸入関税、輸出製品製造に必要な原料・部材の輸入関税、投資協定で規定されたプロジェクト実行に必要な建材の輸入関税などの支払いが免除される。これら税優遇を享受できる期間は投資額によって異なり、30万～300万ドルなら3年、300万～500万ドルなら5年、500万～1,000万ドルなら7年、1,000万ドル以上であれば10年間と定められている。FEZジザフ内の水道光熱費をスライド8にて示すが、ご覧の通りいずれも安価である。FEZジザフへの投資メリットを今一度整理するならば、①税の優遇措置、②豊富な鉱物資源賦存、③安定的なエネルギー資源供給、④他の主要地域へのアクセス至便、⑤優秀な人材、⑥大きな国内外市場の存在を挙げられよう。

2021年12月1日時点で24件、金額にして2億3,420万ドル規模の投資プロジェクトがFEZジザフにて実行された。投資額の8,960万ドルが外国直接投資、9,190万ドルが地場企業による投資、5,260万ドルが銀行融資となっている。これら24件の投資プロジェクトにより、3,866人分の新規雇用が創出された。主要な投資プロジェクトとして、ニット製品生産、家電工場建設、太陽熱温水器製造、ブレーキパッド・ライニング製造、使用済みバッテリー中の鉛の再生製錬、パイプ・継手製造、金属製品製造、ウルトラマリン顔料生産、光ファイバーケーブル製造、ガラス製品製造、自動車製造(CKD、SKD)などがある。

ジザク州の情報



- 立地 - ウズベキスタン中央部
- 行政中心地 - ジザク市
- 総面積 - 2万1,200km²
- 人口 - 130万人

ロジスティクス能力

- 185 KM タシケント
- 95 KM サマルカンド
- 248 KM ナヴォイ



鉱物資源



マーブルオニキス
(1100トン)



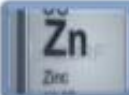
マーブル石灰岩
(330万㎡)



セメント原料
(1億8500万トン)



石灰岩、フラックス
(2億8910万トン)



亜鉛・鉛
(1億8560万トン)



珪灰石
(510万トン)



石張り用石材
(730万㎡)



重晶石
(1230万トン)

鉱物資源



砕石
(330万㎡)



膨張粘土骨材
(670万㎡)



石膏
(260万トン)



耐火材
(2万7800トン)



玄武岩
(2220万トン)



砂、ケイ酸塩
(1450万㎡)

人材、専門家



2つの高等教育機関

- ジザク工科大学
- ジザク国立教育大学



17の専門課程



年間2700人の卒業生

税の減免措置

自由経済特区参加企業は以下の税の支払いを免除される



土地税



資産税



水資源利用税



ウズベキスタン共和国で生産されていない技術機器の輸入にかかる関税(承認リストに基づく)



輸出向け製品の製造・販売に使用される原材料、部品の輸入にかかる関税



投資協定に基づいた投資プロジェクトを実施するために、定められた手続きで輸入される、ウズベキスタンで生産されていない建設資材に対する関税(建設期間中)

税の減免措置

投資額 USDル30万以上300万未満

・ 3年

投資額 USDル300万以上500万未満

・ 5年

投資額 USDル500万以上1000万未満

・ 7年

投資額 USDル1000万以上

・ 10年

水道光熱費

ユーティリティ	計測単位	料金	
		スム	USDル
電気	1kw/h	470	0,044
ガス	1m ³	1 000	0,094
水道	1m ³	4 075	0,38
下水	1m ³	1 775	0,17

自由経済特区「ジザク」に投資すべき理由



ニット製品製造

プロジェクト発起者	有限責任会社 «JIZZAX-TOSHTEPA TEKSTIL»
製品	ニット製品
プロジェクト費用	870万USDドル
生産能力	830万個
現地化率	95%
輸出	100%
雇用者数	500人
生産開始	2017年12月



最新電化製品の多品種生産体制の構築

プロジェクト発起者	合併有限責任会社 «Roison Electronics» 合併有限責任会社 «Roison White Goods» «Fortalia Consult LLP» (イギリス)
プロジェクト費用	3110万USDドル
生産能力	65万台
現地化率	75%
輸出	30%
雇用者数	210人
生産開始	2015年12月



太陽熱温水器製造

プロジェクト発起者	合併有限責任会社 «Quyosh Issiqlik Energiyasi»
製品	ソーラーコレクター
プロジェクト費用	330万USDドル
生産能力	1万5000個
現地化率	30%
輸出	30%
雇用者数	35人
生産開始	2014年12月



ブレーキパッド・ライニング製造

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Auto Pad Systems»
製品	ブレーキパッド・ライニング
プロジェクト費用	310万USD
生産能力	43万800セット
現地化率	45%
輸出	20%
雇用者数	45人
生産開始	2015年7月



使用済み電池からの鉛の回収とリサイクル

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Jizzax Akkumulyator Zavodi Distributor»
製品	鉛スクラップ、粗鉛
プロジェクト費用	500万USD
生産能力	1万1250トン 2880トン
現地化率	100%
輸出	30%
雇用者数	45人
生産開始	2018年7月



各種サイズのパイプと継手の製造

プロジェクト発起者	合併有限責任会社 «Master Building Products»
製品	ポリプロピレン管、塩ビ管
プロジェクト費用	1001万USD
生産能力	60万リニアメーター
現地化率	30%
輸出	30%
雇用者数	200人
生産開始	2015年7月



絨毯製造

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Diamond Carpet»
製品	絨毯製品
プロジェクト費用	640万USDル
生産能力	120万㎡
現地化率	72%
輸出	80%
雇用者数	54人
生産開始	2015年12月



断熱材製造

プロジェクト発起者	合弁有限責任会社 «EcoClimat»
製品	グラスウール
プロジェクト費用	700万USDル
生産能力	1万800トン
現地化率	52%
輸出	50%
雇用者数	199人
生産開始	2016年7月



金物製品、金属形材製品製造

プロジェクト発起者	合弁有限責任会社 «Master Screw Systems»
製品	金属・金属形材
プロジェクト費用	1010万USDル
生産能力	1万4000トン
現地化率	30%
輸出	30%
雇用者数	224人
生産開始	2015年7月



ウルトラマリン顔料製造

プロジェクト発起者	合弁有限責任会社 «SOFITEL»
製品	ウルトラマリン (紺青)
プロジェクト費用	1010万USDル
生産能力	4000トン
現地化率	90%
輸出	100%
雇用者数	245人
生産開始	2019年12月



ニット生地製造

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Jada Color Tekstil»
製品	ニット生地
プロジェクト費用	890万USDル
生産能力	3900トン
現地化率	100%
輸出	70%
雇用者数	98人
生産開始	2020年10月



光ファイバーケーブルなどケーブル製品の製造(ステージ1)

プロジェクト発起者	合弁有限責任会社 «Global Optical Communication Uzbekistan»
製品	光ファイバーケーブル
プロジェクト費用	780万USDル
生産能力	2万6200km
現地化率	32%
輸出	30%
雇用者数	80人
生産開始	2020年7月



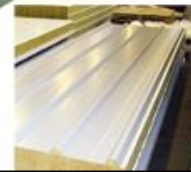
光ファイバーケーブルなどケーブル製品の製造(ステージ2)

プロジェクト発起者	合弁有限責任会社 «Global Optical Communication Uzbekistan»
製品	架空、地中、ダクトなど3種類の屋外用光ファイバーケーブル
プロジェクト費用	590万USD
生産能力	6万km
現地化率	32%
輸出	30%
雇用者数	33人
生産開始	2021年7月



サンドイッチパネル製造

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Asia Metal Sheets»
製品	サンドイッチパネル
プロジェクト費用	150万USD
生産能力	86万4000リニアメーター
現地化率	53%
輸出	30%
雇用者数	39人
生産開始	2020年12月



小麦加工・製粉体制の構築

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Eshonqul Savdosi»
製品	小麦粉
プロジェクト費用	184万USD
生産能力	2万7000トン
現地化率	30%
輸出	90%
雇用者数	60人
生産開始	2021年7月



ペレット状混合飼料製造

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Baxmal Quyosh Nuri»
製品	ペレット状混合飼料
プロジェクト費用	35万USDドル
生産能力	7200トン
現地化率	70%
輸出	30%
雇用者数	25人
生産開始	2020年12月



有価証券用紙用パルプ製造

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Raw Materials Cellulose»
製品	パルプ
プロジェクト費用	370万USDドル
生産能力	1万200トン
現地化率	84%
輸出	100%
雇用者数	25人
生産開始	2021年5月



乾燥果実・野菜の製造・貯蔵用冷蔵複合施設建設

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Rohat Plyus Zamin»
製品	乾燥果実・野菜
プロジェクト費用	30万USDドル
生産能力	138.6トン
現地化率	100%
輸出	70%
雇用者数	25人
生産開始	2020年10月



各種ガラス製品製造



プロジェクト発起者	“Ming Yuan Silu Industry Co. Ltd” (中国)
プロジェクト費用	1億1000万USDドル
生産能力	1600万㎡
現地化率	75%
輸出	40%
雇用者数	400人
生産開始	2017年12月

不凍液・窓ガラス用洗剤・自動車用点火ケーブル・エンジン用エアフィルターの生産体制の構築、廃エンジンオイル処理

プロジェクト発起者	合弁有限責任会社 «World Trading Company»
製品	不凍液、窓ガラス用洗剤、 自動車用点火ケーブル、 エアフィルター、自動車用 オイル
プロジェクト費用	515万USDドル
生産能力	176万2000、50万、250万 個、6000リットル
現地化率	24.5%、93.2%、32.3%、 31.4%、70.4%
輸出	30%
雇用者数	71人
生産開始	2020年3月



豊富なラインナップの輸出向け高品質衣料品生産のための近代的な繊維工場の建設

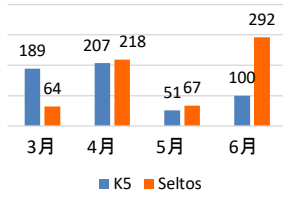
プロジェクト発起者	合弁有限責任会社 «Arnasoy Gold Tex»
製品	既製服
プロジェクト費用	1230万USDドル
生産能力	5630万着
現地化率	50%
輸出	50%
雇用者数	1200人
生産開始	2019年10月



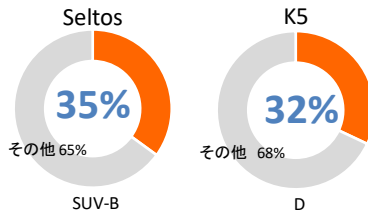
ADM DJIZAKHにおける自動車SKD生産

- SKD生産開始: 2020年11月
- 投資額: 1250万USD
- 雇用者数: 2021年末まで117 / 250人
- 生産能力: 年間1万台の自動車
- 生産台数: 1,290台
- 販売台数: 1,188台

販売



2021年3月～6月のセグメントシェア



モデル	2020 4Q	2021 1Q	2021 2Q	2021 3Q	2021 4Q
KIA	Seltos				
	K5				
	Soul				
	Sorento				
	Stinger				
Renault	Duster				
	Kaptur				
	Arkana				
Lada	Vesta				
	XRAY				
	Granta				
	Niva Travel				
	Niva Legend				
	Largus				

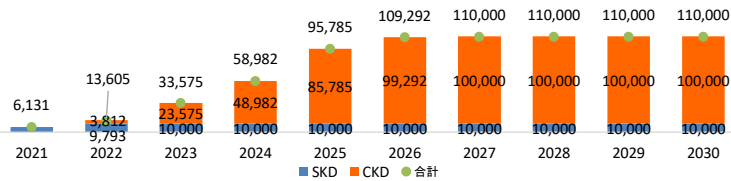


ADM DJIZAKHにおける自動車CKD生産

- CKD生産開始: 2022年第4四半期
- 投資額: 2億1600万USD
- 雇用者数: 3,500
- CKD生産能力: 年間10万台の自動車
- 生産オペレーション: 溶接、組み立て、塗装
- 工場面積: 50ヘクタール
- 現地化率: 30%
- 投資回収期間: 7年

3ブランド
20モデル

販売計画



モデル	2022 4Q	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2023 4Q
CKD	Kia QY (Sonet)				
	Kia KY				
KIA SKD	Seltos				
	K5				
	Soul				
	Sorento				
	Stinger				
	K8				
	K900				
Sportage					
Renault SKD	Duster				
	Kaptur				
	Arkana				
Lada SKD	Vesta				
	XRAY				
	Granta				
	Niva Travel				
	Niva Legend				
Largus					



「ADM JIZZAKH」工場



名称: 「ADM JIZZAKH」

組み立てライン



組み立てライン



35

「ADM JIZZAKH」工場



名称: 「ADM JIZZAKH」



36

クロスオーバー、ライトトラック、バンの生産体制構築

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Auto Motors Asia»
製品	クロスオーバー、ライトトラック、バン
プロジェクト費用	1618万USD
生産能力	27000台
現地化率	45%
輸出	30%
雇用者数	500人
生産開始	2023年12月



小型商用車「Volkswagen Caddy」の生産体制構築

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Jizzax Avtomobil Zavodi»
製品	小型商用車 «Volkswagen Caddy»
プロジェクト費用	1000万USD
生産能力	2万台
現地化率	30%
輸出	30%
雇用者数	110人
生産開始	2021年10月





金属製品のリサイクルおよび製造

プロジェクト発起者	個人事業有限責任会社 «Shengze Eco Recovery»
製品	線材、継手、アングル、チャンネル、角パイプ、金属プラスチック板、金属パイプ、二次スラグ
プロジェクト費用	1050万USD
生産能力	15万2100トン
現地化率	30%
輸出	30%
雇用者数	50人
生産開始	2021年12月



皮革製品製造

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Uz Turk Charm»
製品	牛革 (finish)
プロジェクト費用	1000万USD
生産能力	20万個
現地化率	80%
輸出	90%
雇用者数	88人
生産開始	2021年10月



本革製品製造

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Uz Turk Attorlik»
製品	Carvetバッグ、カードホルダー、セカンドバッグ「モノ」、キーケース
プロジェクト費用	146万USD
生産能力	18万7200トン
現地化率	80%
輸出	50%
雇用者数	40人
生産開始	2021年12月



植物油製造

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Jizzax Dizayn Invest»
製品	植物油
プロジェクト費用	194万USD
生産能力	6100トン
現地化率	40%
輸出	30%
雇用者数	30人
生産開始	2021年10月



靴製造

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Italian Living»
製品	紳士靴、婦人靴、軍用特殊靴
プロジェクト費用	670万USDドル
生産能力	36万9600足
現地化率	80%
輸出	60%
雇用者数	300人
生産開始	2022年7月



シリコンパウダー製造体制の構築

プロジェクト発起者	有限責任会社 «Platinum Lux Brend»
製品	二酸化ケイ素粉末
プロジェクト費用	220万USDドル
生産能力	7200トン
現地化率	95%
輸出	60%
雇用者数	50人
生産開始	2022年7月



(6) 独立行政法人 日本貿易振興機構(ジェトロ) 日本側コメント: 下社学 海外調査部主幹(ロシア・ユーラシア)

日本とウズベキスタンの民間セクター協力の可能性について3点コメントする。1つ目はウズベキスタンのビジネス環境整備の進展について。2016年末にミルジヨエフ大統領が就任して以降、ウズベキスタンでは社会経済改革が急ピッチで進められている。厳しい外為規制をはじめとして、煩雑だったビザの取得、評判の悪かった空港の使い勝手などが大きく改善した。ウズベキスタンはいわゆる「普通の国」へと変貌した。90年代からウズベキスタンに関わっているものとしては、大げさに言えば別の国になった印象を受ける。昨年10月の大統領選挙で私は選挙監視団員として2年ぶりにウズベキスタンを訪問した。首都タシケント以外にナヴォイ州に数日間滞在し、現地のビジネスマンと積極的に意見交換する機会を得たが、その時に彼ら若きウズベク人ビジネスマンが異口同音に直近のミルジヨエフ大統領の5年間のビジネス環境整備の取り組みを極めて高く評価していた。彼らは企業への融資や原材料調達、ビジネスマンの海外渡航など、民間企業の後押しをしてくれていると述べていたが、そのコメントは決して外国人の選挙監視団向けの美辞麗句ではなく、実感のこもったものであることが私にはわかった。話には聞いていたが、実際にビジネスマンからそのような評価を聞いたことは大変印象的だった。

2つ目に、ウズベク側のプレゼンテーションの質的向上について「注文」を申し上げる。90年代に比べればプレゼンテーションの質はかなり改善された。しかし未だに、例えば「自由経済区を作りました、優遇措置の条件はこれこれです、さあ投資してください」といったものが多い印象だ。これでは日本人ビジネスマンは投資を決めることは難しい。「紙おむつ工場建設プロジェクトを誘致したいのであれば、現在の人口はこれだけで、出生率はこれこれだから何年後には乳幼児人口はこれくらいになる、いくらの投資を行い、これだけの生産販売を行うと、何年後には投資が回収でき、何年後からこれだけの利益が見込める」、といった、簡単でよいので具体的なビジネスプランを数字やグラフを使って説明いただきたい。日本人ビジネスマンの多くは、ウズベキスタンという国名は知っていて関心はあっても、世界地図上でどこに存在するか、どの国と国境を接しているかを正確に言うことができる人はまだ少ない。そういったビジネスマンは、アンディジャン、フェルガナ、ジザフ、ナヴォイといった、普段聞きなれない地名がいくつも出てくるだけでプレゼンテーションについていけず、せっかく参加したセミナーの内容の報告書を社内向けに作成できなくなってしまう。最近ロシアの州や地方レベルでの投資誘致競争が激しくなっており、ロシアの各連邦構成体政府はいかに魅力的なプレゼンテーションで外国投資家にアピールできるかを競い合っている。他国の事例を研究するのも一案だろう。

3つ目は日本とウズベキスタンの経済交流の有望分野について。ひとつは、エコロジーの観点から有利なウズベキスタンの国土で、日本の優れた技術と厳しい品質管理のもとで生産する、いわば「Made in Uzbekistan made by Japan」の農産品や食品を、陸続きの中国の富裕層に訴求するといった取り組み

だ。購買力があり、健康や食品に気を遣う中国の富裕層を、仮に 14 億人の人口の 1 割としても、すでに日本全体の市場規模に匹敵する。日本と異なり輸送コストは低く抑えられるので、価格競争力が期待できると考える。もうひとつは水問題に関連するビジネスだ。水問題は中央アジアにおいてはアラル海やログンダムにみられるとおり、多国間の非常に難しい利害調整を必要とする、いわば中央アジアのアキレス腱となっている。淡水化やポンプなど、日本企業の持つ優れた水処理技術を活用し、中国やロシア、韓国などが実現しえないようなソリューションを提供することで、この地域に日本の存在感を示しうるのではないか。

※以下、下社氏発言を受けてのファリズジョフ・ウスマノフ・ウズベキスタン商工会議所副会頭コメント

プレゼンテーションの質的改善の必要性に関しては完全に同意する。投資家の関心をより惹くことができるよう、ウズベク側報告者と協議の上プレゼンテーションの構成や内容の充実化・洗練化に努める。また二国間の有望協業分野に農業を挙げていたが、これも同意見だ。ウズベキスタンは農作物の栽培や加工で長年の経験を有するものの、日本の規制（植物防疫法、食品衛生法等）をクリアするには至っていない。「Made in Uzbekistan made by Japan」が実現すれば、中国だけでなく CIS 諸国や EU 諸国への農産品輸出も可能になる。関係機関の支援を得つつ、農業分野での二国間協力拡大を推進したい。



◆第2日目：ウェビナー「ウズベキスタン民間セクターと日本企業との協力可能性」
セッション1：ウズベキスタンにおける医療・製薬分野の最新発展動向

(1) タシケント・ファルマパーク
報告者：サンジャル・ババジャノフ 所長
報告タイトル：「イノベーション研究開発製薬クラスター
タシケント・ファルマパークについて」

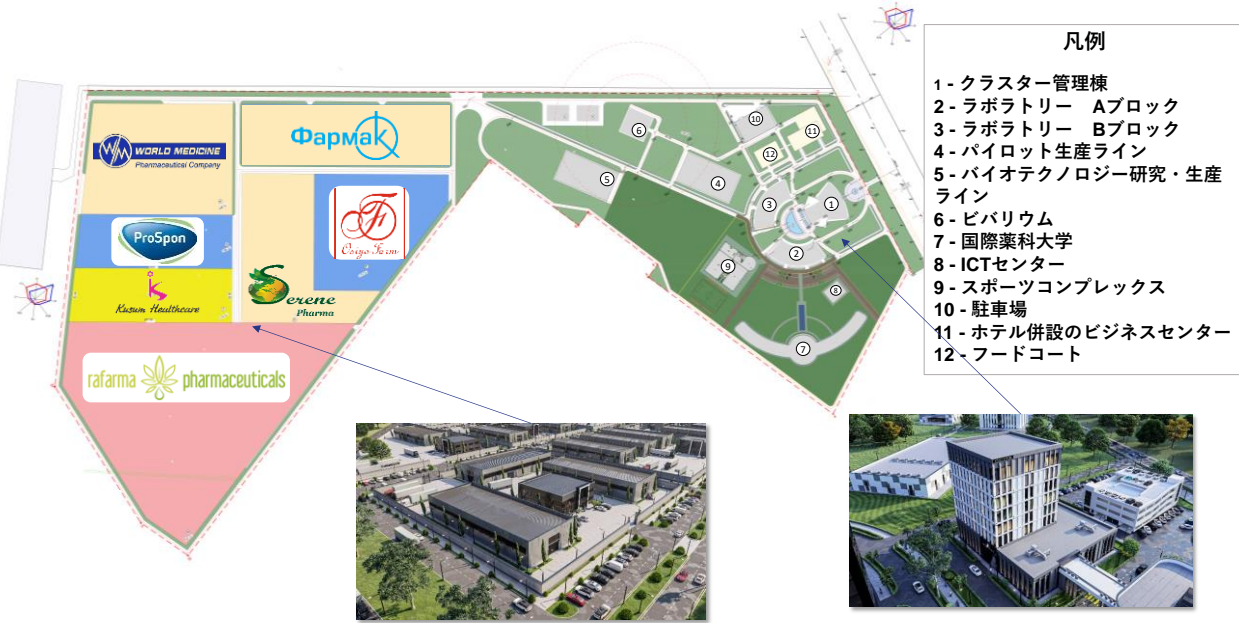
タシケント・ファルマパークは 2020 年 1 月の大統領令によって創設プロジェクトが発足した。建設地はタシケント州ザンギアタ地区で、敷地面積は 50ha を予定している。敷地には研究・教育関連区域と生産関連区域が設けられる。管理・ラボラトリー施設の概要はスライド 2 に示す通りで、製薬産業発展庁本部や製薬クラスター管理部、研究開発棟などが設置される。研究開発棟 A には実験センターが所在し、ワクチン・血清開発や微生物学・薬理・毒物学研究、医薬品の品質管理などが行われる。研究開発棟 B には種々の研究教育拠点が設置される見込みで、タシケント・ワクチン・血清研究所、ウズベク化学・製薬研究所、東洋医学研究所などが含まれる。タシケント・ワクチン・血清研究所内にはバイオセーフティーレベル 3 (BSL3) の生物学研究部門も設置予定で、プロジェクト額は 2,000 万ドル規模、2023 年までの完成を目指す。前臨床試験センターの活動、すなわち動物を使った試験や新薬の開発などは外国企業と国内企業との共同で行われる。こうした取り組みにより国内で生産可能な医薬品品目の拡大が期待される。

教育および一部研究関連施設、具体的には製薬技術大学、最新スポーツ施設、ICT センター、前臨床試験センターの建設は、対外経済協力基金 (EDCF)²による融資のもと 2 段階に分けて実行される。プロジェクト期間は 2021～2024 年で、融資総額は 8,370 万ドルにのぼる。年間学生受入数 (学士・修士) は 1,650 人を予定し、薬学や生物学、化粧品学 (cosmetic science) などのスペシャリスト養成を目指す。

現在、生産関連区域では複数の企業と投資協定締結やレジデント資格供与に向けた交渉が進行中だ。入居企業は税制優遇を受けることが可能となっている。またショッピング・センターや宿泊施設を備えたビジネスセンターの建設プロジェクトを計画中であり、もし外国投資家側が本プロジェクトに関する魅力的な提案をお持ちであれば歓迎する。

² 韓国輸出入銀行内に設置されている基金で、有償資金協力を実行する組織。

製薬クラスター



管理・ラボラトリーコンプレックス



バイオテクノロジーを利用した新薬・医薬品の開発



タシケントワクチン血清研究所やウズベキスタン化学製薬研究所を含む研究センターでは、有資格者の教師や教授陣がスペシャリストを育成



近代的な教育ラボと研究センターは、国際的なGLP基準に基づいて運営される



海外の大学と連携した教育プログラムに基づいて教育

BSL-3ラボ



BSL-3ラボは、タシケントワクチン血清研究所内に設置される予定



2000万USドル



2022～
2023年

感染症の予防や効果的な治療にとって、高次元の隔離
ができるラボラトリーの設置が、最重要技術課題



ビバリウム



- ビバリウムとは、医薬品のサンプルを動物に投与して実験を行う実験バイオクリニックである。
- 急性毒性および比活性に関するジェネリック医薬品の同種医薬品に対する生物学的同等性の測定
- ウサギを用いた医薬品の発熱性試験
- 医療製品サンプルのバイオセーフティ、総合毒性に関する前臨床試験の実施

薬科大学



8370万USD
ル



2021-2024
年



Korea Eximbank
THE EXPORT-IMPORT BANK OF KOREA

- 需要の高い職種で年間1,650人の学生が学んでいる。
- 学士課程
 - 薬学学士号
 - 生物薬学学士号
 - コスメティックサイエンス学士号
- 修士課程
 - 薬学修士号
 - 医薬バイオテクノロジー修士号
 - 医薬品クオリティ・バイ・デザイン修士号
 - 製薬業界クオリティ・バイ・デザイン修士号
 - コスメティックサイエンス修士号

*大学構内には、製薬クラスター全体のためのスポーツコンプレックス、寮、ICTセンターが設置される予定。

パイロット生産



実験・試作コンプレックスに予定されているライン

- 錠剤・カプセルライン
 - グラニュレーション、キャッピング
 - ブリスターパッケージングライン
- 注射剤ライン、ガラスアンプル
- グリース製造ライン
- 坐薬製造ライン
- 粉体成形ライン
- プレフィルドシリンジライン
- 乾燥粉末包装ライン
- 溶液用粉末（分包）ライン
- シロップ調合・包装ライン
- ソフトカプセル製造ライン
- 吸入器製造ライン
- スプレー用溶液ライン
- 点滴用溶液ライン
- バイオリアクター
- 水浄化・処理装置
- 物理化学ラボ
- 微生物学ラボ
- 注射剤ライン、PEアンプル
- 注射剤ライン、PPバイアル
- 注射剤ライン、ガラスバイアル
- エキス製造ライン

産業エリア

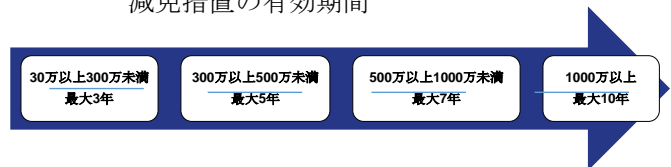


クラスター入居者は、以下の支払いを免除される。

土地税
資産税
水資源利用税
建材関税
技術機器の輸入関税
原材料、機材、部品の関税



減免措置の有効期間



テクノパークへの投資



ショッピングセンター



- ショッピングセンターには、食料品スーパーマーケットが入居予定
- 2階にはフードコートやレストランを配置
- 国際的なブランドの様々な小売店

アパートメントホテル併設のビジネスセンター



- 国際的な企業のためのビジネスセンター
- 30室を備えるアパートメントホテル

(2) 有限責任会社「Dental Pharma」
報告者: サイドムロド・マフムドフジャエフ 社長
報告タイトル: 「歯科用充填剤メーカー Dental Pharmaのご紹介」

Dental Pharmaは高品質歯科用製品メーカーであり、開発から生産までの全サイクルを自社で行っている。充填剤をはじめとした歯内療法関連製品を生産できるのは中央アジアで当社のみである。Dental Pharmaの本社はドイツに所在し、ウズベキスタンでの生産事業は2018年より開始、2019年には歯科用充填剤生産工場がオープンした。発足当初の生産品目は6種類で、すでに中央アジア市場では大きなシェアを獲得した。現在は域外市場進出戦略や生産品目の拡大計画を策定している最中である。2022年にはISO13485（医療機器の品質マネジメントシステム規格）を取得し、国際標準規格に合致した製品の生産体制を整えた。現時点での生産品目は計18種あり、2022年中に20カ国以上で販売登録を行い、10カ国以上に製品を輸出することが目下の目標である。当社の主力商品はEndofilling（根管充填剤）やGlassing（歯科用X線不透過性ガラスイオノマーセメント）などが挙げられ、特に後者は日本の「フジI」（ジーシー社製）と競合関係にある。

Dentals Pharma

業務内容：
医療機器／歯科用充填材の製造

活動分野：薬品製造
中央アジアで最初かつ唯一の
歯科用充填材のメーカー



Dentals Pharma

有限会社 Dentals Pharma
歯科用充填材メーカー

根管充填材：Endofilling

根管充填材パウダー：
Endofilling (powder)



Dentals Pharma

有限会社 Dentals Pharma
歯科用充填材メーカー

歯科用X線不透過性ガラスアイ
オノマーセメント：Glassing



(3) 製薬産業発展庁
報告者:アリシェル・テミルロフ 副長官
報告タイトル:「ウズベキスタン共和国保健省付属製薬産業発展庁のご紹介」

ウズベキスタンの医薬品取引高は年間13億ドル以上に上り、中央アジアで最も市場規模が大きい。今日国内では1万500点以上の医薬品が販売登録されており、うち70%が外国産で占められる。なお国内で活動する製薬企業は212社あり、主要メーカーにMerryMed Farm、Jurabek Laboratories、Remedi Groupなどが挙げられる。

ミルジヨエフ大統領のイニシアティブにより製薬産業発展庁が設立されて以降、製薬分野は安定的な発展を遂げている。2018年の生産高は1億4,730万ドルだったが、2020年には2億6,400万ドルに到達した。コロナ禍に見舞われた2020～2021年にも製薬産業は順調に成長した。2020年の医薬品輸出は前年比250%増となり、コロナ禍による物流制約があったにも拘らず輸出相手国が従前よりも6カ国（英国、米国、オーストラリア、インドラ、スイス、中国）増えた。またCOVID-19感染症拡大を受けて、レムデシビル、ファビピラビル、ヒドロキシクロロキンなどの薬品の生産体制を構築し、国内外市場へ供給を続けている。

製薬産業への投資誘致を目的とした様々な政策が行われており、その主たるものが製薬自由経済特区（以下、製薬FEZ）の創設である。現在は国内6カ所に製薬FEZが存在し、うち2カ所がタシケント州に位置する。医薬品生産に係る投資プロジェクトであれば、製薬FEZ内の区画は無料で供与される。またFEZ入居企業は投資額に応じた優遇税制が認められる。すでに4年間でアジアや欧州の製薬企業が製薬FEZへ進出したが、投資家へ提案できるプロジェクトはまだ数多く存在する。2019年以降、製薬産業発展庁はイノベーション研究開発製薬クラスター「タシケント・ファルマパーク」の創設に注力している。本プロジェクトの目的は、教育と人材育成を一体化させることで製薬分野の研究開発ポテンシャルを向上させること、そして養成した人材を製薬クラスターへ供給すると同時に彼らの職能強化を図ることにある。この目的を達成するには、研究開発拠点の整備、外国企業の持つバイオ製薬分野のノウハウ導入、新薬開発に必要な国際標準の採用などが必要不可欠であると認識している。製薬クラスター創設にかかるコストは2億8,000万ドルの見通しで、その一部は韓国輸出入銀行の融資でまかなわれる。またクラスター内には生産関連区域が設けられており、6件の投資プロジェクト（総額1億8,000万ドル規模）が進行中だ。

スライド6・7に具体的な医薬品製造プロジェクトを示す。ここに挙げている医薬品、すなわち消化器疾患治療薬、輸液製剤、眼科用医薬品、抗生物質は国内需要が大きく、現状は基本輸入に依存しているものだ。抗がん剤、内分泌疾患治療剤などは近隣国からの需要が高く、日本の製薬企業との有望な協業分野であると考えられる。

製薬業界



14億米ドル
医薬品市場全体（年間
15%成長）

60億米ドル
中央アジア全体の市場

10563
市販されている医薬品

212
国内医薬品メーカー数

2634
国内メーカーが生産する
薬品名称数

800
国内医薬品の年間登録
件数

製薬業界メーカーTOP5

No	企業名	個数 (2019)	個数 (2020)	% 2019/2020	額 (2019)	額 (2020)
1	MERRIMED PHARM	95 814 632.0	123 982 825.0	22.7	33 659 362.1	48 868 864.8
2	JURABEK LABORATORIES	44 414 202.0	62 811 864.0	29.3	18 266 058.7	37 202 883.5
3	REMEDI GROUP	15 694 471.0	12 394 228.0	26.6	36 909 080.0	24 752 778.5
4	NOBEL PHARM SANOAT	6 807 366.0	5 073 717.0	34.2	19 727 102.6	16 618 751.6
5	TEMUR MED	15 129 810.0	13 084 823.0	15.6	19 556 686.0	15 596 694.4

ウズベキスタン流通業者TOP5

No	企業名	額	個数	市場シェア
1	MEROS PHARM	151 563 603.69	101 134 776	8.92%
2	GRAND PHARM TRADE	108 395 026.20	64 202 064	5.66%
3	PHARM LUX INVEST	54 449 772.82	54 919 000	4.84%
4	SERENE PHARMA	28 267 457.25	6 584 378	0.58%
5	DORI-DARMON GAO	25 099 893.76	5 633 241	0.50%



製薬業界基本指標*

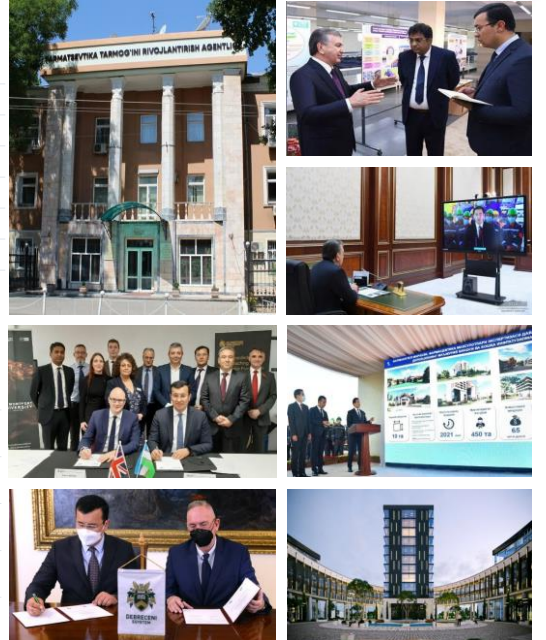
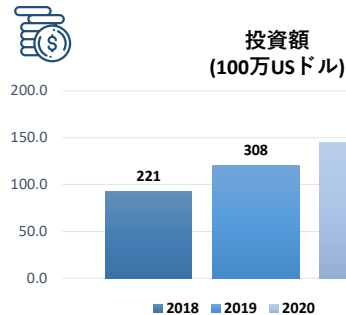
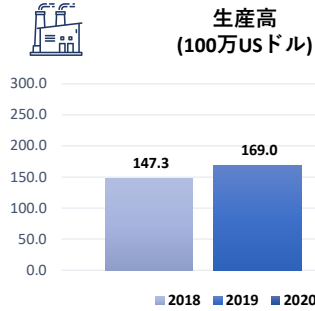


31
立ち上げられた投資案件

**5億5000万
米ドル**
投資額

21
輸出国数

新たに6カ国を輸出先として
追加:
イギリス
アメリカ
オーストリア
アンドラ
スイス
中国

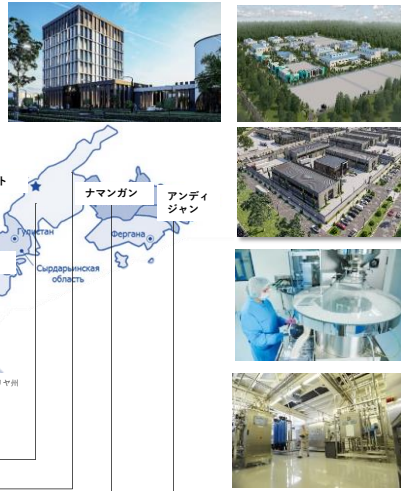
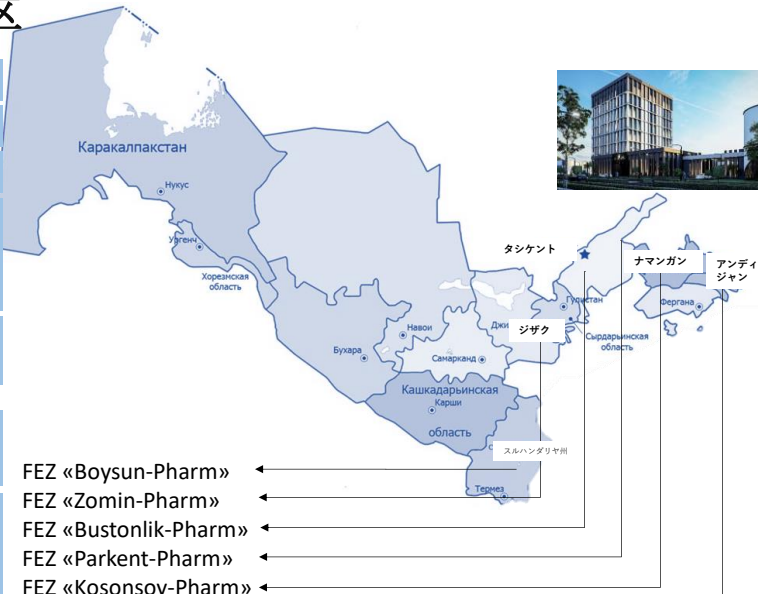


* 2020年時点

製薬自由経済特区



- 土地税
- 資産税
- 一括納税
- 社会インフラ整備開発税
- 教育・医療施設再建のための
予算外資金の支払
- 共和国道路基金への加入
- 原材料、機材、部品の関税



30万以上300万未満 最大3年	300万以上500万未満 最大5年	500万以上1000万未満 最大7年	1000万以上 最大10年、それ以上*
---------------------	----------------------	-----------------------	------------------------

タシケント・ファルマパーク



立ち上げ期間 2020-2022年
クラスター開設費用 2億8000万米ドル
予定投資案件 1億8000万米ドル

国立医薬品・医療用具・医療機器鑑定・標準化センター

各種研究開発センター、研究ラボラトリー、ピバリウム、薬局方センター

国際的な学位証書が取得できる薬科大学

シンポジウム・センター、ホテル、外国人教師・専門家・学生のためのキャンパス

産業エリア

- Farmak (ウクライナ); Seren Pharma (インド);
- Prospion (チェコ); World Medicine (トルコ);
- Kusum (インド); Rafarma (ロシア), 他



プロジェクト提案

プロジェクト概要
医薬品製造 (肝疾患・消化器疾患)

ロケーション
投資家の要望に応じて

年間市場規模
\$ 10 mil

輸入割合
88%

経済指標

プロジェクト費用
\$ 40 mil

機材 \$ 35 mil
建設 \$ 4 mil
その他 \$ 1 mil

投資回収期間
5-6年

生産能力
7 mil. (単位)
\$ 55 mil

輸入代替
\$ 56 mil

輸出
\$ 15 mil

従業員数
200人

機材・原材料の輸入に伴う関税の免除
医薬品FEZの参加者は、投資額に応じて非課税となる。
医薬品FEZにおける土地の無償取得

プロジェクト概要
抗生物質の製造 (フルサイクル)

ロケーション
投資家の要望に応じて

年間市場規模
\$ 181 mil

輸入割合
76%

経済指標

プロジェクト費用
\$ 30 mil

機材 \$ 26 mil
建設 \$ 3 mil
その他 \$ 1 mil

投資回収期間
5-6年

生産能力
100 mil. (単位)
\$ 46 mil

輸入代替
\$ 50 mil

輸出
\$ 10 mil

従業員数
130人

機材・原材料の輸入に伴う関税の免除
医薬品FEZの参加者は、投資額に応じて非課税となる。
医薬品FEZにおける土地の無償取得

プロジェクト提案

プロジェクト概要
輸液用医薬品の製造

ロケーション
投資家の要望に応じて

年間市場規模
\$ 300 mil

輸入割合
60%

経済指標

プロジェクト費用
\$ 8 mil

機材 \$ 7 mil
建設 \$ 0,9 mil
その他 \$ 1 mil

投資回収期間
4-5年

生産能力
20 mil.fl.
\$ 9 mil

輸入代替
\$ 9 mil

輸出
\$ 0,5 mil

従業員数
40人

機材・原材料の輸入に伴う関税の免除
医薬品FEZの参加者は、投資額に応じて非課税となる。
医薬品FEZにおける土地の無償取得

プロジェクト概要
眼科用医薬品の製造

ロケーション
投資家の要望に応じて

年間市場規模
\$ 6 mil

輸入割合
87,7%

経済指標

プロジェクト費用
\$ 5 mil

機材 \$ 4 mil
建設 \$ 0,9 mil
その他 \$ 1 mil

投資回収期間
4-5年

生産能力
2 mil. (単位)
\$ 6 mil

輸入代替
\$ 5,5 mil

輸出
\$ 1 mil

従業員数
40人

機材・原材料の輸入に伴う関税の免除
医薬品FEZの参加者は、投資額に応じて非課税となる。
医薬品FEZにおける土地の無償取得

質疑応答

質問①:

昨日の投資促進庁の報告で、国内に21の自由経済特区があるとのことだった。本日のご報告によればうち6つが製薬に特化しているということらしいが、分野が決まっているだけで特恵待遇は他の特区と同じだという理解でよいか。

上記回答(発言者:テミルロフ副長官):

特恵待遇の内容に差はなく、どの自由経済特区でも共通の優遇策が運用されている。

質問②:

日本企業は製薬産業発展庁ないしタシケント・ファルマパークにどのように関与し得るか。

上記回答(発言者:テミルロフ副長官):

報告中で言及した通り、抗生物質や抗がん剤など国内で生産されていない医薬品を日本企業が手掛けてくれることを期待する。

上記回答(発言者:ババジャノフ長官):

タシケント・ファルマパークは「イノベーション」をキーワードとして掲げており、先端医薬を製造し輸出できる日本企業の進出は大いに歓迎する。報告で述べた通り敷地内には研究・生産・教育インフラが設置予定で、製薬事業を行うに理想的な環境が整備される。日本企業が実際にパークでの事業実施を決定するなら、プロジェクト初期段階よりサポートすることをお約束する。

質問③:

ウズベキスタンでは民間資本の医療分野への参入障壁は存在するのか。また病院の経営に外国資本の参入は許されているか。

回答:

むろん存在しない。民間でも外資でも医療分野への参入は制限されておらず、投資・ビジネス活動は一連の法律によって保証されている。

◆セッション2:ウズベキスタン民間企業によるビジネス提案

(1)合弁有限責任会社「Baxodir Log'on Tekstil」 報告者:パティル・カディオフ マーケティング担当 報告タイトル:「未来を創造するBaxodir Log'on Tekstil」

当社は2016年創業の国内有数の綿糸・綿繊維メーカーで、タイとの合弁企業である。1万7,250haの綿花畑を所有し年間5万6,000tの綿花を栽培、そして100%綿花由来のカード糸やコーマ糸を製造する。綿糸の生産力は日産200tで、加工機械はTrützschler(独)、Rieter(スイス)、村田機械などのものを採用している。綿糸はロシアやトルコ、中国への輸出実績がある。またニット生地を生産・染色、ニット製品の製造を自社で行うことを計画しており、Mayer(独)あるいはTerrot(独)製の機械の購入を検討している。

当社の綿糸を素材に製造された縫製品をスライドにて示す。Tシャツの製造では日本のJUKI製のミシンを使っている。スポーツウェアは顧客の要望により綿100%とすることも、綿95%・合成繊維(アクリル、ポリエステル)5%とすることも可能。これら縫製品を日本へ輸出することを希望しており、協業プロポーザルをお待ちしている。



綿花・繊維クラスター 合弁有限責任会社「Baxodir Log'on Tekstil」は、17,250ヘクタールの綿花畑を有し、年間56,000トンの綿花を栽培するウズベキスタン有数の繊維企業である。
弊社は、リング精紡により日に20トンのコットン100%のカード糸とコーマ糸を生産している。

生産能力:
綿花加工—200トン/一昼夜
紡績糸—20トン/一昼夜
ニット製品—3000個/日





企業紹介

法的名称: 合併有限責任会社「Baxodir Log`on Tekstil」

住所: 150406 ウズベキスタン フェルガナ州 フェルガナ地区 ログアン村 カラチャ通り
63番

弊社設立は2016年、2020年より紡績開始。

2021年初頭よりロシア、2021年半ばよりトルコへの輸出開始。

2021年8月より、中国向け輸出開始。

2021年3月、縫製工場稼働開始。

弊社社員について

管理部門 - 200人

紡績工場 - 700人

縫製工場 - 1000人



機 材





導入機材

1. 洗浄: 1ライン - ツルツツラー社(ドイツ)
2. カーディング: 14機 - ツルツツラー社(ドイツ)
3. パターン: 12機 - リエター社(スイス)
4. コーミング: 7機 - リエター社(スイス)
5. 粗紡: 6機 - リエター社(スイス)
6. ロールスピニング: 21機 - リエター社(スイス)
7. 精紡: 21機 - 村田機械(日本)



綿花・繊維クラスター 合弁有限責任会社「Baxodir Log`on Tekstil」 製 品

製織・編成用 コットン100%のリングスパンカード糸
Carded Ne24/1-36/1 (Nm40/1-60/1)

製織・編成用 コットン100%のリングスパンコーマ糸
Combed Ne24/1-40/1 (Nm40/1-68/1)

製織・編成用 コットン100%のカード糸
OE Ne20/1-32/1 (Nm34/1-54/1)





男性用



男性用

スポーツウェア
コットン100%





男性用スポーツウェア ボトムス

合併有限責任会社
「Baxodir Log`on Tekstil」社製の
男性用スポーツウェアのボトムス
フリース、三層フリース、コットン100%



女性用

普段着
フード付き



フード付きパーカー



(2)株式会社ノーリツイス
報告者:青木 照護 代表取締役社長
報告タイトル:「ノーリツイスについて」

当社は愛知県で75年間オフィスチェアを製造販売しているメーカーで、チェア以外にもパーティションやパンフレットスタンドなどのスチール家具も製造している。オフィスだけでなく医療、介護、教育、工場などへ幅広く商品を供給している。なお現状製造販売は日本国内のみに留まる。数年前から海外へのビジネス展開を検討し始め、タイやベトナムを中心とした東南アジアを調査してきたが、どこも市場が成熟しきっていて当社のような中小企業が単独で進出してもメリットが少ないという判断に至っていた。折しも私の友人からウズベキスタンでのビジネス展開を紹介され、東南アジアから中央アジアへ目先を変えてみようと、2021年3月に初めてウズベキスタンへ渡航して現地調査を行った。実は私の住む愛知県名古屋市とタシケント市はパートナー協定を結んでおり、またコロナ禍で日本からの訪問者も珍しいということで運良くタシケント市のアルティクホジャエフ市長と面会する機会を得た。そこで市長からHOGOファニチャーというオフィス家具販売会社を紹介され業務提携を取り交わした。

ウズベキスタンではまだオフィスチェアの製造は行われていない。流通しているのは中国製、ウクライナ製、ロシア製、トルコ製の製品ばかりで非常に安価。それらに比べると当社製品は物流コストも含めると5~10倍の値段になってしまう。そこで当社製品がウズベキスタンで売れるのか感触を掴むために、5月の国際家具展示会にHOGOファニチャーの協力を得て出展した。メイドインジャパンという物珍しさに沢山の集客ができ、実際に座ってもらい、その品質の高さとデザイン性に高い評価を得た。値段についても中国製は保証期間が1カ月のみでほとんど1年以内に壊れてしまうが、ノーリツイスは3年保証で壊れないということを説明すると、それならば買いたいという声を多くいただいた。その際の展示品をタシケント市内のAtlasというショッピングモールで今も継続展示している。

ノーリツイス製品がウズベキスタンで売れるという感触が掴めたため、輸出販売だけでなく将来的にはメイドインウズベキスタン&ジャパネクオリティを目指すことにした。ちょうどタシケント市内にINDEXという店舗・工場の複合施設が建設中であるため、その一角に工場進出することを決めた。それに向けて7月にACES JAPANという現地法人を100%独資で立ち上げた。時を同じくして家具貿易に関する大統領令も発出され、部品や製品の輸出入のハードルが非常に低くなり、自ら座り比べたアリポフ首相はノーリツイスの椅子をご購入になった。

今後、HOGOファニチャーの所属するakfaグループと契約を結び、ACES JAPANを50:50の合弁会社化する計画だ。予定通りいけば2023年4月からメイドインウズベキスタンのオフィスチェア製造が始まる。とはいえ、しばらくは日本やアジアから多くの部品を仕入れながらアッ

センブリする工程がメインになるかと思う。徐々にウズベキスタン国内での部品調達比率を高めていき、2028年にはウズベキスタンでの完全国内生産を目指す。また商圏もウズベキスタンだけでなくNIS諸国への輸出を見据えて製造できる製品を毎年増やしていく予定だ。

当社のような日本の中小メーカーがウズベキスタンへ進出するには様々な課題があるが、最大の課題はウズベキスタンに工業規格が無いことが挙げられる。日本にはJIS規格が存在していて、材料も部品もJISを取得することで品質を保証する。さらに各都道府県に工業試験場が設置されていて、地域産業に特化した工業試験を提供している。日本ではこういった品質保証制度が確立されているからこそ安心して製造業を営むことができる。工業規格も工業試験場もないウズベキスタンでは、安定した品質の製品を提供するのは難しく、海外へ輸出するのもままならない。当社からも日本政府にウズベキスタン工業規格確立の支援を要請しているが、ウズベキスタン政府にも可及的速やかに対応策を講じることを希望する。ただし、工業規格を確立してもそれを運用する人材育成に非常に時間がかかる。まずは今のうちから工業試験場を設置して日本のノウハウを学ぶことを勧める。そのために当社も協力を惜しまない。



(3)ウズベキスタン皮革産業協会(ウズチャルムサノアト)
報告者:ファルホド・ヌルムハメドフ 副理事
報告タイトル:「ウズベキスタンの皮革・製靴産業発展の展望」

当協会には 539 社の皮革製造関連企業が加盟しており、皮革加工、靴製造、革製小物製造、毛皮製品製造などに従事している。協会のミッションは企業間協力の促進、最新技術の導入支援、学術的知見を取り入れた商品開発支援、国家支援の執行などが挙げられる。2020 年の国内皮革産業の生産高は 3 億 3,600 万ドル、前年比で 1.4 倍以上増加した。輸出は前年比 2.1 倍増の 4 億 100 万ドルであった。牛飼育頭数は 1,380 万頭、羊飼育頭数は 2,470 万頭で、牛原皮の生産量は 460 万頭、羊原皮の生産量は 890 万頭となっている。

ウズベキスタンの皮革産業における投資環境は大きく改善され、政府のバックアップにより投資プロジェクト実施に際しては様々な優遇税制が認められている。2021～2022 年には 248 件、金額にして 4 億 2,100 万ドル規模の投資プロジェクトが計画されており、うち 2 億 4,950 万ドルが外国直接投資の見込みである。諸外国の専門家らは、ウズベキスタンは中央アジアで最も皮革産業発展のポテンシャルがあり、生産力の拡大により一層輸出志向の強い産業分野へ成長できるとコメントしている。日本の皮革産業は高度に発展していると聞いており、ぜひ互恵的な関係を構築したい。

ウズベキスタンの皮革産業の強みとして「現地化」の水準が高い点が挙げられる。すなわち製革に必要な皮革、靴底、化学製品、関連部品などは低コストで現地調達が可能である。高度技能を有する労働力を多く抱えている点もプラス要素だ。加えて現在、国内各地で皮革産業クラスターの形成が図られており、効率的な生産サイクル構築と高付加価値製品の創出を我々は目指している。フェルガナ州では Premium Leather 社をアンカー企業としたクラスター形成がすでに実現し、今では牛革の靴や小物が生産され全国で人気を博している。

政府支援のおかげもあり、協会会員企業とは国際機関や外国の高等教育機関との協力関係が構築された。ノーサンプトン大学（英国）やエーゲ大学（トルコ）、ヴィテプスク大学（ベラルーシ）、サンクトペテルブルグ産業技術設計大学（露）などの有力校との協定締結は特筆に値する。ウズベキスタンの皮革産業関連人材をこうした教育機関へ派遣し、国際レベルの技能や知識を習得させている。また、我々は会員企業の国際標準規格取得支援を行い、外国市場での商品競争力の向上にも努めている。

外国市場への販路拡大を目的に、協会主導のもと外国の見本市に出展し国産皮革製品を照会する取り組みを積極的に行っている。これまで SIMAC & TANNING TECH（伊）や AYMOD（トルコ）、MOSSHOES（露）、CHINA INTERNATIONAL IMPORT EXPO（中国）などの国際見本市での出展実績がある。

INDUSTRY DEVELOPMENT AND CURRENT STATUS

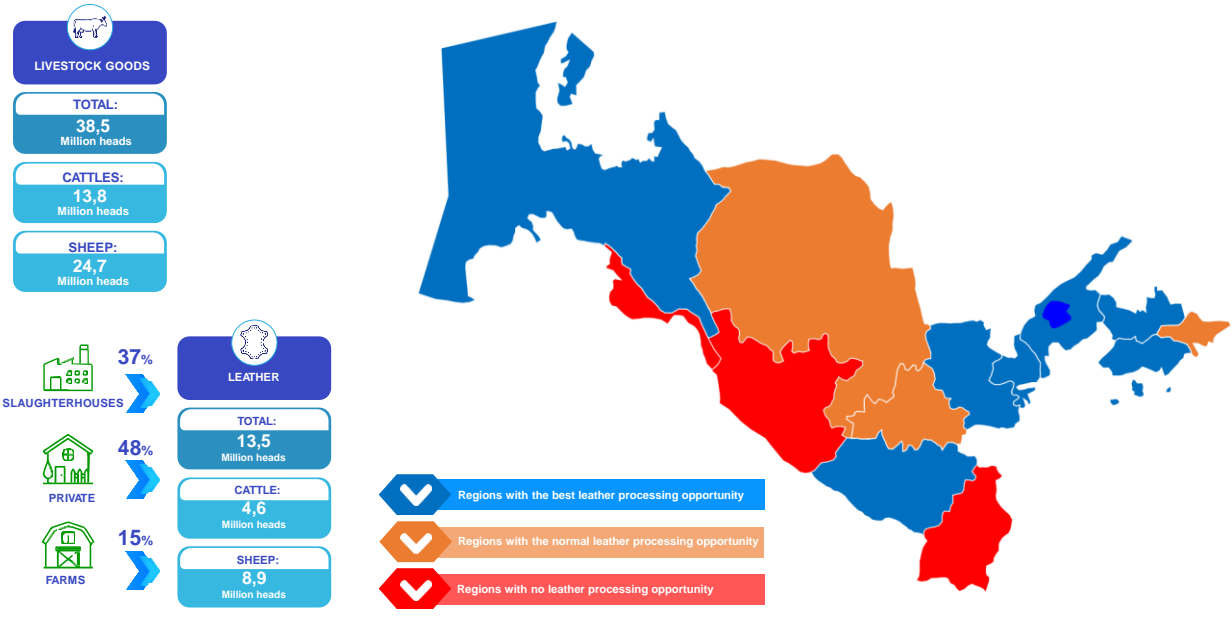
INDUSTRIAL PRODUCTS PRODUCED IN 2020



EXPECTATION FOR 2026



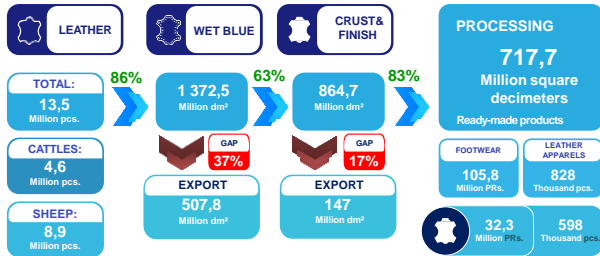
CREATION AND PROCESSING LEVELS OF RAW MATERIAL BASE IN THE REGIONS



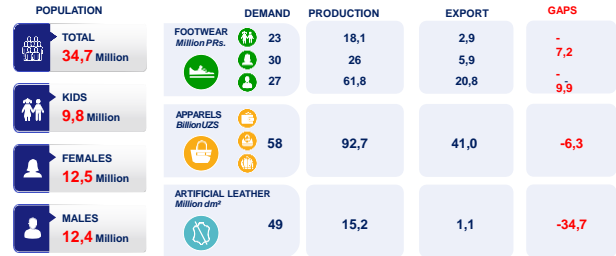


GAPS IN THE INDUSTRY

PROCESSING OF RAW MATERIALS AND IT'S GAPS



GAPS IN THE PRODUCTION CAPACITIES



*TOTAL IMPORT: \$ 112 million

IMPORT ANALYSES



FOCUSED INVESTMENT PROJECTS TO FILL GAPS IN RAW MATERIAL PROCESSING, MEET DEMANDS AND REDUCE IMPORTS



PROJECT PLANS TO BE IMPLEMENTED (2021-2022)



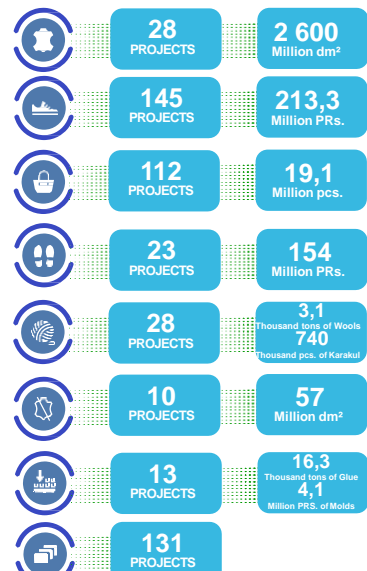
PROSPECTIVE PROJECTS (2023-2026)



MECHANISM OF PROSPECTIVE PROJECT IMPLEMENTATIONS

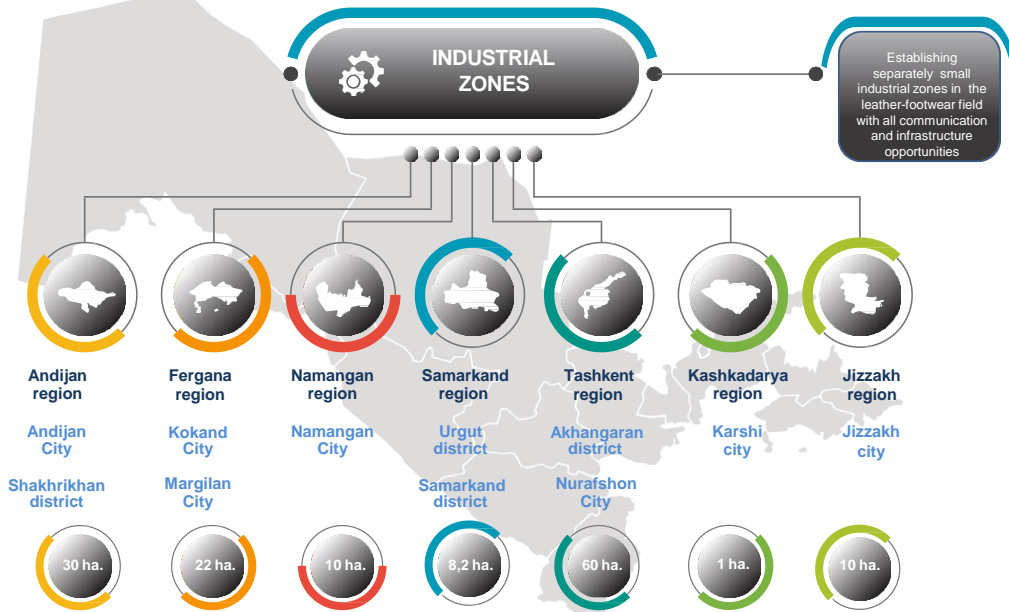


CAPACITY CREATION

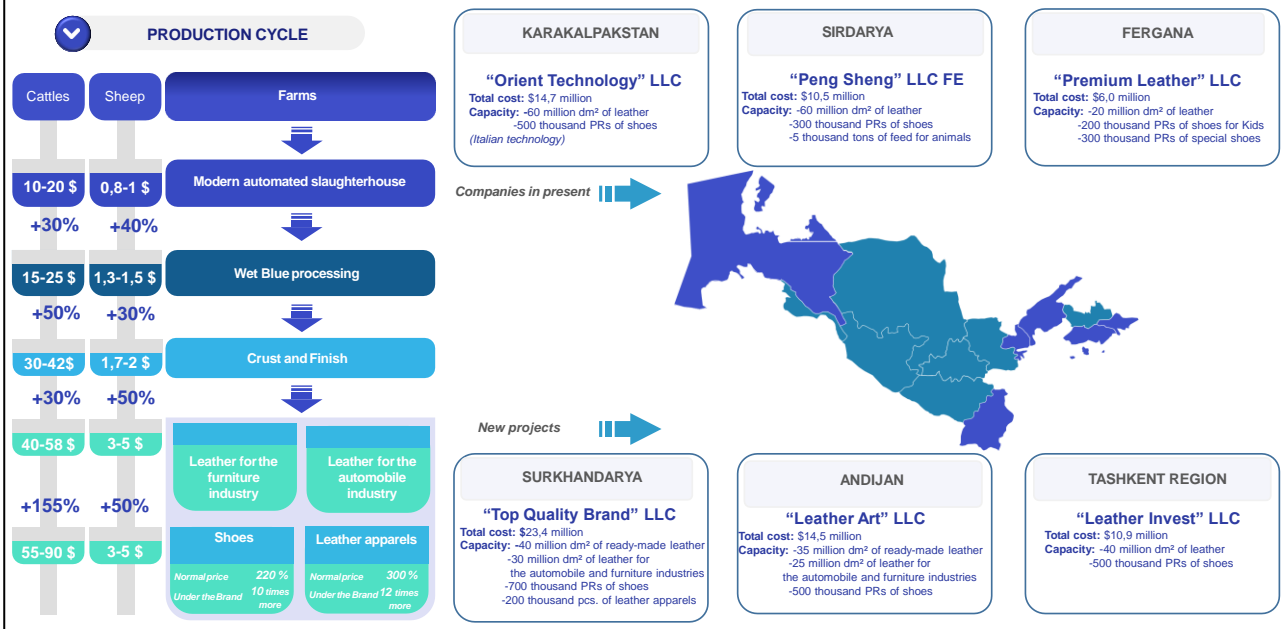




SPECIAL INDUSTRIAL ZONES FOR THE DEVELOPMENT OF LEATHER AND FOOTWEAR SECTORS

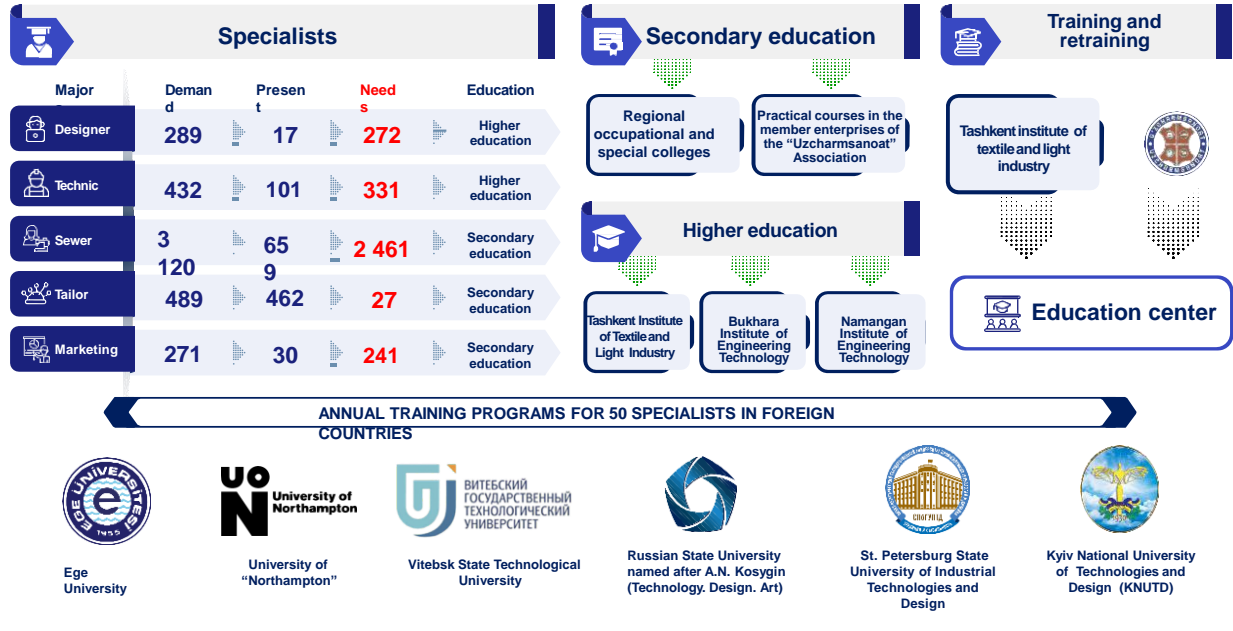


CLUSTER PROJECTS FOR THE DEEP PROCESSING OF SKIN AND THE PRODUCTION OF FINISHED PRODUCTS

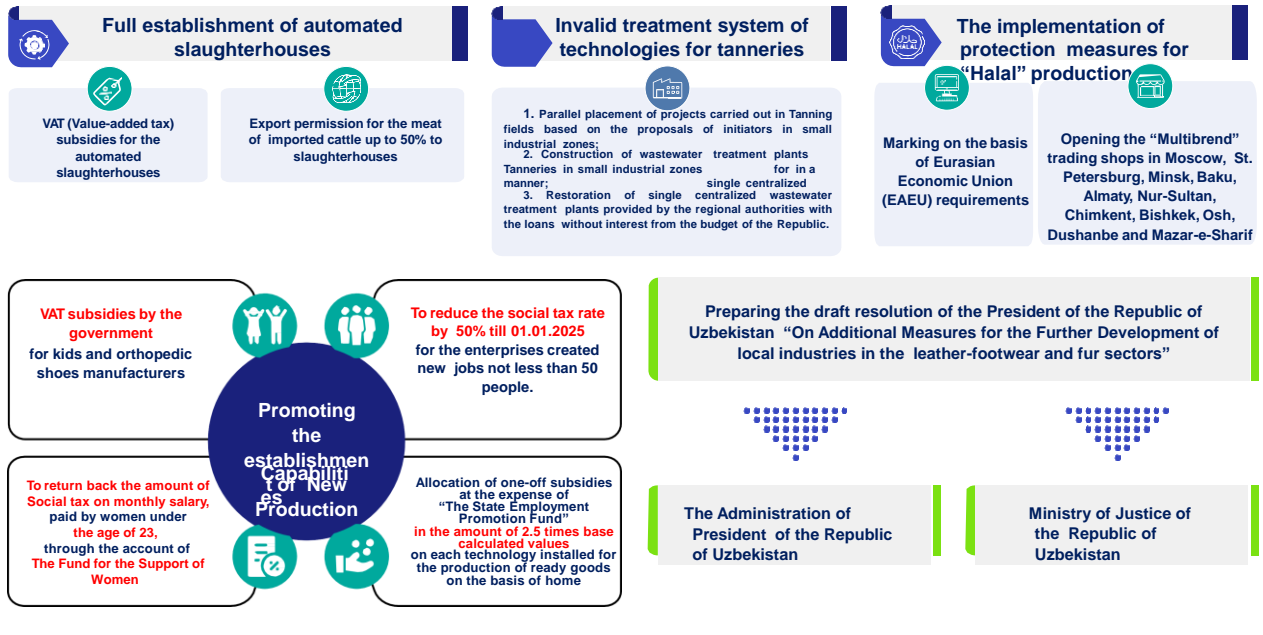




AREAS OF IMPROVEMENT OF PERSONNEL TRAINING AND RETRAINING SYSTEM



PROBLEMS AND SOLUTIONS





IMPROVING THE INTERNATIONAL CERTIFICATION AND QUALITY CONTROL SYSTEM

Generalized Scheme of Preferences (GSP+)



QUALITY MANAGEMENT SYSTEM



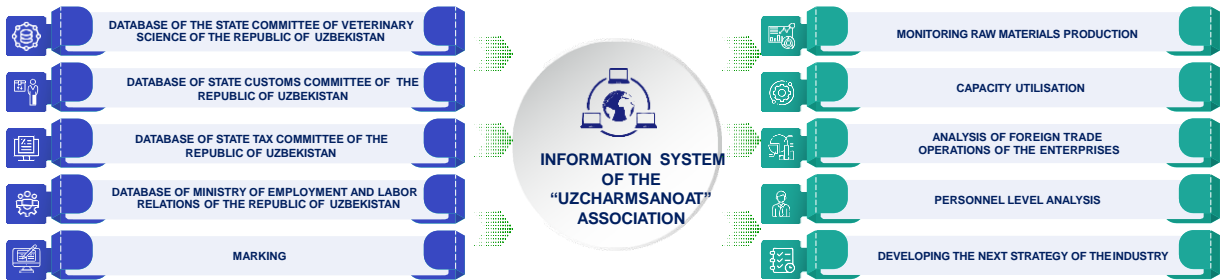
EAEU market



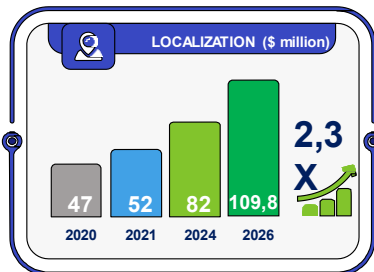
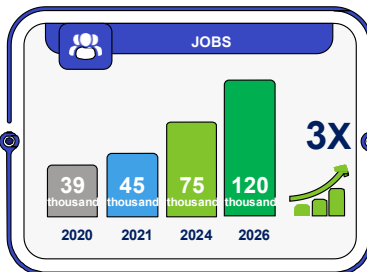
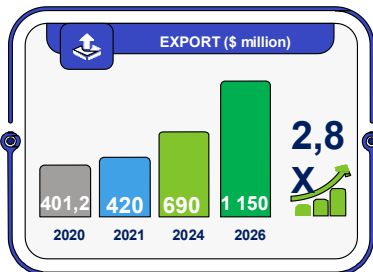
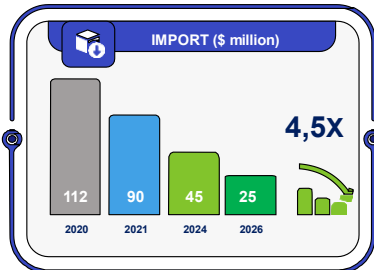
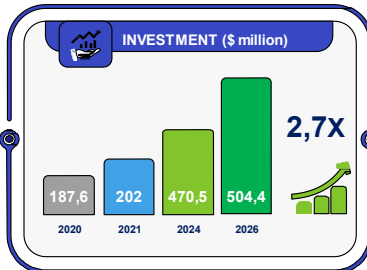
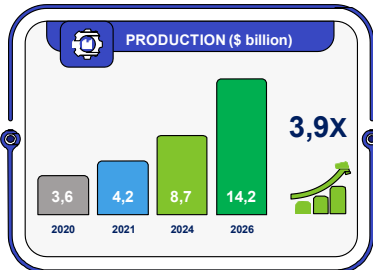
Implementation of International Standards



DIGITILAZION OF INDUSTRY



EXPECTED OUTCOMES



INVESTMENT OFFER: PRODUCTION OF MEN'S SHOES



Relevance of the project

According to experts' calculations, the men's footwear market is estimated to grow by an average of 10,5% per annum. At the same time, considering that men buy 2-4 pairs of shoes a year, this project is relevant with high demand for products and good profitability.



Advantages of project implementation

Today, the volume of production of these types of shoes in the Republic is increasing day by day and the competitiveness is increasing. At the same time, the demand for raw shoes is high in the states that have an army to our republic. The following advantages of the implementation of the project can be distinguished: the benefits and privileges granted by the state, the adequacy of cocktail resources, the high level of localization, the constant increase in demand for these products, the level of profitability when using production technologies effectively in the production of shoes is 20-25 percent.



Import analysis

In total, in 2019-2020 in our republic, \$28.2 million of shoes were imported, of which \$5.7 million were imported will fit men's shoes.



Local enthusiast

If necessary, assistance is provided in finding and identifying local partners with production experience who are members of the Association "Uzcharmsanoat".



Project implementation address



The Republic of Uzbekistan, including in the Free Economic Zones of the Republic



Key investment indicators



Total cost of the project **\$8 mln.**



Payback period of the project **3 year**



New jobs **700 people**



Production capacity and revenue

Product name	1 year		2 year		3 year		4 year	
	quantity (thousand pairs)	cost (billion. sum)	quantity (thousand pairs)	cost (billion. sum)	quantity (thousand pairs)	cost (billion. sum)	quantity (thousand pairs)	cost (billion. sum)
Men's shoes	300	30,0	500	50,0	700	70,0	900	90



Trading market

The main markets of products: the domestic market of Uzbekistan, as well as Central Asia, Afghanistan and the CIS (a market with a total consumer of more than 400.0 million people).

INVESTMENT OFFER: PRODUCTION OF WOMEN'S AND KID'S SHOES



Relevance of the project

According to experts' estimates, the market for women's and children's shoes is estimated to grow by an average of 6,5% per year. At the same time, considering that women buy 4-6 pairs of shoes a year, this project is relevant with high demand for products and good profitability.



Advantages of project implementation

Today, these types of shoes have low production volumes in the Republic, and 60-65% of the population's exteriors are imported. At the same time, the demand for raw shoes, especially women's and children's shoes, is high in the countries that have an army in our republic. The following advantages of the implementation of the project can be distinguished: the benefits and privileges granted by the state, the adequacy of cocktail resources, the high level of localization, the constant increase in demand for these products, the level of profitability when using production technologies effectively in the production of shoes is 15-20 percent.



Import analysis

In 2019-2020 in our republic, a total of 28,2 million dollars of shoes were imported, of which 22.5 million dollars correspond to women's and children's shoes. At the same time, in 2020 Year Kyrgyzstan - 157,0 million Us doll., Kazakhstan-225,0 million. Us doll., Afghanistan-85,0 million. Us doll., Tajikistan-3,5 million. Us doll., Russia - 1800,0 million. USA imported doll size women and children shoes. It is these factors that, along with high demand in the domestic market, indicate the presence of a very wide range of export opportunities.



Local enthusiast

If necessary, assistance is provided in finding and identifying local partners with production experience who are members of the Association "Uzcharmsanoat".



Project implementation address



The Republic of Uzbekistan, including in the Free Economic Zones of the Republic



Key investment indicators



Total cost of the project **\$2 MTH.**



Payback period of the project **4 year**



New jobs **120 people**



Production capacity and revenue

Product name	1 year		2 year		3 year		4 year	
	quantity (thousand pairs)	cost (billion. sum)	quantity (thousand pairs)	cost (billion. sum)	quantity (thousand pairs)	cost (billion. sum)	quantity (thousand pairs)	cost (billion. sum)
women's and kid's shoes	180	27	260	39	380	57	450	67,5



Trading market

The main markets of products: the domestic market of Uzbekistan, as well as Central Asia, Afghanistan and CIS countries (total consumers amounted to 400.0 million.a market that is more than one person).

INVESTMENT OFFER: PRODUCTION MOLDS AND PADS MAKING PROJECT FOR SHOES



Relevance of the project

As a result of the reforms carried out in the field of leather shoes, the size of the manufacturing enterprises and production of the shoes is growing. It expects to produce 115 million pairs of shoes in 2021, 150 million pairs of shoes in 2022, and the annual growth rates of footwear production in 2021-2025 are expected to 115% -120%. The demand for Bunda shoe molds and pads is also expected to grow at these 115% -120% pictures annually.



Advantages of project implementation

Insufficient production volumes of these types of products in the Republic and a constant increase in demand for them in the future. The presence of constant demand, depending on the change in the model of shoes. The benefits and conveniences given by the state, the adequacy of cocktail resources, the level of localization is high, the demand for these products is constantly growing, the level of profitability when using production technologies effectively is 10-15 percent.



Import analysis

In 2019-2020 in our republic a total of 1.5 million dollars were imported molds and pads for shoes.



Local enthusiast

If necessary, assistance is provided in finding and identifying local partners with production experience who are members of the Association "Uzchamsanoat".



Project implementation address



The Republic of Uzbekistan, including in the Free Economic Zones of the Republic



Key investment indicators



Total cost of the project \$3 млн.



Payback period of the project 4 year



New jobs 100 people



Production capacity and revenue

Product name	1 year		2 year		3 year		4 year	
	quantity (thousand pairs)	cost (billion. sum)	quantity (thousand pairs)	cost (billion. sum)	quantity (thousand pairs)	cost (billion. sum)	quantity (thousand pairs)	cost (billion. sum)
Pads for shoes	100	6,0	200	12,0	300	18,0	400	24,0
Molds for shoes	1	1,2	1,5	1,8	2	2,4	3	3,6



Trading market

The main markets of products: the domestic market of Uzbekistan, as well as Central Asia, Afghanistan and CIS countries. (There is no production in other countries in Central Asia).

INVESTMENT OFFER: POLYURETHANE PRODUCTION PROJECT



Relevance of the project

This product is considered the main raw material of the enterprises that produce the sole of shoes. At the same time, polyurethane is a highly demanded raw material in all sectors of the industry. There is a demand for polyurethane in our republic 20 thousand tons per year. Also, taking into account the existing demand in the countries of the army, there will be more than 10 thousand tons of additional demand.



Advantages of project implementation

High demand for polyurethane products in all sectors of the industry of our republic and the army countries



Import analysis

In our republic in 2019 a total of 80,3 million dollar, 75,0 million dollar in 2020 polyurethane product imported.



Local enthusiast

If necessary, assistance is provided in finding and identifying local partners with production experience who are members of the Association "Uzchamsanoat".



Project implementation address



The Republic of Uzbekistan, including in the Free Economic Zones of the Republic



Key investment indicators



Total cost of the project \$2,5 млн.



Payback period of the project 4 year



New jobs 50 people



Production capacity and revenue

Product name	1 year		2 year		3 year		4 year	
	quantity (tons)	cost (billion. sum)	quantity (tons)	cost (billion. sum)	quantity (tons)	cost (billion. sum)	quantity (tons)	cost (billion. sum)
Polyurethane	800	28,0	1100	35,8	1600	52,1	1800	58,9



Trading market

Product of the basis of the market: Uzbekistan and the market center, shuningdek, the Center of Asia, Afghanistan and the ZDH of the country.

INVESTMENT OFFER: ARTIFICIAL LEATHER PRODUCTION PROJECT



Relevance of the project

At the enterprises producing shoes and leather products in the Republic there is a high demand, while at the same time there is a high demand in other branches of industry (textile, furniture, automotive, construction, etc.).



Advantages of project implementation

High demand in textile, furniture, automotive, construction and other sectors of the industry in Central Asian and European countries, along with the domestic market, provides easy access to export markets.



Import analysis

In 2019 - 2020, the total volume of investments in our republic amounted to 45.0 million dollars are imported artificial leather products.



Local enthusiast

If necessary, assistance is provided in finding and identifying local partners with production experience who are members of the Association "Uzcharmsanoat".



Project implementation address



The Republic of Uzbekistan,
including in the Free Economic
Zones of the Republic



Key investment indicators



Total cost of the project \$5 млн.



Payback period of the project 4 year



New jobs 100 people



Production capacity and revenue

Product name	1 year		2 year		3 year		4 year	
	quantity (mln. addr. ess. dm.)	cost (billion. sum)	quantity (mln. addr. ess. dm.)	cost (billion. sum)	quantity (mln. addr. ess. dm.)	cost (billion. sum)	quantity (mln. addr. ess. dm.)	cost (billion. sum)
Artificial leather	200	50,0	320	80,0	500	125,0	550	137,0



Trading market

The main markets of products are the local market of Uzbekistan, as well as the army countries of Central Asia and the CIS.

(4) 三菱商事株式会社 日本側コメント: 齋藤 裕和 地域総括部 欧阿中東チーム シニアアドバイザー

端的に言えば、時代はゆっくりとではあっても確実に流れているということを実感した。ウズベキスタン共和国が独立して30年が過ぎ、日本とウズベキスタンの外交関係開設も2022年1月26日で丁度30周年を迎える。私が首都タシケントに事務所開設のために赴任したのは独立間もない1993年の秋だった。当時は日本との外交関係が開設されたとはいえ、大使館も仮住まいで、開館の準備にあたっていた外交官を含めて日本人はわずか6名。当然私も仮住まいから事務所の場所を探すところからのスタートだったため、全くビジネスの段階まで至っていなかった。ウズベキスタン側も独立したばかりで、ある意味全てがゼロからのスタートだった。

本日のセッションでウズベキスタン側と日本企業の報告を聞き、民間主導のもと様々な分野でビジネスが展開されている様子を目にし、良い意味でウズベキスタンは「別の国」になったという感じがした。4年間の駐在とこれまで複数回の出張を通じて思うのは、ウズベク人と日本人とのメンタリティの近さ、すなわち勤勉で器用であるということだ。日本企業が外国で「もの作り」を行うとなった場合、ウズベク人は良いパートナーではないかという印象を抱いている。とはいえ、日本からのウズベキスタンへの企業進出はまだ数える程にすぎない。その中で、日本のより多くの人々が今日のイベントのような機会を経て、「ウズベキスタンのことを知って興味を持つ」ことが大切だと思う。

◆第3日目：バーチャルツアー in ウズベキスタン

第1部：Hotel Inspira-S Tashkent 登壇者：マルフ・ウマロフ HHH CENTRALASIA FE LLC 代表取締役

Hotel Inspira-S Tashkent はタシケント市アルマザル地区に建設されたウズベキスタン初の日系ホテルで、空港から車で10分、鉄道駅から6km、最寄りの地下鉄駅から200mの場所に位置する。タシケントの主要観光地チョルスー・バザールまでは徒歩5分でアクセス可能。ロビーではゲストサービス・テーブルあるいはセルフチェックイン・キオスクにてチェックインすることが可能。ホテルは140室の客室から構成され、客室のほかにレストラン、会議室、24時間利用可能なジム、スパ（トルコ式サウナ、ロシア式サウナ、ミニプール）が併設されている。電気自動車のレンタカーサービスも行う。

HIS が中央アジアのウズベキスタンにホテルを建設した理由は、中央アジア市場に有望性を見出したからだ。市場規模、魅力的な観光資源、ビジネス需要と観光需要の高まりを見据えてウズベキスタンを選定した。また我が国からEU・中東主要都市へは飛行機で2～4時間でアクセスできるなど、ウズベキスタンの戦略的立地の強みを活かした第三国へのビジネス展開も視野に入れることができる。ウズベキスタンの人口は約3,400万と中央アジア5カ国中最大で、30歳以下が50%を占めるなど労働力も豊富。好調な経済成長を背景に大規模投資案件が相次ぐと同時に、観光開発への投資も国家主導で大規模に行われているため、コロナ禍収束後にはウズベキスタンの観光地としての魅力がさらに高まると期待される。

私が2019年にウズベキスタンに帰国した際、観光ブーム高まりを受けてホテルの部屋数が不足している現実を目の当たりにした。政府は観光ニーズに見合うだけのホテルを供給できていないことを憂慮しており、これを解決するためホテル建設に係る優遇措置を打ち出していた。こうした状況を受け、ウズベキスタンでのホテル事業にチャレンジしようという決断に至った。2020年3月に着工したものの、ほどなく新型コロナウイルス感染症対策による社会・経済活動制限が導入され、ホテル建設に厳しい制約が生じた。しかし感染症対策を十分行った上で建設作業を継続し、またタシケント市や投資・対外貿易省、在ウズベキスタン日本国大使館、JICAなどより強力な支援を得たことで、結果的に着工から約2年でホテル開業までたどり着いた。中国・カザフスタン国境が閉鎖されたことで建材や設備の調達に難が生じたが、私自身が税関まで赴き国境開放後の早期物品輸送を要請し、無事に必要資材がすべて揃った。ホテルで働くローカルスタッフは非常に勤勉で、ホスピタリティに秀でている。従業員教育を徹底し、日本式のおもてなしの精神を習得してもらいたい。

ウズベキスタンは今後大きな発展が見込まれる国であり、新たなビジネスが次々に誕生している。政府側からのサポートも手厚く、治安なども含め事業環境は極めて良好であるため、是非ほかの日系企業にもウズベキスタンへ進出してもらい、一緒にビジネスを実施できれば嬉しい。

質疑応答

質問：宿泊料金はすでに決定しているか。

回答：宿泊料金は朝食込・ジム利用代込でシングルユース約 8,000 円／泊、ダブルが約 12,000 円などとなっている。デラックスやスイートといったハイクラスの客室タイプも用意している。

質問：ホテルのグレードは。

回答：Hotel Inspira-S Tashkent は 4 つ星ホテルにカテゴライズされる。

質問：電気自動車のレンタルを行うとのことだが、市内に充電スポットはあるのだろうか。またレンタル料金はいくらか。

回答：現在市内には 40 カ所ほどの充電スポットが存在する。専用アプリをダウンロードすれば誰でも簡単に利用することが可能。電気自動車のレンタル料金は一日 50 ドルほど。

質問：電気自動車を利用してどの辺りまで行くことが可能か。国際免許証は日本で発行されたものを利用できるか。

回答：電気自動車は一回の充電で 600 km 走行できるので、サマルカンドまで行くこともできる。国際免許証に関しては日本発行のものを利用できると思うが、詳しくは警察に照会中だ。

質問：フォーラムなど 100 人規模の大型イベントをホテル内で開催することは可能か。

回答：一階レストランの一部をフォーラム会場に転用することができる。仕切りで区切って外部の音を遮断した上で、移動式スクリーン、プロジェクター、スピーカー等必要機材を設置する。

質問：日本語が分かるスタッフは常駐しているか。

回答：私自身（ウマロフ氏）が昼夜問わずホテルにいるため心配に及ばない。また他の日本人スタッフもホテルで働いており、日本語での対応が可能。

質問：カザフスタンやキルギスなど近隣諸国でのホテル建設プロジェクトは検討しているか。

回答：目下の最優先事項は **Hotel Inspira-S Tashkent** 事業を軌道に乗せ、成功させること。

まずは当ホテル事業の発展に注力し、成果を上げられたのちに国内他地域ないし外国へのビジネス展開を実現したい。



ホテル正面に立つウマロフ氏。
2020年3月に着工し、2022年3月に晴れて開業を迎える予定。



ロビーの様子。本番営業に向けた準備が進む。



レストランの様子。宿泊客、一般客問わず利用できる。広さは約 322 m²で最大 140 名収容可。料理はウズベク伝統料理ほか、欧風、アジア風などを提供し、和食メニューも一部取り揃える（ロール寿司など）。バギザガン（ウズベクワイン）をはじめアルコール飲料も注文可。



会議室の様子。最大 49 名まで収容可能で、レイアウトの変更も可。



客室入口にて。液晶パネル上に部屋番号やチェックイン状況が表示される。



客室案内の様子。紹介中の部屋はダブルスタンダードルーム。



バルコニーからはタシケント旧市街を眺望できる。



質疑応答の様子

第2部:「ブハラ・シティ」プロジェクトの紹介

登壇者:アジムジョン・プラトフ

国家単一企業「ブハラ・シティ」代表取締役

ブハラは中央アジアのみならず世界的に有名な古都で、旧市街（歴史地区）には貴重な文化遺産や歴史的建造物が数多く立地することからユネスコ世界遺産に登録されている。イブン・シーナーやブハーリー、バハウディン・ナクシュバンドの生誕地としても知られる。

「ブハラ・シティ」プロジェクトは 2019 年7月の近代的なビジネス・住宅エリア創設に係る閣僚会議決定を受けて発足した。ブハラ・シティは 73 ロットで構成され、83ha の敷地内に集合住宅（34 棟）、ホテル（12 棟）、商業センター（7 棟）、学校（2 棟）、幼稚園（3 棟）、博物館、スポーツ施設、IT パーク、病院などが建設される予定である。IT センターは国内最大級の規模となる想定だ。プロジェクト総額は5億 5,000 万ドルになる見込みで、全国的にも大きな規模の事業となっている。プロジェクトの選定地は旧市街と空港のちょうど中間にあたる場所を選んだ。73 ロット内に 106 の建築物を建てる想定だが、このように細かくロットを分割した理由は大手のみならず中小企業からの投資を呼び込む狙いがあるためだ。

「ブハラ・シティ」プロジェクトの設計は Vertebra Studio が担当し、ブハラの歴史遺産を詳細に調査・研究した上で立案された。旧市街に所在するカラーン・ミナレット、ラビハウス、アルク城など歴史的建造物をモチーフとし、これらの色合いや形状、装飾などを踏襲する形で本プロジェクト敷地内の建築物が建造されることになる。例えばブハラのシンボルであるカラーン・ミナレットを模した 32 階建ての高さ 127m のタワーがブハラ・シティ敷地内に建設予定だ。また歴史博物館とイノベーションセンターは、アルク城やカリヤンモスクの形状をモチーフにして建てられる予定である。ブハラ・シティには現状まだ空きロットがいくつか存在するため、ぜひ日本の投資家による参入をお待ちしている。

最後にひとつ提案がある。私は本プロジェクトの責任者であると同時にブハラ州政府の職員でもある。長い歴史を有するという点で日本とブハラは共通していることから、日本の都市とブハラ市との間に姉妹都市提携を結ぶことを提案したい。ブハラ市はドイツや中国、フランスの都市と姉妹都市提携しているが、残念ながら日本の都市とは実績がない。日本の古都である京都などと姉妹都市提携を締結し、文化交流や教育交流などを実施したい。

質疑応答

質問：すでに相当数の投資家を募ったとのことだが、その中に外資はいるだろうか。

回答：イラン、ロシア、米国、トルコ、韓国などの外国投資家がプロジェクトに参入している。

質問：日本から期待したい投資分野は。

回答：住宅建設とレストラン事業を挙げたい。食を通じた日本文化の普及は良いビジネスになるのでは。日本式の教育ノウハウを導入した幼稚園や学校、あるいは日本文化センターの建設も妙案だと思う。また近年ウズベキスタンを訪問する日本人観光客が増加傾向にあり、ブハラも人気観光地のひとつであることから、ブハラ・シティ敷地内に日本のホテルを建設してはいかがだろうか。日本製電子機器の販売店を開くのも良いアイデア。

質問：日本からの有望投資分野にレストラン事業を挙げたが、日本食はウズベキスタンで人気なのか。

回答：ウズベキスタンで日本食は人気だがレストランの数が少ない。タシケントに一軒所在することは知っている。ブハラでは現在日本食レストランが開店準備中だが規模はかなり小さい。

質問：プロジェクト設計企業の **Vertebla Studio** はウズベキスタンの企業か。また同社がブハラ・シティプロジェクトのマスタープランを設計し、これから建設投資を行う企業は、同社のマスタープランに準じたデザインの建物を建てる、という理解で正しいか。

回答：**Vertebla Studio** はトルコに本社を置く世界的に有名な企業であり、ドイツやカナダ、カザフスタンなどにも支社を有する。ウズベキスタンではブハラ市に支社が所在する。プロジェクト敷地内での建設に際しては、投資家には一定のデザインの裁量は認められるものの、原則 **Vertebla Studio** の設計に従う必要がある。

質問：ブハラへ訪問する際には多くの人が鉄道を利用すると思うが、鉄道駅からブハラ・シティまで車でどのくらいでたどり着けるか。

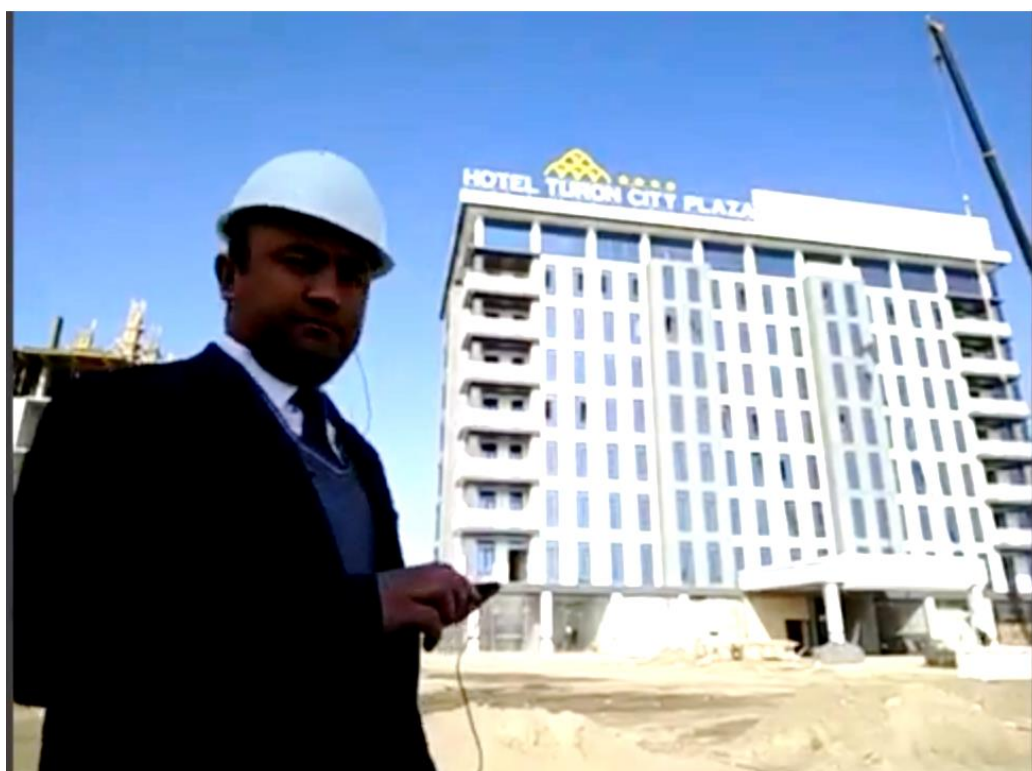
回答：ブハラ・シティから一番近い鉄道駅は隣のカガン市に位置するが、車で 20 分以内で到着できる。

質問：日本文化や日本語の知識にお詳しいようだが、なぜか。

回答：個人的な信条として、ある国と協力を行う際にはその国の文化や言葉について学ぶ必要があると考えている。インターネット上のオープンリソースなどを活用して日本語や日本文化の習得に励んでいる。換言すれば、当方には日本との協力の用意があるということだ。



プロジェクト建設現場の様子。奥で建設中の建物は高層マンションで、ブハラ州初の地下駐車場付き物件となるという。



建設中の4つ星ホテル。ロット番号14番の区画に立地し、まもなく完工とのこと。



ロット番号 13 番の建設現場。ひと気が無いのはちょうどお昼休憩中だからとの由。

“Bukhara city ” project foresees construction of

12 hotels,
38 residential complexes,
2 modern schools,
3 kindergartens,
clinics, banks, café and restaurants, sports center, museum, library, offices,
residential buildings and other business and entertainment centers



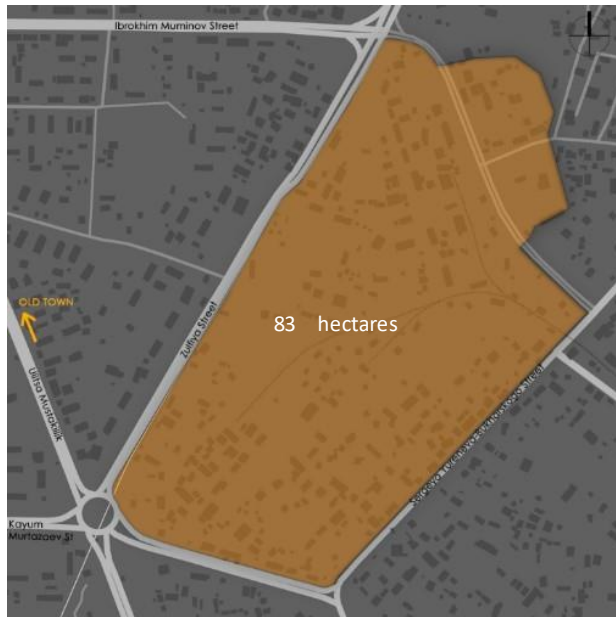
It is the largest construction project in Bukhara’s history



Relation Between Site and Surroundings



Muallif i i huquqi 'StudioVertebra' ga tegishli bo'lib hech qaysi hujjat ko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi



Project Area 83 hectares



Muallif i i huquqi 'StudioVertebra' ga tegishli bo'lib hech qaysi hujjat ko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi



SITE PLAN



Muallif i huquqi 'Studio Vertebra' ga tegishli bo'lib, hechqayshu jatto' paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.

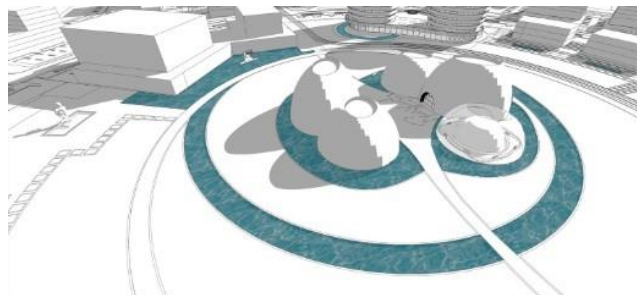


Lyab - i Hauz



Bolo - Hauz Complex

Urban Analysis
Water Features



Muallif i huquqi 'Studio Vertebra' ga tegishli bo'lib, hechqayshu jatto' paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.



Bolo-Hauz Complex



Kalyan Minaret



Ark Fortress

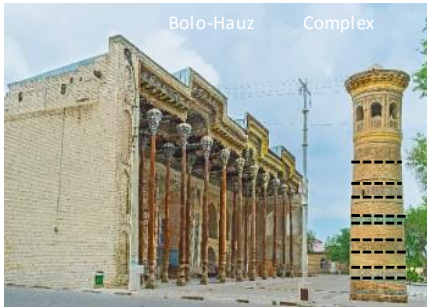


Poi Kalyan Mosque & Kalyan Minaret

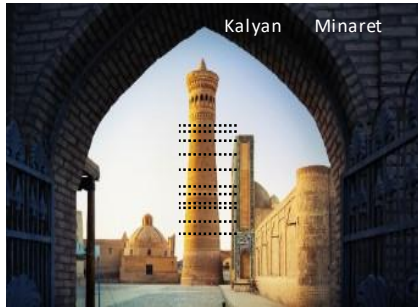
Urban Analysis
Landmark



Muallif i huquqi "Studio Vertebra" ga tegishli bo'lib, hechqayshu jatto' paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.

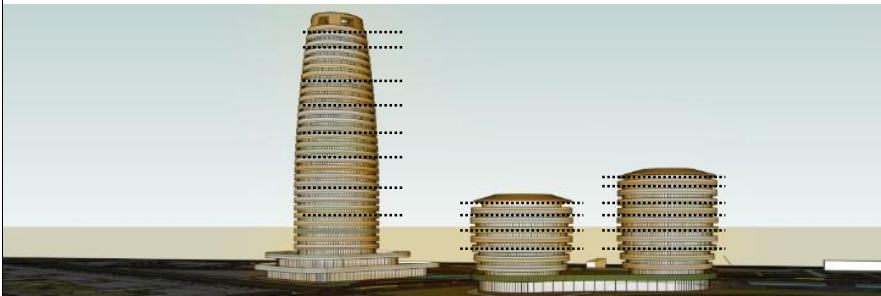


Bolo-Hauz Complex



Kalyan Minaret

Urban Analysis
Horizontal Facade



Muallif i huquqi "Studio Vertebra" ga tegishli bo'lib, hechqayshu jatto' paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.

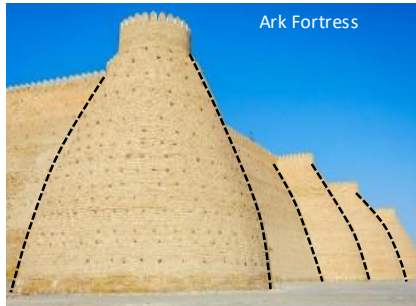




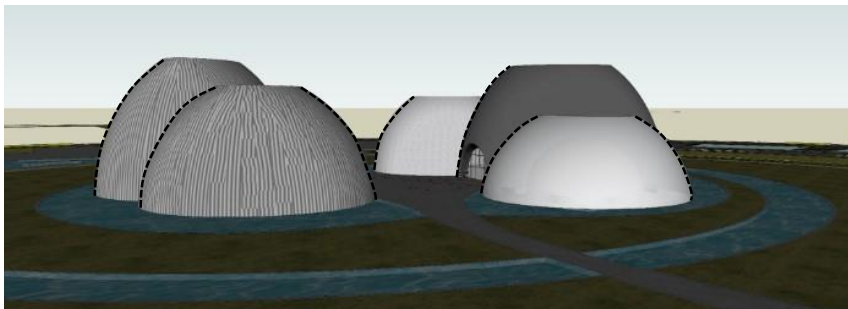
Urban Analysis
Materials and Colors



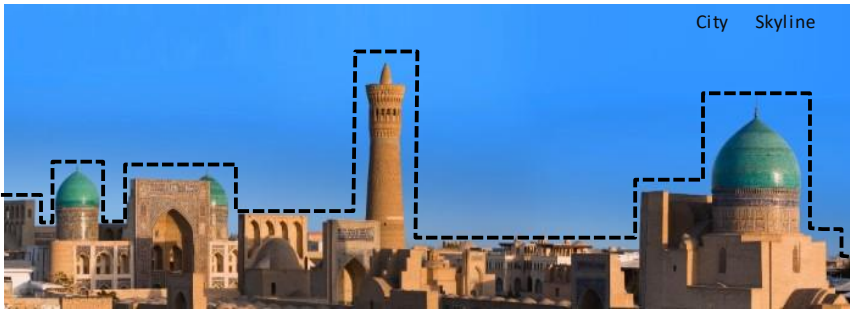
Muallif i huquqi "Studio Vertebra" ga tegishli bo'lib, hech qayshu jatto ko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.



Urban Analysis
Form - Function



Muallif i huquqi "Studio Vertebra" ga tegishli bo'lib, hech qayshu jatto ko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.



City Skyline

Urban Analysis
Skyline of Bukhara



Project Skyline



Muallif i huquqi 'Studio Vertebra' ga tegishli bo'lib, hech qaysi hujjat ko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.



SITE 3D PERSPECTIVE

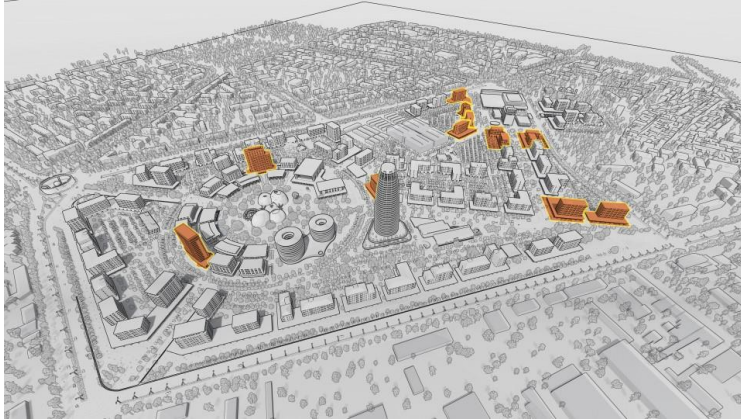
Residence

34 lots



Muallif i huquqi 'Studio Vertebra' ga tegishli bo'lib, hech qaysi hujjat ko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.

SITE 3D PERSPECTIVE



Hotel

12 lots



Mualliflik huquqi 'StudioVertebra' gategishibo'lib hechqaysi hujjatko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi

SITE 3D PERSPECTIVE



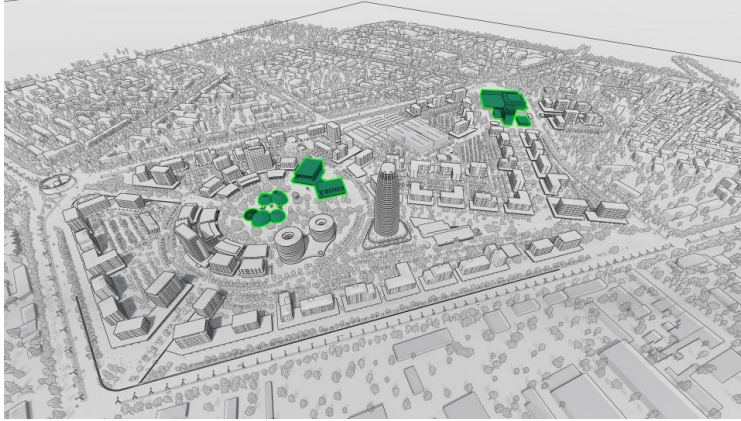
Retail / Office / Bank

7 lots



Mualliflik huquqi 'StudioVertebra' gategishibo'lib hechqaysi hujjatko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi

S I T E 3 D P E R S P E C T I V E



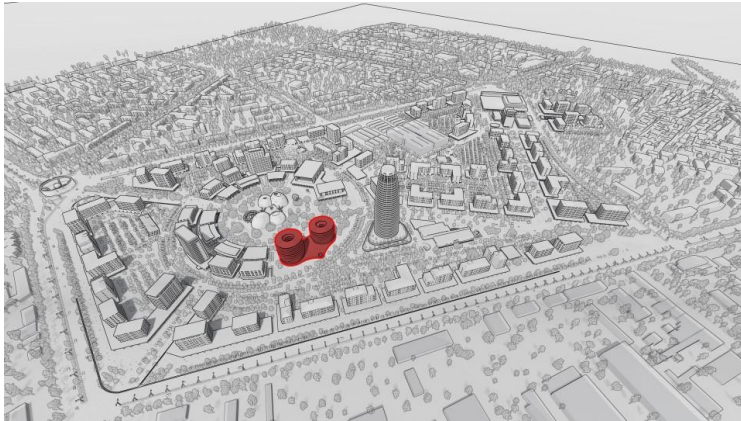
Public Buildings

Museum /Science Center /
Cultural Center /Library /
expo Center / Youth Center



Muallif i huquqi 'StudioVertebra' ga tegishl i bo'lib hechqaysi hujjat ko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi

S I T E 3 D P E R S P E C T I V E

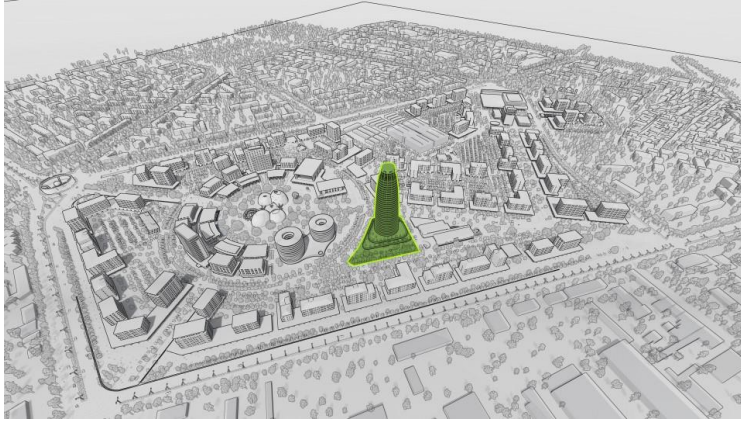


IT Park



Muallif i huquqi 'StudioVertebra' ga tegishl i bo'lib hechqaysi hujjat ko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi

S I T E 3 D P E R S P E C T I V E



Tower

Projected to be the tallest building of Bukhara



Muallif i huquqi 'Studio Vertebra' ga tegishibo 'lib' hechqaysi hujjatko' paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi



Lot 78. Hotel / Office "Bukhara Tower"



LOT 78

Project name:

Hotel / Office

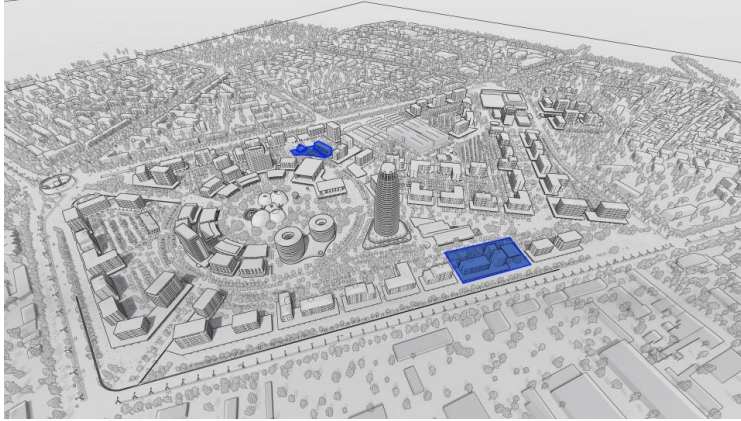
"Bukhara Tower"

- Lot area: 11 310 m²
- Building basement area: 4 000 m²
- Total building area: 49 225 m²
- Lot cost: \$ 226 200 (11 310 m² * \$ 20)
- Project cost: \$ 443 125 (49 225 m² * \$9 Studio Vertebra) / \$ 723 837 (49 225 m² * \$15, if by outside company)
- Approximate construction cost: \$ 30.0 - 34.5 mln
- Floors: 32
- Number of blocks: 1
- Realization period: 2022



Scan this QR code to find out the location

S I T E 3 D P E R S P E C T I V E

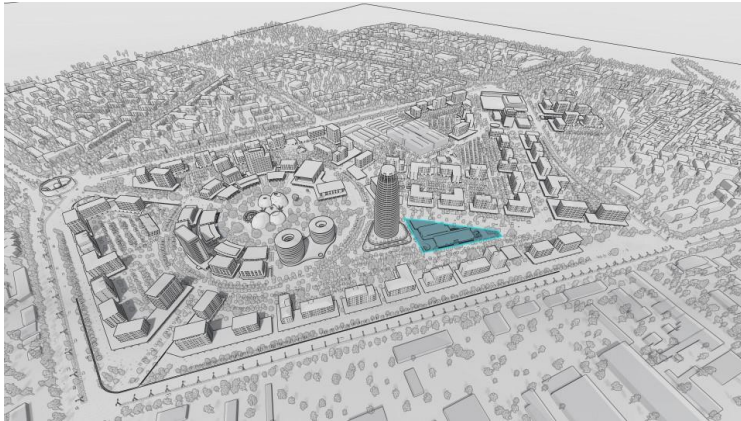


Education Buildings



Muallif i huquqi 'StudioVertebra' ga tegishli bo'lib hechqaysi hujjat ko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi

S I T E 3 D P E R S P E C T I V E



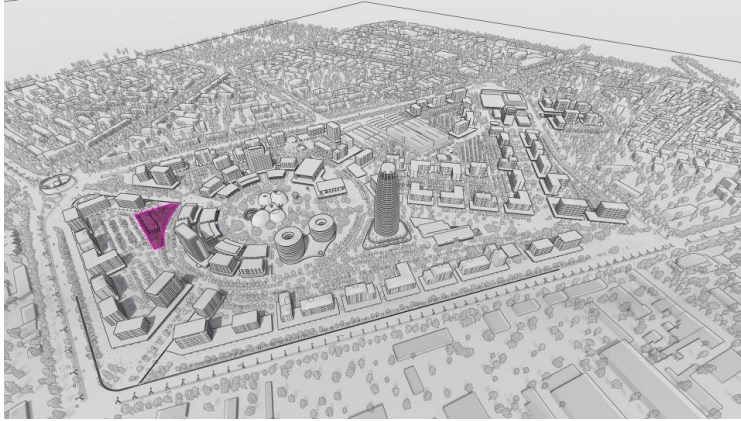
Sport Center

Lot #46



Muallif i huquqi 'StudioVertebra' ga tegishli bo'lib hechqaysi hujjat ko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi

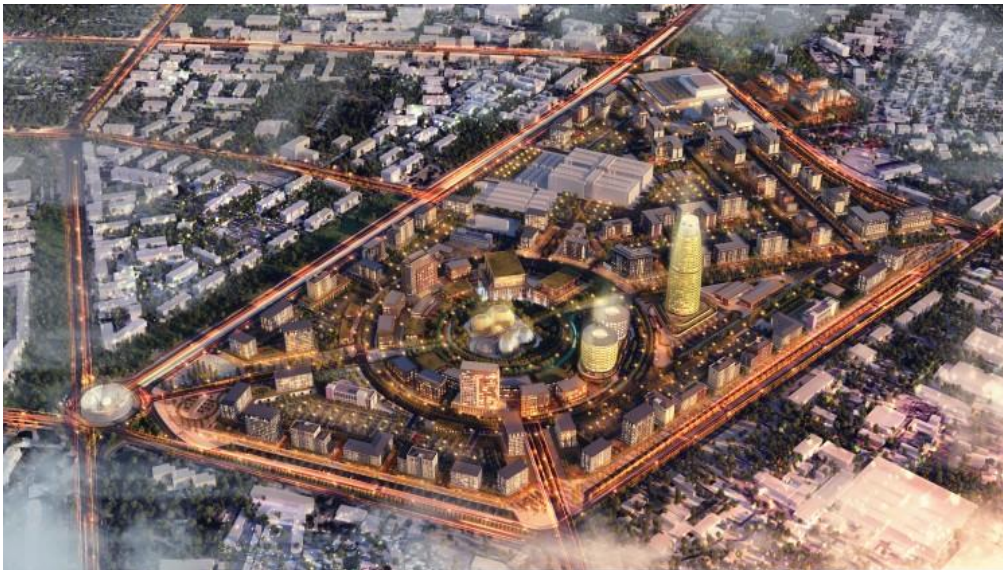
SITE 3D PERSPECTIVE
UMUMIY JOYLASHUV 3D
TASVIRI
Clinic
Klinika



Lot #71



Muallif hququqi "Studio Vertebra" ga tegishli bo'lib, hech qaysi hujjatko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.



Muallif hququqi "Studio Vertebra" ga tegishli bo'lib, hech qaysi hujjatko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.





Mualliflik huquqi "Studio Vertebra" ga tegishli bo'lib, hechqayshujatko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.

STUDIO
VERTEBRA



Mualliflik huquqi "Studio Vertebra" ga tegishli bo'lib, hechqayshujatko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.

STUDIO
VERTEBRA



Muallif i huquqi 'Studio Vertebra' ga tegishli bo'lib, hechqayshu j at ko' paytirish va nusxa ko'chirish ga mos qilinmaydi.

STUDIO
VERTEBRA



Muallif i huquqi 'Studio Vertebra' ga tegishli bo'lib, hechqayshu j at ko' paytirish va nusxa ko'chirish ga mos qilinmaydi.

STUDIO
VERTEBRA



Muallif i huquqi 'Studio Vertebra' ga tegishli bo'lib, hech qayshu jihatko' paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.

STUDIO
VERTEBRA



Muallif i huquqi 'Studio Vertebra' ga tegishli bo'lib, hech qayshu jihatko' paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.

STUDIO
VERTEBRA



Muallif i huquqi "Studio Vertebra" ga tegishli bo'lib, hechqayshujjatko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.

STUDIO
VERTEBRA



Muallif i huquqi "Studio Vertebra" ga tegishli bo'lib, hechqayshujjatko'paytirish va nusxa ko'chirishga mos qilinmaydi.

STUDIO
VERTEBRA

4. オンラインイベント参加者アンケート結果

ウェビナー「ウズベキスタンの経済・投資ポテンシャルと日本との協力展望」 (2022年1月24日) 参加者アンケート集計結果

2022年2月

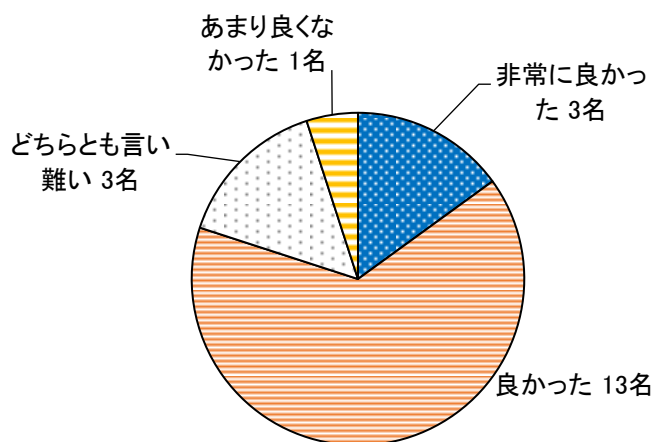
(一社) ロシアNIS貿易会 (ROTOBO)

I. 回答者数

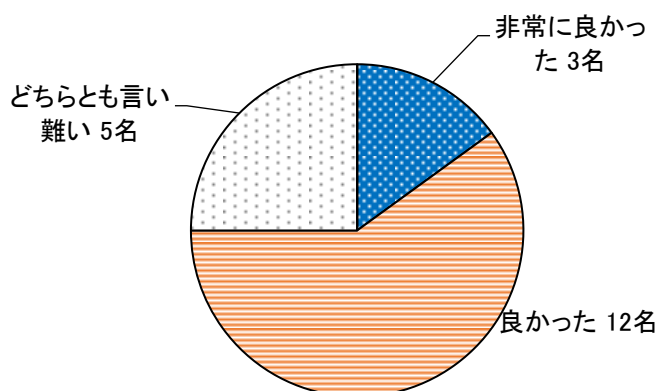
回答総数20件。

II. 設問への回答

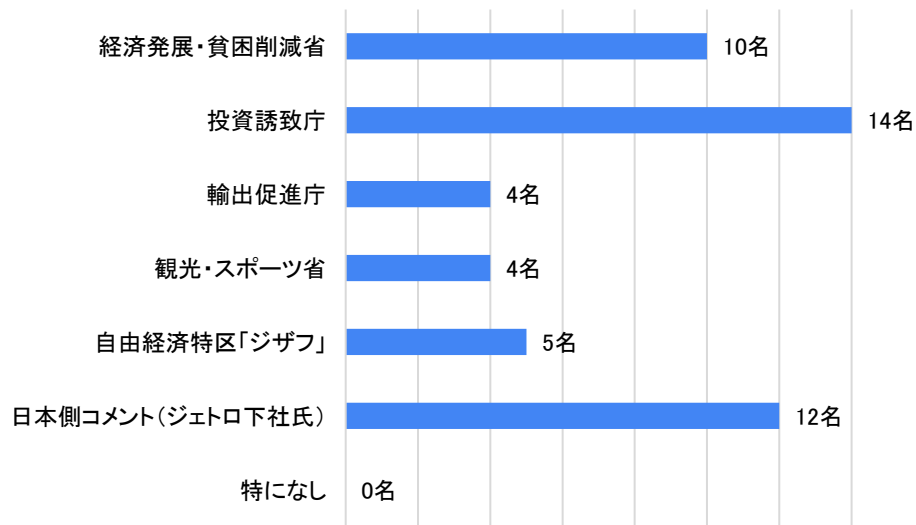
1. ウェビナー全体の評価をお聞かせください。



2. プログラム (テーマ設定、報告者の構成等) の評価をお聞かせください。



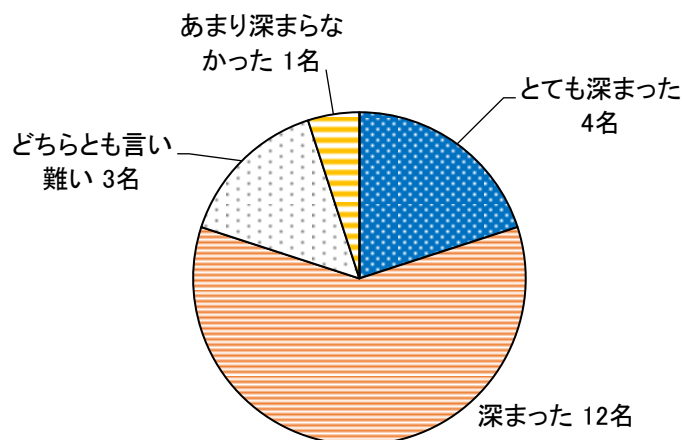
3. ご視聴になった報告の中で、参考になった・有益であったものを以下よりご選択下さい（複数選択可）。



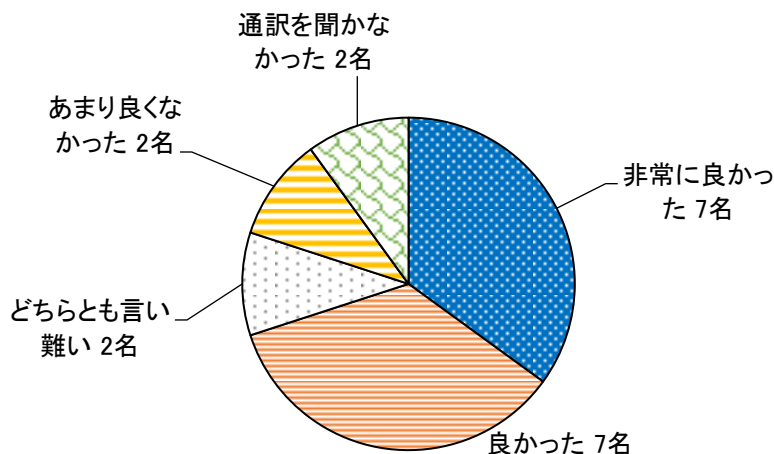
4. 上記報告についてご意見、ご感想等あれば自由にご記入ください。

- 具体的な成功事例（e.g. 二重内陸国の制約をいかに克服したか？）を聞きたかった。
- 有益であった。
- プレゼン発表者は持ち時間を守ってほしい。
- 観光分野に興味がありますので、現在進行中の様々なプロジェクトについて知ることができ大変勉強になりました。
- 限られた時間内での発表ではプレゼン内容がやや画一的になってしまうのは致し方ないと思いますが、JETRO下社氏のコメントは的を射ていたと思います。
- ウ国の国全体のベクトルがよく理解でき有益でした。

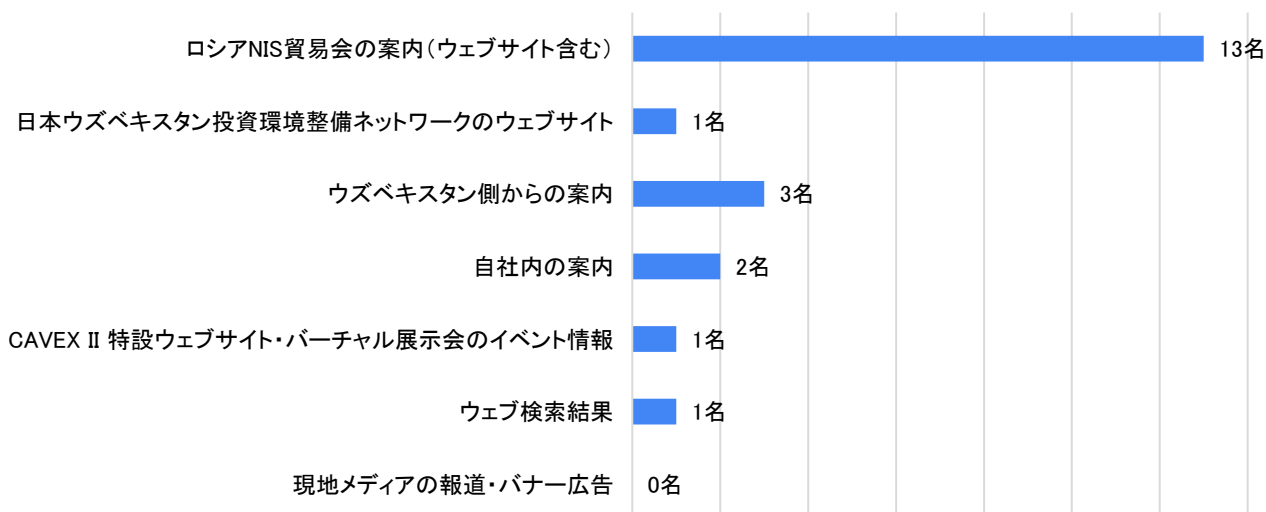
5. 本日のウェビナーを視聴してウズベキスタンの投資環境や同国との貿易に関する知識は深まりましたか。



6. 通訳の評価についてお聞かせください。



7. 本日のオンラインイベント開催について、どこで知りましたか。以下より回答を選択してください（複数回答可）。



13. その他本日のオンラインイベント全体を通じてのご意見やご感想、あるいは今後の中央アジア関連のイベントに対するご要望、ご提案がありましたら以下自由にご記入ください。

- 持ち時間に対する発表時間が長すぎる発表者が散見され、全体的に間延びしたウェビナーになってしまっていた。また、発表者と通訳の方の意思疎通が取れていないのか、スライドと通訳の内容が合わない事があり、少し聞きづらかった。
- ウズベキスタンで着実に経済自由化が進展し、ビジネス環境が向上していることが良く分かりました。
- コロナ感染拡大の中、オンライン発信は有効だがトラブルが付き物なのは仕方がない。
- 接続不良で講演完遂できなかった報告者が出たのは残念。

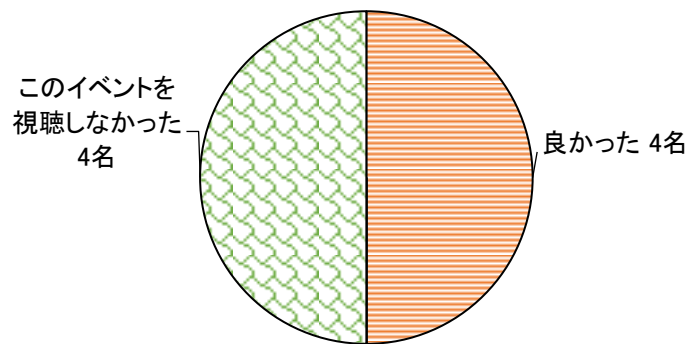
ウェビナー「ウズベキスタン民間セクターと日本企業との協力可能性」
(2022年1月25日)
参加者アンケート集計結果

I. 回答者数

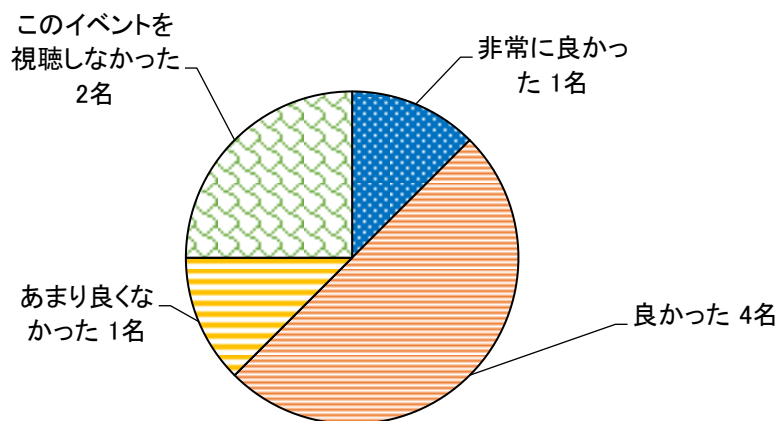
回答総数8件。

II. 設問への回答

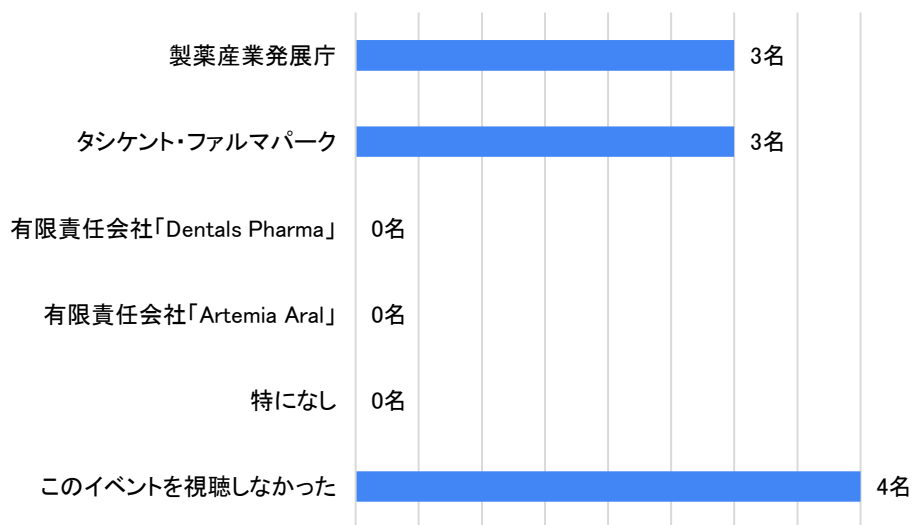
1. ウェビナー前半「ウズベキスタンにおける医療・製薬分野の最新発展動向」全体の評価をお聞かせください。



2. プログラム（テーマ設定、報告者の構成等）の評価をお聞かせください。



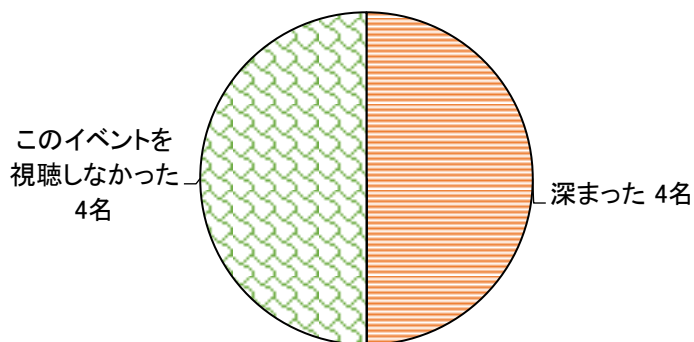
3. ご視聴になった報告の中で、参考になった・有益であったものを以下よりご選択下さい（複数選択可）。



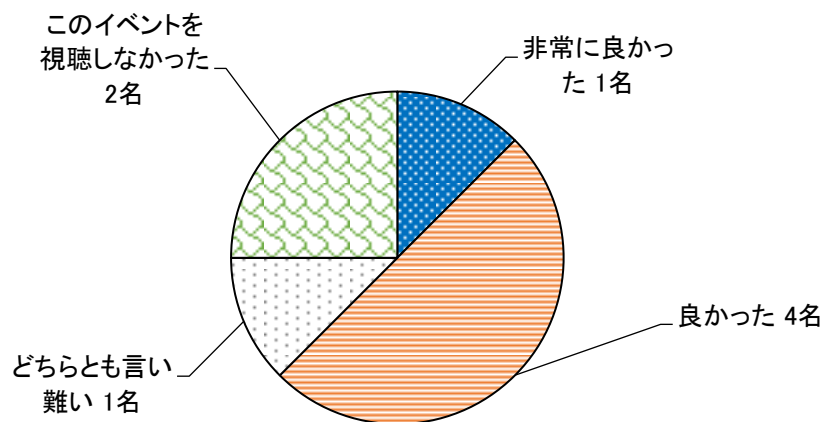
4. 上記報告についてご意見、ご感想等あれば自由にご記入ください。

※回答なし。

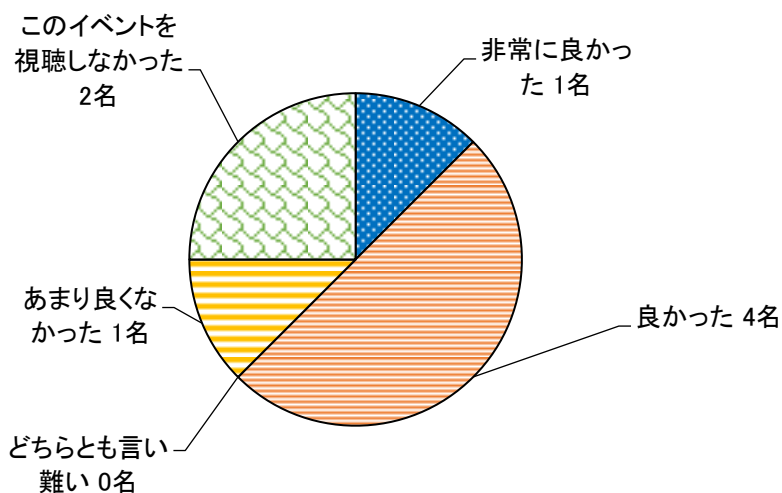
5. 本日のウェビナーを視聴して、ウズベキスタンの医療・製薬産業に関する知識は深まりましたか。



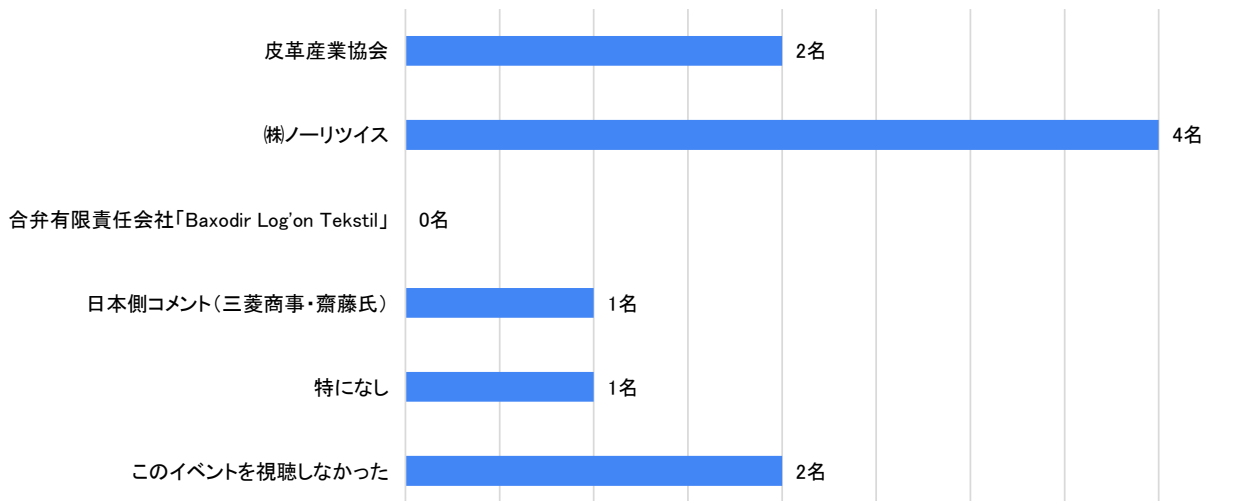
6. ウェビナー後半「ウズベキスタン民間企業によるビジネス提案～CAVEX IIウズベキスタン出展企業プレゼンテーション」全体の評価をお聞かせください。



7. プログラム（テーマ設定、報告者の構成等）の評価をお聞かせください。



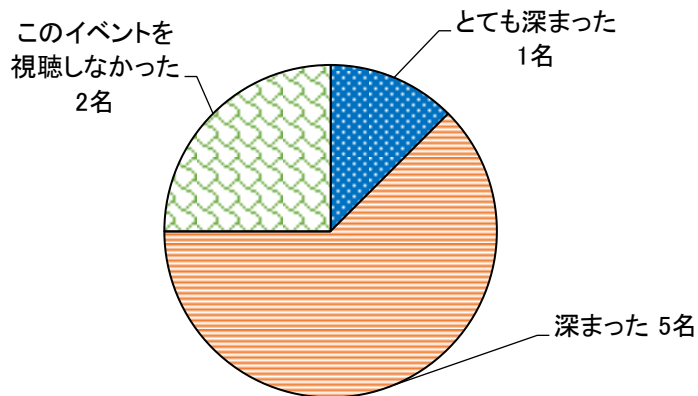
8. ご視聴になった報告の中で、参考になった・有益であったものをご選択下さい（複数選択可）。



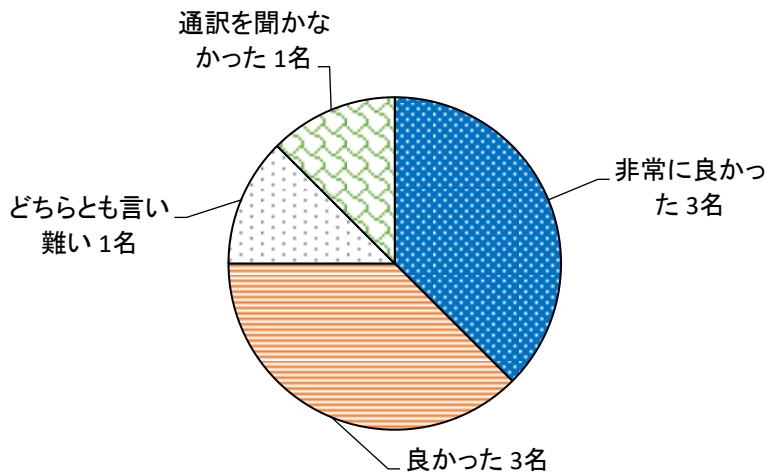
9. 上記報告についてご意見、ご感想等あれば自由にご記入ください。

- 青木社長（ノーリツイス）のお話、大変興味深く伺いました。
- 日本の中小製造企業のウズベキスタン進出事例として、（株）ノーリツイス青木社長のプレゼンを興味深くお伺いしました。コロナ禍において、新規市場でのビジネスを進める行動力とそのスピードは素晴らしいと思いました。

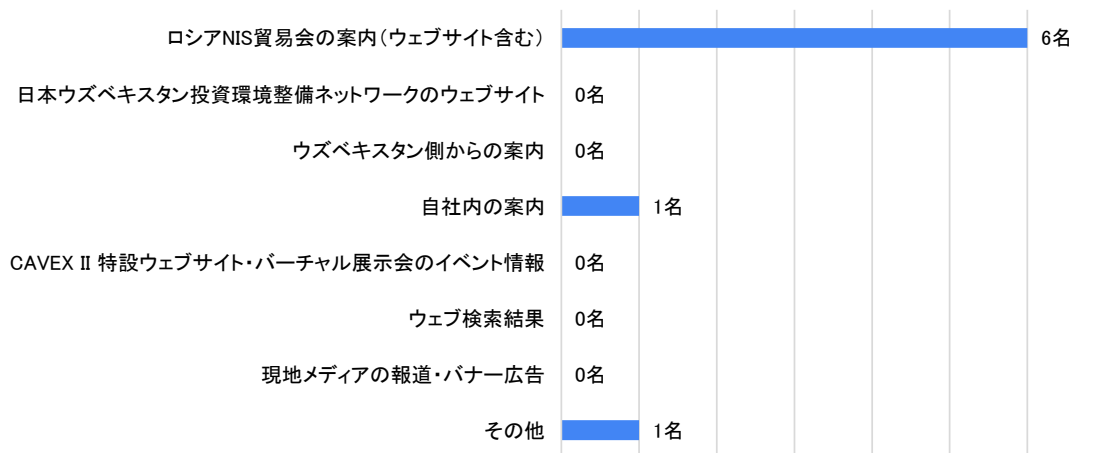
10. 本日のオンラインイベントを視聴して、ウズベキスタンの民間企業に関する知識は深まりましたか。



11. 通訳の評価についてお聞かせください。



12. 本日のオンラインイベント開催について、どこで知りましたか。以下より回答を選択してください（複数回答可）。



13. その他本日のオンラインイベント全体を通じてのご意見やご感想、あるいは今後の中央アジア関連のイベントに対するご要望、ご提案がありましたら以下自由にご記入ください。

- 医療機器分野のセミナーの企画を希望します。

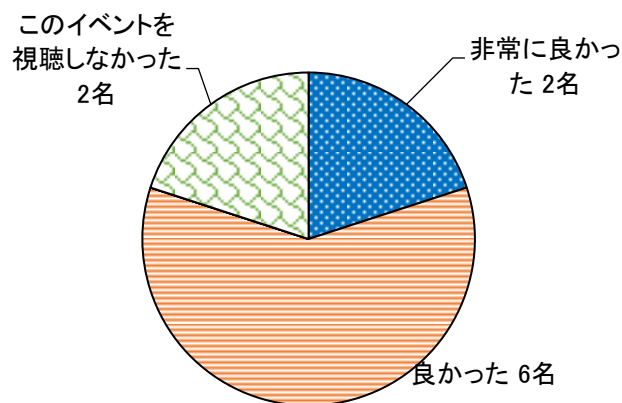
バーチャルツアー in ウズベキスタン
(2022年1月26日)
参加者アンケート集計結果

I. 回答者数

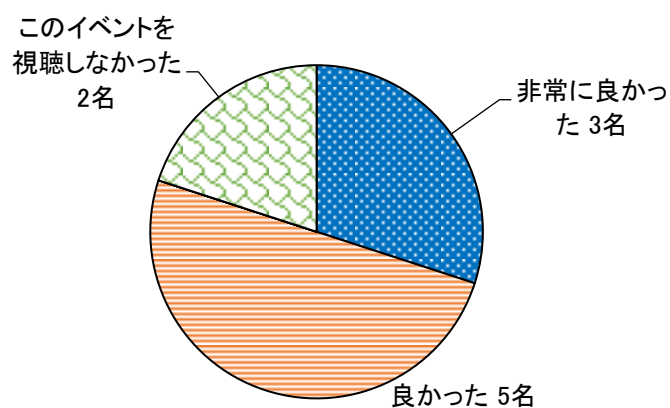
回答総数10件。

II. 設問への回答

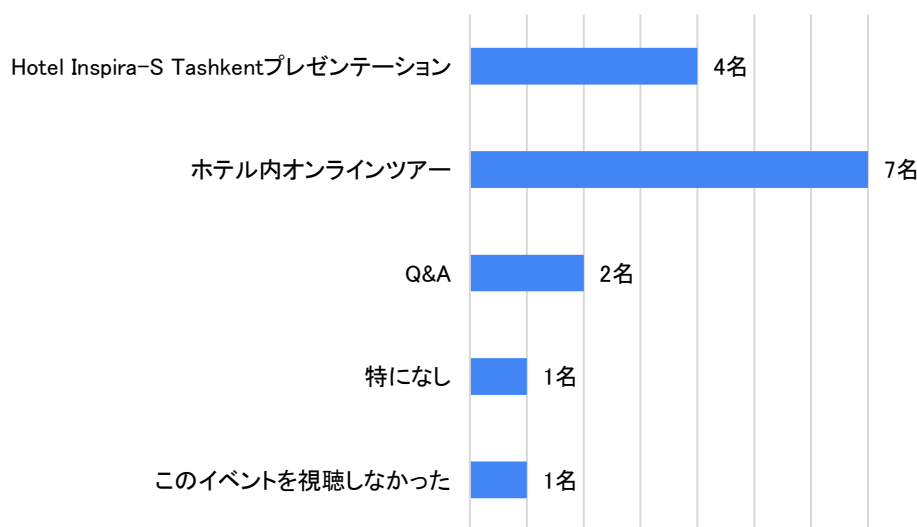
1. バーチャルツアー第1部の評価をお聞かせください。



2. 第1部プログラム（テーマ設定、ツアーの構成等）の評価をお聞かせください。



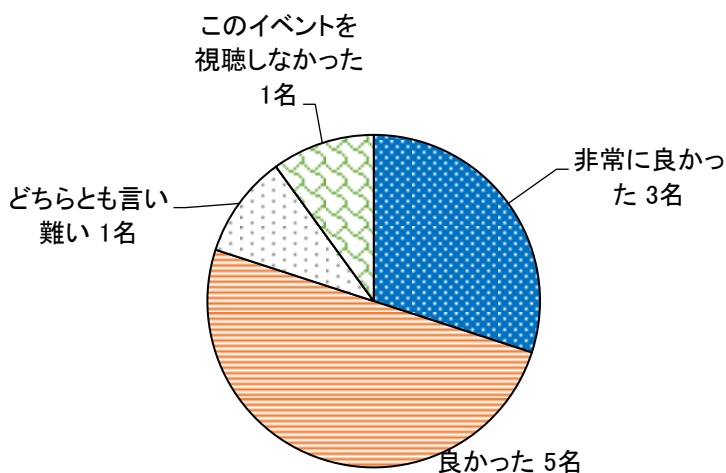
**3. 第1部プログラム中で、参考になった・有益であったと思われるものを以下よりご選択下さい
(複数選択可)。**



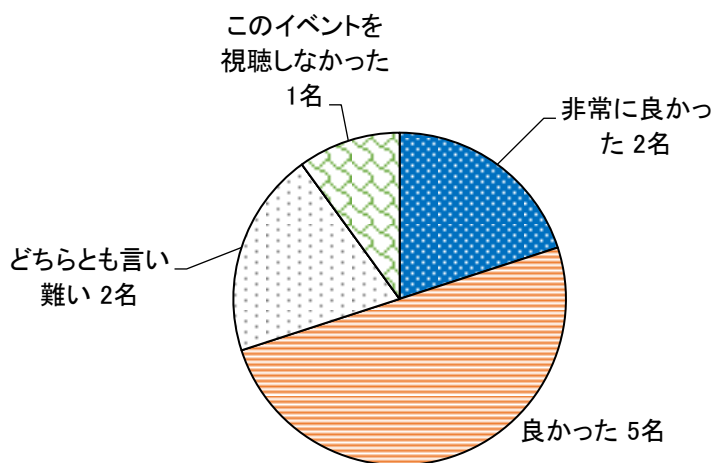
4. 第1部プログラムについてご意見、ご感想等あれば自由にご記入ください。

- ハイアットが売りに出されるなどウズベクホテル業界も浮き沈みが激しいようです。その昔、日本の大手ホテルチェーンが進出という話が出、断念されたことを思い起こすと、隔世の感があります。
- 通信状態が悪く、熱意あふれる社長のお話を聞く時間が短くなったのはとても残念でした。
- コロナ禍で日本ではまだ海外渡航帰国後の隔離期間が存続する状況下では、少しタイミングの悪い時期だったかと思います。

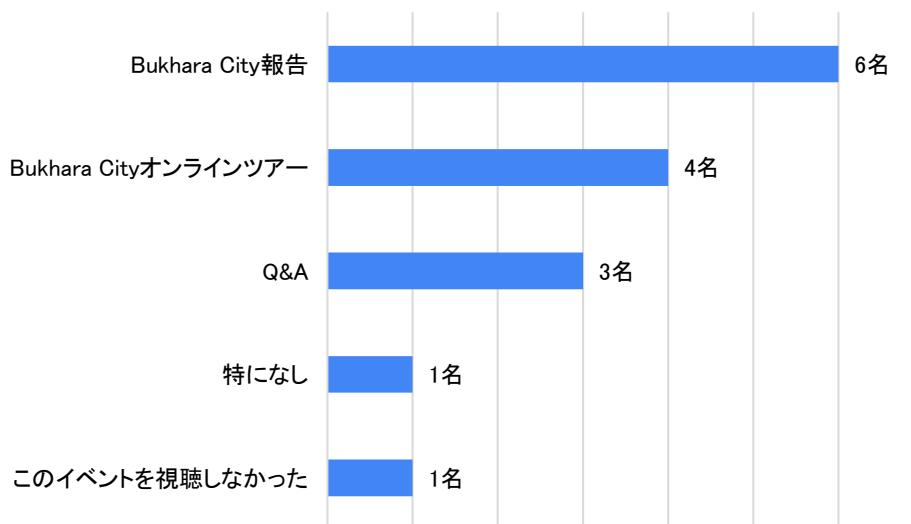
5. バーチャルツアー第2部の評価をお聞かせください。



6. 第2部プログラム（テーマ設定、ツアーの構成等）の評価をお聞かせください。



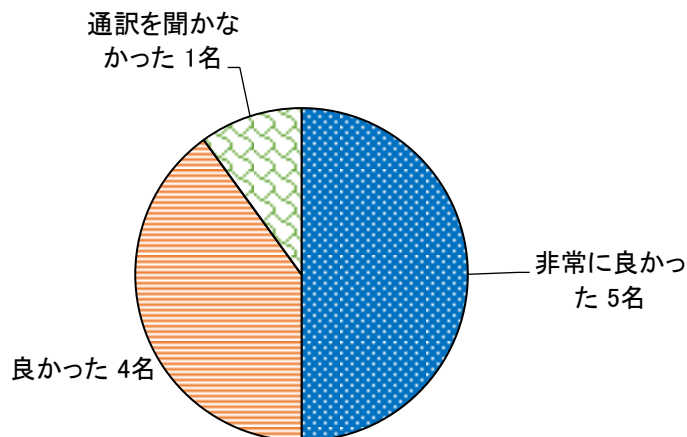
7. 第2部プログラム中で、参考になった・有益であったと思われるものを以下よりご選択下さい（複数選択可）。



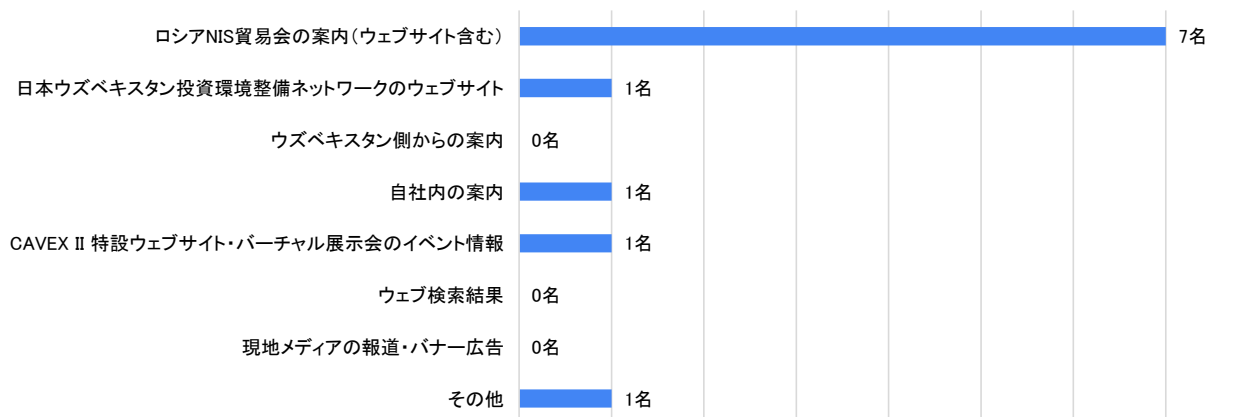
8. 第2部プログラムについてご意見、ご感想等あれば自由にご記入ください。

- 古の町でこれほど大規模なプロジェクトが進んでいることに大変興味を持ちました。実際に建設現場を見せていただいたことで、雰囲気を感じることができ、臨場感がありました。
- 所用で最後の質疑しか視聴できませんでしたが、具体的に現場のお話を伺えて、10分ほどでも理解が深まりました。ありがとうございました。

9. 通訳の評価についてお聞かせください。



10. 本日のオンラインイベント開催について、どこで知りましたか。以下より回答を選択してください（複数回答可）。



11. その他本日のオンラインイベント全体を通じてのご意見やご感想、あるいは今後の中央アジア関連のイベントに対するご要望、ご提案がありましたら以下自由にご記入ください。

- 通信状態が悪い地域との接続にあたっては予想外のトラブルも多いと思いますが、今回のイベントは大変興味深く拝見しております。開催して下さった皆様にお礼を申し上げます。
- ウズベキスタンは通信環境が良くないので、やはりオンラインではある程度の不便は避けられないかなと感じました。
- なかなか現地状況を知る機会が少ないので、大変良いイベントだと思います。引きつづきよろしくお願い致します。
- 停電の影響で音声の状態が良くなかった点が少し残念です。

II. 特設ウェブサイト・バーチャル展示会

1. 特設ウェブサイト

CAVEX IIの特設ウェブサイトおよびバーチャル展示会には各国の政府機関、組織、企業が参加し、日本企業に向けて商品や投資プロジェクトのPRを行った。オンラインプラットフォームとして設置された特設ウェブサイトでは、トップページでCAVEX II事業の概要や参加国を紹介するとともに、バーチャル展示会への入口が置かれた。

特設ウェブサイト:トップページ(日本語・ロシア語)



また、国別ページでは当該国についての基礎情報を紹介、B2B（商談会）の候補となる各国の参加企業・組織・政府機関の情報を掲載し、ナショナルウィークに開催されるオンラインイベントへの参加やB2B（商談会）の希望、問い合わせを受け付けた。ウズベキスタンからは特設ウェブサイトおよびバーチャル展示会の出展者として、20の組織・企業が参加した。

CAVEXII参加企業一覧：ウズベキスタン

1	<p>【企業名】ウズベキスタン繊維産業協会</p> <p>【ウェブサイト URL】 https://uzts.uz/en/（英語）</p> <p>【活動分野】繊維・縫製産業</p>
2	<p>【企業名】ウズベキスタン皮革産業協会（ウズチャルムサノアト）</p> <p>【ウェブサイト URL】 https://uzcharm.uz/en/（英語）</p> <p>【活動分野】皮革産業（皮革製靴、皮革雑貨、毛皮、カラクル毛皮、羊毛製品の製造など）</p>
3	<p>【企業名】有限責任会社「Craft and Art」</p> <p>【ウェブサイト URL】 https://handicraftman.uz/（ロシア語）</p> <p>【活動分野】伝統的手工業（輸出販売支援、振興など）</p>
4	<p>【企業名】有限責任会社「リヴァディヤ・ブハラ」</p> <p>【ウェブサイト URL】—</p> <p>【活動分野】ドライフルーツの製造および加工</p>
5	<p>【企業名】有限責任会社「Dental Pharma」</p> <p>【ウェブサイト URL】 http://www.dentals-pharma.com/（ロシア語）</p> <p>【活動分野】医療機器／歯科用充填材の製造</p>
6	<p>【企業名】有限責任会社「Artemia Aral」</p> <p>【ウェブサイト URL】—</p> <p>【活動分野】アルテミア（塩水湖に生息する小型甲殻類）の卵の加工、ニクジュヨウの生産</p>
7	<p>【企業名】合併会社「Samandar Shirinliklari」</p> <p>【ウェブサイト URL】 https://samandar.business.site/（ロシア語）</p> <p>【活動分野】製菓</p>
8	<p>【企業名】農業企業「Suhrobjon Agro Gold」</p> <p>【ウェブサイト URL】—</p> <p>【活動分野】農業、農園造成、農業機械設備の据付および調整</p>
9	<p>【企業名】合併有限責任会社「Baxodir Log'on Tekstil」</p> <p>【ウェブサイト URL】 https://bltex.uz/（ロシア語）</p> <p>【活動分野】軽工業（ニット製品全般）</p>
10	<p>【企業名】有限責任会社「Topi Industrial Group」</p> <p>【ウェブサイト URL】—</p> <p>【活動分野】食品産業（キクイモ栽培・加工）</p>
11	<p>【企業名】有限責任会社「Neo Cotton」</p> <p>【ウェブサイト URL】—</p> <p>【活動分野】軽工業（靴下製品）</p>

12	【企業名】 有限責任会社「Shd Life Aloe」
	【ウェブサイト URL】 ー 【活動分野】 小売（アロエ飲料）
13	【企業名】 合併有限責任会社「Wang Da Samorez」
	【ウェブサイト URL】 https://wangdagroup.uz/en （英語） 【活動分野】 冶金、金属加工（ねじ）
14	【企業名】 有限責任会社「Pichokchi DRY Fruits」
	【ウェブサイト URL】 ー 【活動分野】 卸売（ドライフルーツ、アーモンド）
15	【企業名】 合併有限責任会社「Uz-Segang」
	【ウェブサイト URL】 https://en.sunfinite.uz/ （英語） 【活動分野】 農産品加工（野菜、果物）、還元剤（AUS32）
16	【企業名】 個人事業有限責任会社「TNA Agro Invest」
	【ウェブサイト URL】 https://agroinvesttna.uz/ （ロシア語） 【活動分野】 農産品生産、卸売、輸出
17	【企業名】 有限責任会社「Asror Tekstil Sanoat」
	【ウェブサイト URL】 https://dmaretti.com/ （ロシア語） 【活動分野】 縫製品（紳士服）
18	【企業名】 有限責任会社「Clasica Shoes International」
	【ウェブサイト URL】 ー 【活動分野】 靴製造
19	【企業名】 有限責任会社「Fergana Exim Agro」
	【ウェブサイト URL】 http://en.eximagro.uz （英語） 【活動分野】 農産品栽培
20	【企業名】 有限責任会社「MISTER BAL」
	【ウェブサイト URL】 ー 【活動分野】 医療産業（医療機器用 X 線フィルムの製造）

2. バーチャル展示会

2022年1月24日（月）からは、バーチャル展示会を開催した。バーチャル空間に設けられた展示会の会場に各国のナショナルブースが設置された。

国旗をモチーフとした国別カラー（ウズベキスタン：黄緑、カザフスタン：水色、キルギス：赤、タジキスタン：金、トルクメニスタン：深緑、日本：白）や民族的模様で飾られたナショナルブースでは、各国（タジキスタンを除く）の挨拶動画が放映され、来場者を出迎えた。ブース内には、B2B（商談会）の候補となる企業・組織・政府機関のパネルが掲示され、パネルをクリックすると基礎情報や製品・プロジェクトを紹介するカード、動画などの展示コンテンツを閲覧できる仕組みとなっている。またブース内にはスクリーンが設置され、そこでも国や企業の紹介動画、またオンラインイベント後にはアーカイブ動画を見ることができる。

それぞれのブースでは、ナショナルウィーク中に開催するオンラインイベントへの申し込みをはじめ、B2B（商談会）希望や問い合わせを受け付けたほか、対象国に関する基礎情報をQ&A形式で掲載し、情報提供を行った。また新たな試みとして、ブース・オペレータとして登録した各国の現地事務局がチャットや名刺交換等、来場者とダイレクトに交流できるコミュニケーション機能を設けた。展示会場の中央に設置された特設スクリーンは、ナショナルウィークごとに対象国のPR映像に切り替わり、こちらでも当該国のブース内と同様の動画コンテンツを見ることができる。

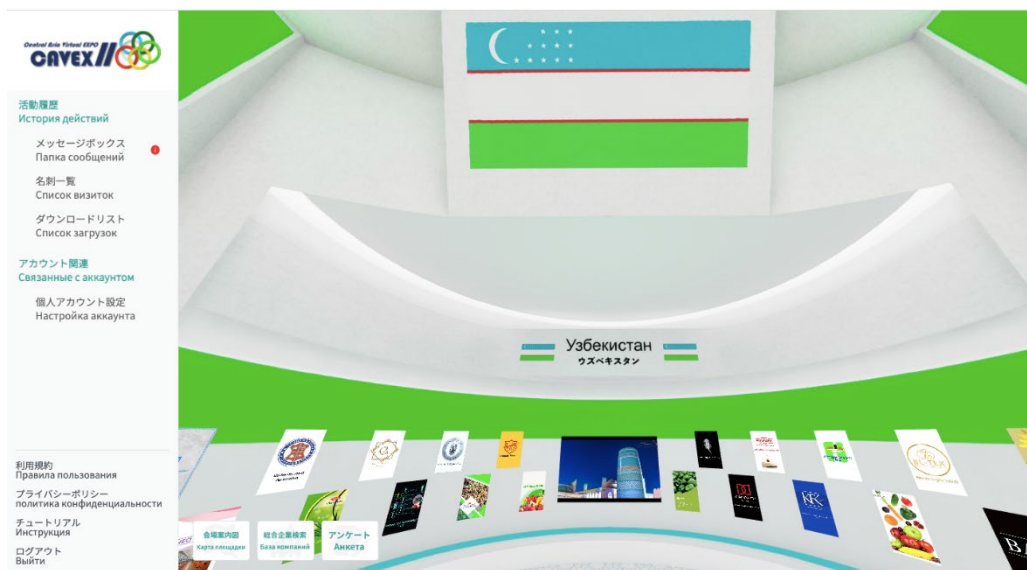
バーチャル展示会会場



バーチャル展示会：中央スクリーン（ウズベキスタン・ナショナルウィーク）



バーチャル展示会：ウズベキスタンブース



バーチャル展示会：ウズベキスタンブース（挨拶動画）

バーチャル展示会：ウズベキスタンブース（Q & A）

バーチャル展示会：ウズベキスタンブース（オンラインイベント案内）

バーチャル展示会：ウズベキスタンプース（企業情報）

ウズベキスタン / Узбекистан | Бۇس بەئەب / Информация о стране

ウズベキスタン繊維産業協会

日本語

基础情報 | 投資プロジェクト① | 投資プロジェクト② | 投資プロジェクト③ | 投資プロジェクト④

投資プロジェクト⑤ | プロジェクト紹介動画

русский

チャットツール / chat

バーチャル展示会：ウズベキスタンプース（PR動画 / ウェビナー記録動画）

ウズベキスタン / Узбекистан | Бۇس بەئەب / Информация о стране

ウェビナー記録動画 / Запись вебинаров

ウズベキスタン「ウズベキスタンの経済・投資がチャンスと日本との協力展望」(2022年1月24日)

Экономический и инвестиционный потенциал РУ и перспективы сотрудничества с Японией (24.01.2022)

ウズベキスタンにおける産業・観光分野の最新動向(2022年1月25日)

Современная тенденция в области здравоохранения и фармацевтической промышленности РУ (25.01.2022)

ウズベキスタン「ウズベキスタンに関するビジネス情報」(2022年1月25日)

ビジネス提案の私営企業 - Промышленные участники CAVEK II (25.01.2022)

バーチャルツアー in ウズベキスタン第一回「Hotel Inpro」Tashkent (2022年1月26日)

バーチャルツアー in ウズベキスタン第二回「Fusion -シティ」(2022年1月26日)

チャットツール / chat

バーチャル展示会：ウズベキスタンプース（オンラインイベントアーカイブ動画）

ウズベキスタン / Узбекистан | Бۇس بەئەب / Информация о стране

Qualified workforce

UzIPA

Largest workforce in the region

105 local and 25 foreign higher educational institutions

Literacy rate is 99%

International universities

MDIS Management Development Institute of Singapore

WESTMINSTER

AMITY

BUT

Webster UNIVERSITY

SHARDA UNIVERSITY

Literacy rate by countries (in %)

Uzbekistan 99%

Upper middle income countries average 95%

World average 86%

チャットツール / chat

ウズベキスタン共和国概要

2021年11月
(一社)ロシアNIS貿易会

1. 基本情報

(1) 地勢：旧ソ連中央アジアの中央部に位置し、北部および西部国境をカザフスタン、南にトルクメニスタンとアフガニスタン、東にタジキスタン、キルギスと国境を接する。



(2) 面積：44万7,400km² (日本の約1.2倍)
(3) 人口：3,455万人 (2021年初)
(4) 首都：タシケント市 (269万人)
(5) 主要都市：ナマンガン (64万人)、サマルカンド (55万人)、アンディジャン (36万人)、ヌクス (31万人)、フェルガナ (29万人)、ブハラ (28万人)。* 数字は各州・自治共和国政府公表に拠る。



(6) 民族：ウズベク人 84.4%、タジク人 4.9%、カザフ人 2.4%、カラカルパク人 2.2%、ロシア人 2.1%、その他 4.1% (2021年初、ウズベキスタン統計国家委員会)
(7) 言語：公用語はウズベク語。またロシア語も広範に使用される。
(8) 宗教：イスラム教 (主にスンニ派)

2. 政治情勢

(1) 略史

現在のウズベキスタンの領域にはサマルカンド、ブハラ、ヒヴァ、コーカンドなど、古来、東西交易の要衝として栄えた都市が数多く存在する。19世紀後半、同地域を支配下に置いたロシア帝国はタシケントにトルキスタン総督府を設立、綿花栽培を中心とする植民地経営を行った。革命後の1924年、ソ連中央が行った中央アジア民族境界画定によりウズベク・ソヴィエト社会主義共和国が連邦構成共和国として設立された。1980年代後半に始まるソ連解体の過程の中でウズベキスタンは1990年6月に共和国主権宣言、翌1991年、モスクワのクーデター未遂事件直後の8月31日に独立宣言を行い、国名を現行のものに改めた。1991年末のソ連崩壊を経て実質的な独立国となる。

(2) 独立後

初代大統領のカリモフ大統領は、1991年の独立以来25年間、強力な指導力を持って政治・経済両面にわたりCIS諸国では異例の安定した強力な国家の指導体制を率いた。2016年9月カリモフ初代大統領の急逝後、同年12月に大統領選挙が行われ、ミルシヨエフ大統領が誕生した。現在、同大統領は政治、経済、社会、外交等の幅広い分野で改革路線を打ち出している。

(3) 大統領

シャフカト・ミルジヨエフ大統領 (MIRZIYOYEV, Shavkat Miromonovich) :

1957年7月生(63歳)。1981年タシケント灌漑・エンジニアリング・農業大学卒業。1981年からタシケント灌漑・エンジニアリング・農業大学で勤務。研究員、教員、学部長などを歴任。コムソモール機関、党組織に勤務。1990～1996年タシケント灌漑・エンジニアリング・農業大学副学長。1990～1999年ウズベキスタン共和国最高会議代議員。1996～2001年9月ウズベキスタン共和国シザク州知事(ホキム)(2000年1月再任)。1999～2004年代議員。2001年9月～2003年12月ウズベキスタン共和国サマルカンド州知事(ホキム)。2003年12月～2016年12月首相(2005年1月上下両院で承認されて再任。2010年1月下院で再任を承認。2015年1月下院で再任を承認)。2016年9～12月ウズベキスタン大統領代行。2016年12月4日の大統領選挙で勝利。2016年12月14日大統領就任式。2021年10月24日に実施された大統領選挙では80%近く得票し圧勝、二期目に突入した。

3. 経済状況

(1) 経済水準

(イ) GDP (2020年) : 577.1億ドル*

(ロ) 国民1人当たりGDP (2020年) : 1,751ドル*

(ハ) 1人あたり平均月額給与 (2020年) : 2,667.6千スム (約254ドル)**

(2) 主要産業・輸出品

(イ) 主要産業 : 綿繊維産業、食料加工、機械製作、金、石油、天然ガス

(ロ) 主要輸出品 : 石油・ガス・石油製品、サービス、綿繊維、食料品、鉄・非鉄金属

(ハ) 主要輸入品 : 機械・設備、化学製品、食料品、鉄・非鉄金属、石油製品

(3) 経済指標 (前年比増減率、%)

ウズベキスタンの主要経済指標 (対前年同期比 %)**

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP増減率 (前年同期比、%)	7.3	6.9	7.2	5.9	4.4	5.4	5.7	1.7
鉱工業生産増減率 (前年同期比、%)	9.5	8.3	7.9	6.2	8.0	16.6	5.0	0.7*
農業生産増減率 (前年同期比、%)	6.6	6.3	6.1	6.3	1.0	0.2	3.3	2.8
固定資本投資増減率 (前年同期比、%)	11.3	9.8	9.4	4.1	19.4	29.9	38.1	▲ 4.4
商品小売販売高増減率 (前年同期比、%)	13.3	13.3	15.3	14.4	1.9	6.5	9.1	3.2
消費者物価指数 (前年12月比増減率、%)	6.8	6.1	5.6	5.7	14.4	14.3	15.2	11.1

◆データ出所 : *世界銀行、**ウズベキスタン統計国家委員会。

4. 対外関係

(1) 貿易*

(イ) 貿易額

輸出 (2020年) : 151億230万ドル

輸入（2020年）：211億5,380万ドル

(ロ) 主要貿易国

輸出（2020年）：①中国（12.8%）、②ロシア（9.8%）、③トルコ（6.7%）

輸入（2020年）：①中国（21.3%）、②ロシア（19.7%）、③韓国（9.9%）

(2) 日本との関係

(イ) 日本は第1位（2015年）の援助支援国。2016年までの日本の累計援助額は、有償資金協力2,766億3,000万円、無償資金協力250億200万円、技術協力実績191億4,200万円。2019年12月にミルシヨエフ大統領が就任後初めて日本を訪日した際には、安倍総理大臣（当時）との首脳会談にてナヴォイ火力発電所近代化計画（フェーズ2）をはじめとした1,800億円超の円借款3案件が決定された。

(ロ) 日本との貿易**

日本の輸出（2020年）：1億4,128万ドル（輸送用機器、一般機械、電気機器等）

日本の輸入（2020年）：884万ドル（化学製品、非鉄金属、綿織物、食料品等）

(ハ) 二国間条約***

2004年8月 日・ウズベキスタン航空協定発効

2006年6月 日・ウズベキスタン技術協力協定発効

2009年9月 日・ウズベキスタン投資協定発効

2019年12月 日・ウズベキスタン税関相互支援協定発効

2020年10月 日・ウズベキスタン租税条約発効

(二) 在留邦人数（2019年10月現在）***：138人

◆データ出所：*ウズベキスタン統計国家委員会、**日本国財務省貿易統計をもとにドル換算、***日本国外務省。

令和3年度国庫補助事業
中央アジア地域等貿易投資促進事業
中央アジア投資環境整備・ビジネス振興事業
産業育成ビジネスマッチング事業

第2回中央アジア・バーチャルEXPO (CAVEX II) 国別オンラインイベント報告書:ウズベキスタン

2022年3月発行

編集・発行

一般社団法人ロシアNIS貿易会

ロシアNIS経済研究所

東京都中央区新川1-2-12

電話 (03) 3551-6218

©禁無断転載